

千代田区 中小企業の景況

令和4年7月～9月期

千代田区地域振興部商工観光課

目 次

都内中小企業の景況（令和4年7月～9月期）	1
業種別業況の動き（実績）と来期の予測（東京都・千代田区）	2
千代田区内中小企業の景況（令和4年7月～9月期）	4
千代田区内各業種別業況の動きと来期の予測	4
・ 製造業	6
・ 卸売業	10
・ 小売業	14
・ サービス業	18
・ 建設業	22
・ 不動産業	26
経営者の声	30
日銀短観	32
千代田区と東京都の企業倒産、休廃業・解散動向	33
特別調査「中小企業におけるSDGs（持続可能な開発目標）の取組状況について」	35
千代田区独自調査「中小企業の福利厚生」に関するアンケート結果	39
中小企業景況調査 比較表	41
中小企業景況調査 転記表	44








調査方法・対象と回収状況

- | | |
|--------|---------------------------|
| 1 調査機関 | 一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部業務課 |
| 2 調査方法 | 信用金庫営業店から企業へ直接面接調査 |
| 3 調査時期 | 令和4年7月～9月期を対象に令和4年9月上旬に実施 |
| 4 実施状況 | 201事業所 |

[回答事業所数の規模別内訳]

	有効回答 事業所数	4人以下	5～9人	10～ 19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50～ 99人	100～ 199人	200～ 300人
製 造 業	33	9	8	4	3	3	3	3	0	0
卸 売 業	50	8	11	11	8	2	1	7	2	0
小 売 業	25	14	5	0	4	1	1	0	0	0
サ ー ビ ス 業	32	5	7	6	4	2	4	1	3	0
建 設 業	32	13	8	3	3	1	2	2	0	0
不 動 産 業	29	17	10	1	0	0	0	1	0	0
業 種 計	201	66 (32.8)	49 (24.4)	25 (12.4)	22 (10.9)	9 (4.5)	11 (5.5)	14 (7.0)	5 (2.5)	0 (0.0)

判断表 業種別定点指標値（マークの基準は業況判断D.I季節調整済修正値で判断）

							
	A	B	C	D	E	F	G
製 造 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
卸 売 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小 売 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サ ー ビ ス 業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建 設 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
不 動 産 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下

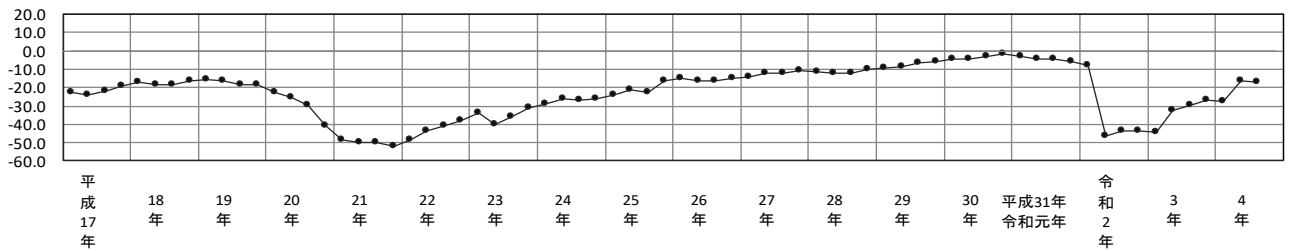
好調

不調

都内中小企業の景況（令和4年7月～9月期）

円安進行・物価高の影響大きく、景気回復は減速後退

(D.I.) 都内中小企業の景況・6業種合計 (D. I.)



円安進行の影響等による仕入価格の上昇が企業経営を圧迫し、業況判断DIは△17.2（前期△16.6）と前期に比べ△0.6ポイントとなり、景気回復基調は減速し、一時後退した。

来期は、新型コロナ第7波の落ち着きとオミクロン株対応ワクチン普及の期待感から回復を期待するものの、長引く円安の影響による物価高とその上昇分を販売価格へ転嫁出来ていないことが景気を下振れさせる不安材料となっている。

	前期	今期	増減	来期予測	今期との増減
製造業	-17.3	-17.4	-0.1	-15.5	1.9
卸売業	-17.9	-18.1	-0.2	-16.8	1.3
小売業	-27.9	-28.0	-0.1	-25.9	2.1
サービス業	-19.1	-21.6	-2.5	-17.5	4.1
建設業	-4.5	-4.2	0.3	-1.7	2.5
不動産業	0.6	-1.6	-2.2	-3.1	-1.5
総合	-16.6	-17.2	-0.6	-15.2	2.0

<製造業>

輸送用機械、電気機械、精密機械業を中心に落ち込みが大きかったことから、5期連続で続いた改善が止まり、業況は前期同様の状態で推移した。売上額・受注残・収益においても前期並に推移した。原材料価格は7期連続で上昇を続けているものの、価格転嫁は一部しか進まず、販売価格との差は広がっている。経営上の問題点の上位2位は前期同様に「売上の停滞・減少」、「原材料高」の順となり、重点経営施策の上位2位は「販路を広げる」、「経費を節減する」の順となっている。

来期は原材料価格の上昇がやや落ち着きをみせることから、業況は若干の改善を予想している。売上額・受注残・収益については今期と同水準で変化がないとみている。

<卸売業>

円安等による仕入価格の上昇に伴い、食料品・飲食物品業を中心に悪化し、業況改善は足踏み状態となった。売上額・収益の低下も前期並で推移した。価格面では仕入価格は7期連続で上昇を続けており、販売価格についても上昇を強め、販売価格への価格転嫁が進みつつある。経営上の問題点の上位2位は「売上の停滞・減少」、「仕入先からの値上げ要請」の順となり、重点経営施策の上位2位は前期同様に「販路を広げる」、「経費を節減する」の順となっている。

来期は売上額の改善が予想されるものの、収益に結びついていかないことから、業況は今期並で推移するとみている。

<小売業>

仕入価格の上昇が販売価格の値上げを引き離す勢いで高騰したことから、特に木材・建築材料業の悪化が強まり、業況は回復基調が減速して前期並で推移した。売上額・収益においては減少度合を強めた。経営上の問題点の上位2位は「売上の停滞・減少」、「仕入先からの値上げ要請」の順となり、重点経営施策の上位2位は前期同様に「経費を節減する」、「品揃えを改善する」の順となっている。

来期の業況は、売上額・収益ともにやや改善が見込まれることから、業況についても少し持ち直すと予想している。

<サービス業>

コロナ第7波の感染拡大と物価上昇の影響により、娯楽業の落ち込みが大きく業況は悪化した。売上額・収益においても減少した。価格面では材料価格は一段と上昇を強め、料金価格はわずかに上昇した。経営上の問題点の上位2位は「売上の停滞・減少」、「同業者間の競争の激化」の順となり、重点経営施策の上位2位は「経費を節減する」、「販路を広げる」の順となっている。

来期は売上額・収益においても若干の改善を期待しており、業況はわずかに持ち直すと予想している。

<建設業>

前期の施工高に続き、受注残についても増加し、売上額も持ち直してきているものの、7期連続での原材料高の影響もあり業況回復は進まず、前期同様の水準で推移した。経営上の問題点の上位2位は前期同様に「材料価格の上昇」、「人手不足」の順となり、重点経営施策の上位2位も前期同様に「経費を節減する」、「販路を広げる」の順となっている。

来期は売上額についてプラスに転じると予想しており、業況も改善するとみている。受注残・施工高は今期並の増加で推移し、収益においてもわずかな改善がみられると期待している。

<不動産業>

前期良好化した売上額・収益は予想通りに落ち込みをみせ、業況も再び水面下に潜った。価格面では販売価格の上昇はやや落ち着きをみせ、仕入価格は前期並の上昇傾向で推移した。経営上の問題点の上位2位は前期同様に「商品物件の不足」、「同業者間の競争の激化」の順となり、重点経営施策の上位2位も前期同様に「情報力を強化する」、「販路を広げる」の順となっている。

来期の業況は今期並に推移すると予想している。売上額・収益についても同水準で推移するとみている。

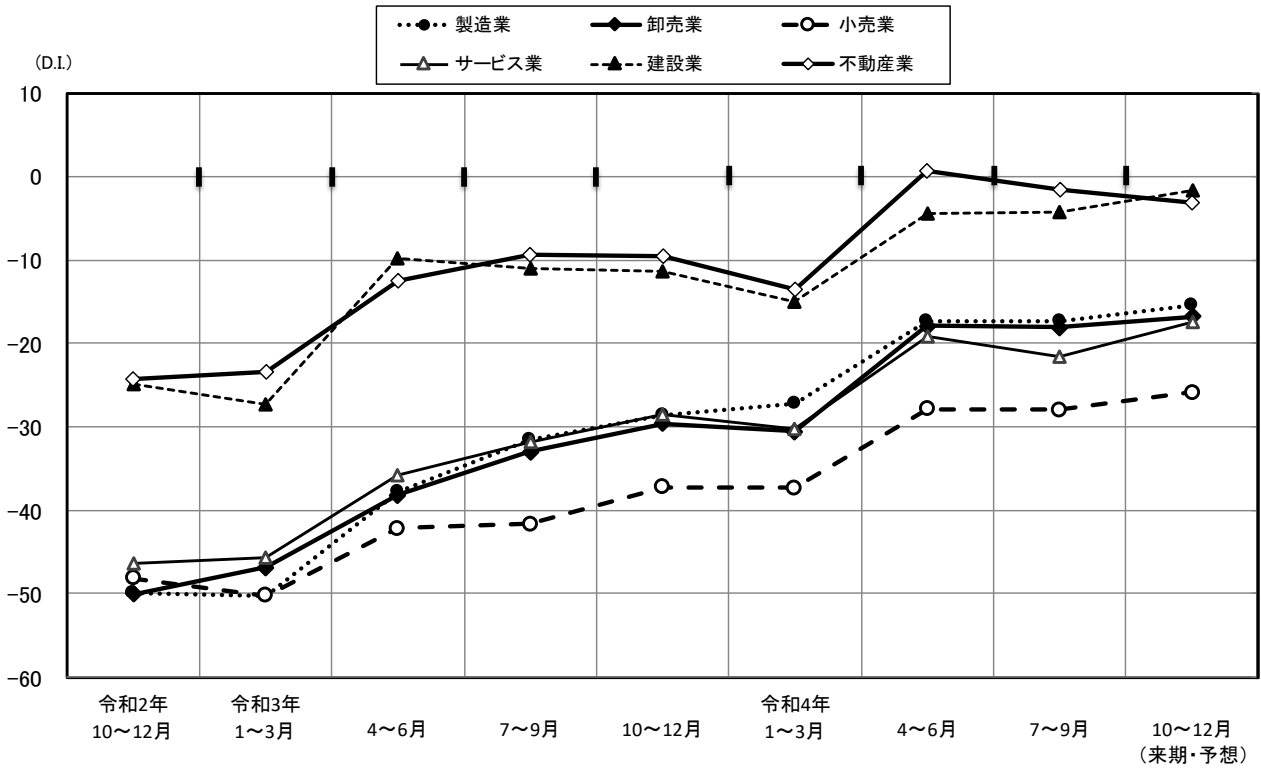
（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

[注]

- D. I. (Diffusion Indexの略)
- D. I. (ディーアイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。
- D. I. (季節調整済)
- 季節調整済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD. I. を過去5年間まで遡って季節的な変動を除去して加工したD. I. 値です。修正値ともいいます。
- 傾向値
- 傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方向を見る方法です。

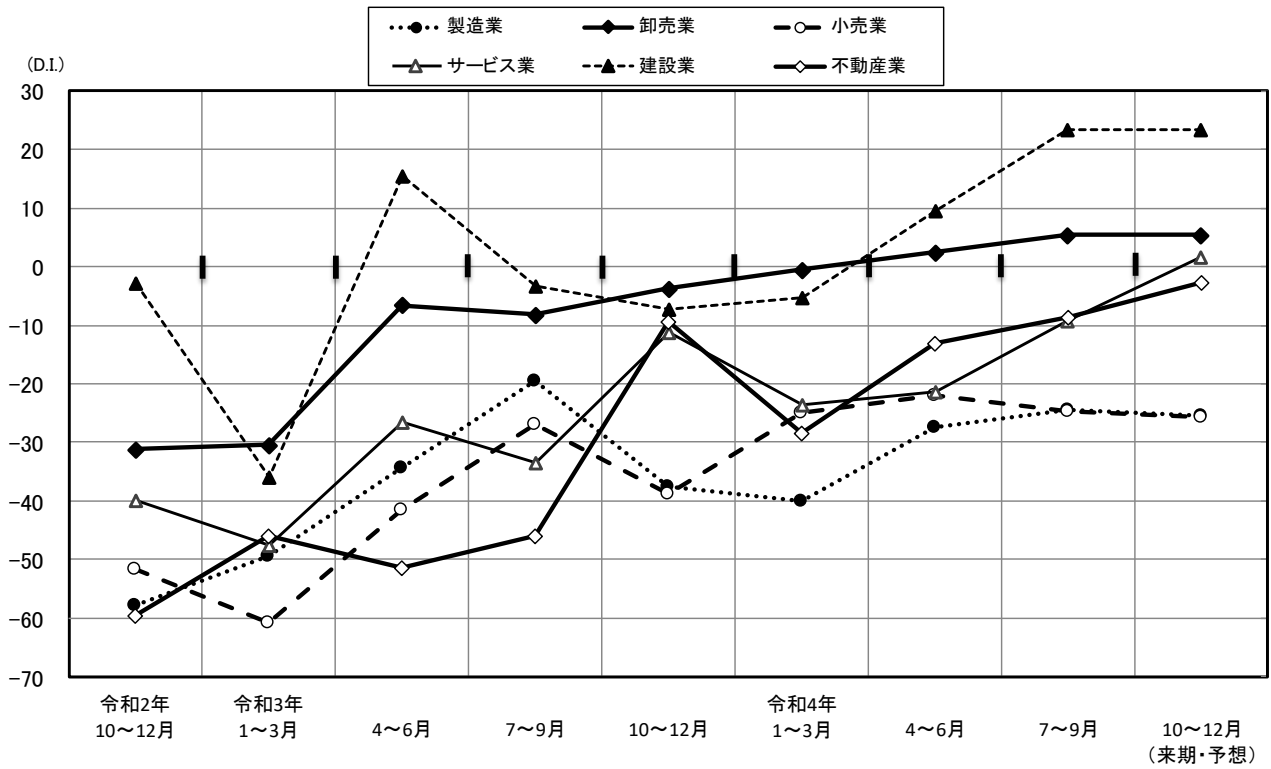
業種別業況の動き（実績）と来期の予測（東京都・千代田区）

東京都



	令和2年 10~12月	令和3年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	令和4年 1~3月	4~6月 (前期)	7~9月 (今期)	増減	10~12月 (来期・予想)	今期と の比較
製 造 業	-49.9	-50.2	-37.8	-31.5	-28.6	-27.2	-17.3	-17.4	-0.1	-15.5	1.9
卸 売 業	-50.1	-46.9	-38.2	-33.0	-29.6	-30.6	-17.9	-18.1	-0.2	-16.8	1.3
小 売 業	-48.2	-50.2	-42.2	-41.7	-37.2	-37.3	-27.9	-28.0	-0.1	-25.9	2.1
サ ー ビ ス 業	-46.4	-45.7	-35.8	-31.9	-28.6	-30.2	-19.1	-21.6	-2.5	-17.5	4.1
建 設 業	-24.9	-27.3	-9.8	-11.0	-11.4	-15.0	-4.5	-4.2	0.3	-1.7	2.5
不 動 産 業	-24.3	-23.4	-12.5	-9.4	-9.5	-13.5	0.6	-1.6	-2.2	-3.1	-1.5
総 合	-43.6	-44.0	-32.7	-29.5	-26.7	-27.3	-16.6	-17.2	-0.6	-15.2	2.0

千代田区



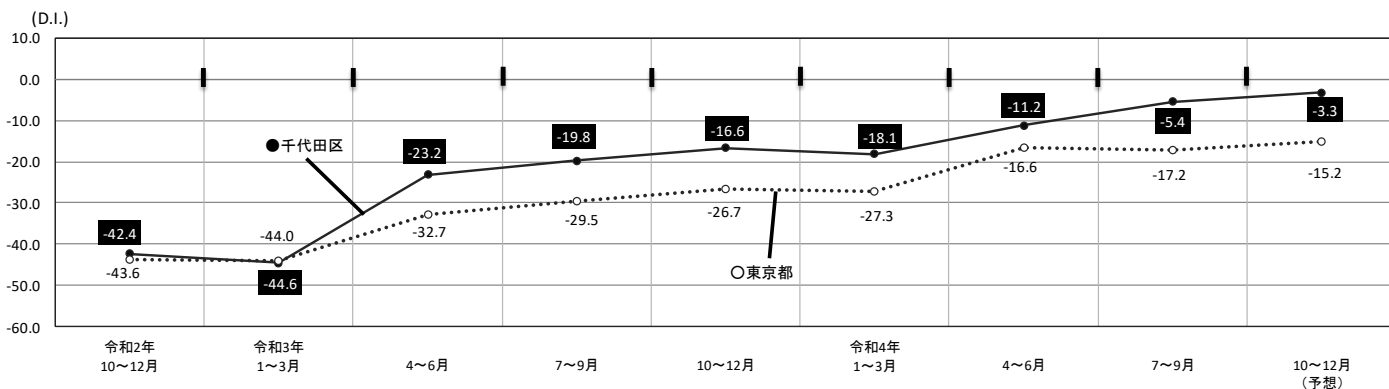
	令和2年 10~12月	令和3年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	令和4年 1~3月	4~6月 (前期)	7~9月 (今期)	増減	10~12月 (来期・予想)	今期と の比較
製 造 業	-57.9	-49.4	-34.4	-19.6	-37.6	-40.0	-27.4	-24.4	3.0	-25.5	-1.1
卸 売 業	-31.2	-30.4	-6.6	-8.2	-3.7	-0.5	2.4	5.4	3.0	5.4	0.0
小 売 業	-51.6	-60.9	-41.4	-26.9	-38.9	-24.9	-22.1	-24.8	-2.7	-25.8	-1.0
サ ー ビ ス 業	-39.8	-47.5	-26.5	-33.4	-11.3	-23.5	-21.3	-9.3	12.0	1.7	11.0
建 設 業	-2.7	-36.0	15.6	-3.4	-7.2	-5.2	9.5	23.3	13.8	23.5	0.2
不 動 産 業	-59.5	-46.0	-51.4	-45.9	-9.4	-28.3	-13.2	-8.7	4.5	-2.7	6.0
総 合	-42.4	-44.6	-23.2	-19.8	-16.6	-18.1	-11.2	-5.4	5.8	-3.3	2.1

千代田区内中小企業の景況（令和4年7月～9月期）

千代田区の今期の業況判断D.I.（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-5.4と前期（令和4年4～6月）の-11.2に比べ5.8ポイント増加し、低調感がやや和らいだ。

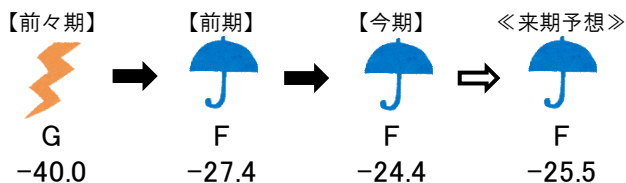
東京都の業況と比較すると、今期は千代田区が東京都を11.8ポイント上回った。業種別で比較すると、建設業（27.5ポイント）、卸売業（23.5ポイント）、サービス業（12.3ポイント）の3業種で、千代田区が東京都を10ポイント以上上回った。一方、不動産業（-7.1ポイント）、製造業（-7.0ポイント）の2業種では、千代田区が東京都を7ポイント以上下回った。

千代田区の来期（令和4年10～12月）の業況見通しは-3.3と、今期よりも2.1ポイント増加し、低調感がやや和らぐと予想されている。東京都の来期の業況見通しは-15.2であり、比較すると千代田区が11.9ポイント上回り、今期並の差となる見込みである。



千代田区内各業種別業況の動きと来期の予測

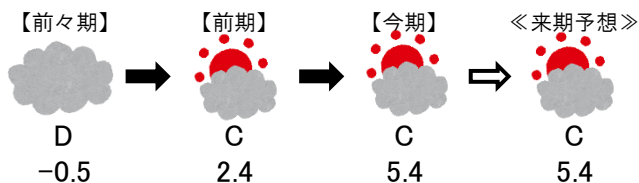
製造業



業況は厳しさがやや和らぎ、前期から改善した。売上額、収益はともに減少幅が大幅に拡大し、悪化した。価格面では、販売価格は上昇から下降に転じ、原材料価格は上昇が大きく強まっており、在庫は過剰に転じた。

来期の見通しについて、業況は今期同様で推移すると予想されている。売上額、収益はともに大きく減少が弱まる見通しである。

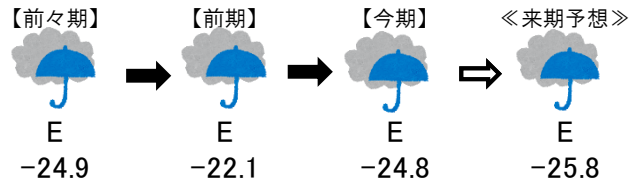
卸売業



業況は好調感がやや強まり、改善傾向が続いた。売上額は増加幅がやや縮小し、収益は増加に転じており、収益が改善した。価格面では、販売価格は上昇が大きく強まり、仕入価格は前期並となり、在庫は過剰感がやや強まった。

来期の見通しについて、業況は今期同様で推移すると予想されている。売上額は増加幅が大幅に拡大し、収益は増加傾向がやや強まる見通しである。

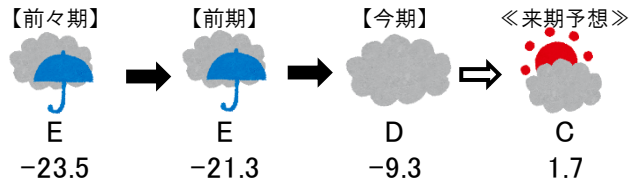
小売業



業況は低調感がやや強まり、悪化傾向が続いた。売上額は前期並となり、収益は減少が大きく強まり、収益が悪化した。価格面では、販売価格は上昇に転じ、仕入価格は上昇が大きく強まり、在庫は前期並となった。

来期の見通しについて、業況は今期同様で推移すると予想されている。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は減少が大きく弱まり、厳しいながらも改善する見通しである。

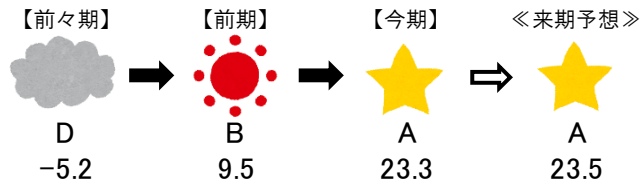
サービス業



業況は厳しさが大きく和らぎ、改善した。売上額は前期並となり、収益は減少が大きく弱まり、厳しい状況ながらも改善した。価格面では、料金価格は上昇から下降に転じ、材料価格は上昇が大きく弱まった。

来期の見通しについて、業況は好転し、さらに改善すると予想されている。売上額、収益ともに増加に転じ、改善する見通しである。

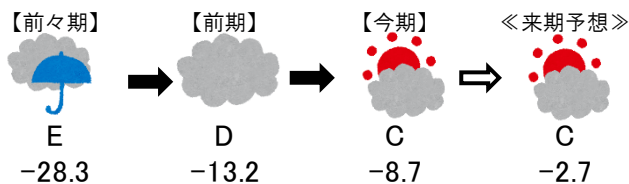
建設業



業況は好調感が大きく強まり、改善傾向が続いた。売上額は増加幅がやや拡大し、収益は増加に転じ、ともに改善した。価格面では、請負価格は上昇から下降に転じ、材料価格は上昇が大きく弱まり、在庫は不足感がやや強まった。

来期の見通しについて、業況は今期同様で推移すると予想されている。売上額は増加幅がやや拡大し、収益は増加傾向を大きく強め、ともにさらに改善する見通しである。

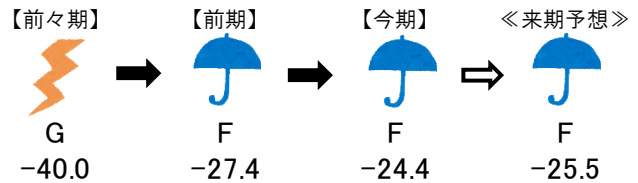
不動産業



業況は厳しさがやや和らぎ、改善傾向が続いた。売上額は減少幅が大幅に拡大し、収益は減少が大きく弱まり、収益が改善した。価格面では、販売価格は前期並となり、仕入価格は上昇がやや強まり、在庫は不足感が大きく強まった。

来期の見通しについて、業況は厳しさが大きく和らぎ、さらに改善すると予想されている。売上額、収益はともに減少幅が大幅に縮小する見通しである。

製 造 業



業 況

業況 (-40.0 → -27.4 → -24.4) は厳しさがやや和らいだ。

売上額・収益・受注残

売上額 (-24.2 → -16.8 → -26.5) は減少幅が大幅に拡大した。

収益 (-22.4 → -11.3 → -21.9) は減少が大幅に強まった。

受注残 (-27.4 → -3.5 → -22.7) は減少幅が大幅に拡大した。

価格・在庫動向

販売価格 (-2.4 → 9.3 → -1.1) は上昇から下降に転じた。

原材料価格 (18.9 → 28.4 → 34.6) は上昇が大きく強まった。

在庫 (5.3 → -4.3 → 0.4) は過剰に転じた。

資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り (-14.6 → -16.2 → -8.2) は窮屈感が大きく緩和した。

借入難易度 (-12.1 → -3.1 → -6.4) は厳しさがやや強まった。

設備投資を「実施した」企業 (11.4% → 12.1% → 3.0%) は前期より9.1ポイント減となった。

経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(51.5%) が最多となり、以下、「原材料高」(33.3%)、「利幅の縮小」(18.2%) の順となった。

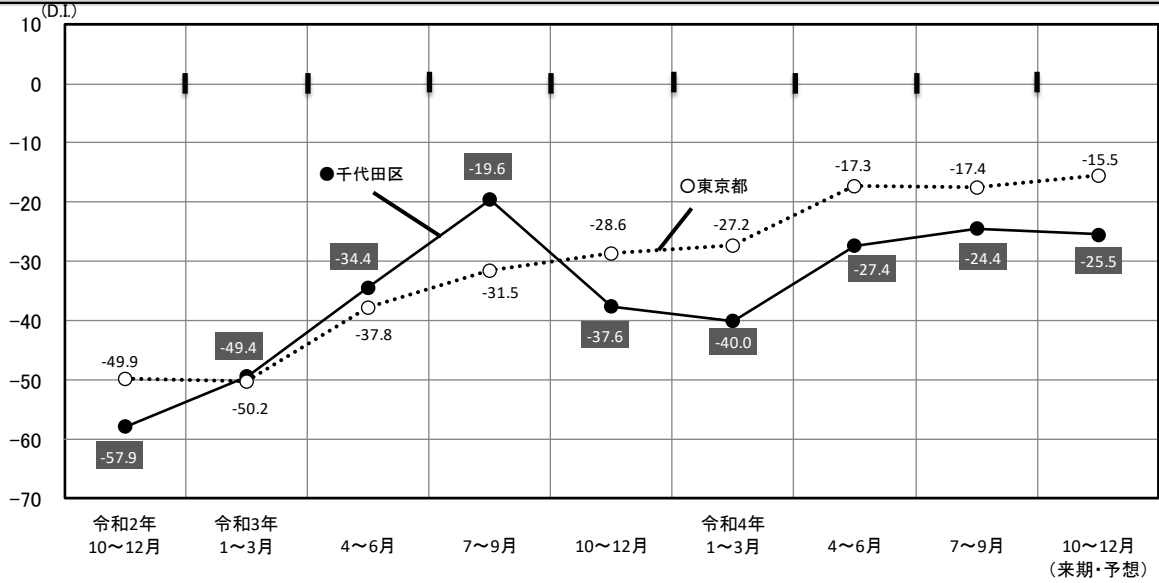
重点経営施策では、「販路を広げる」(57.6%) が最多となり、以下、「経費を節減する」(51.5%)、「情報力を強化する」(27.3%) の順となった。

来 期 の 見 通 し

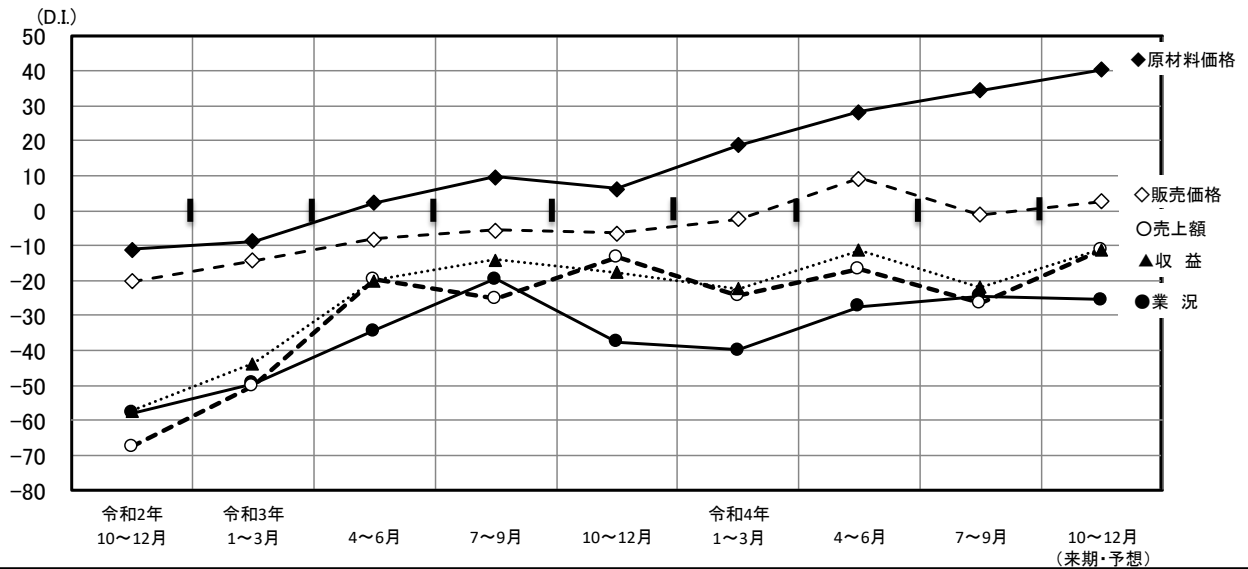
来期の見通しについて、業況 (-25.5 予想) は今期同様で推移すると予想されている。売上額 (-11.0 予想)、収益 (-11.1 予想) はともに大きく減少が弱まる見通しである。

価格面では、販売価格 (2.8 予想) は上昇に転じ、原材料価格 (40.4 予想) は上昇がやや強まる見通しである。

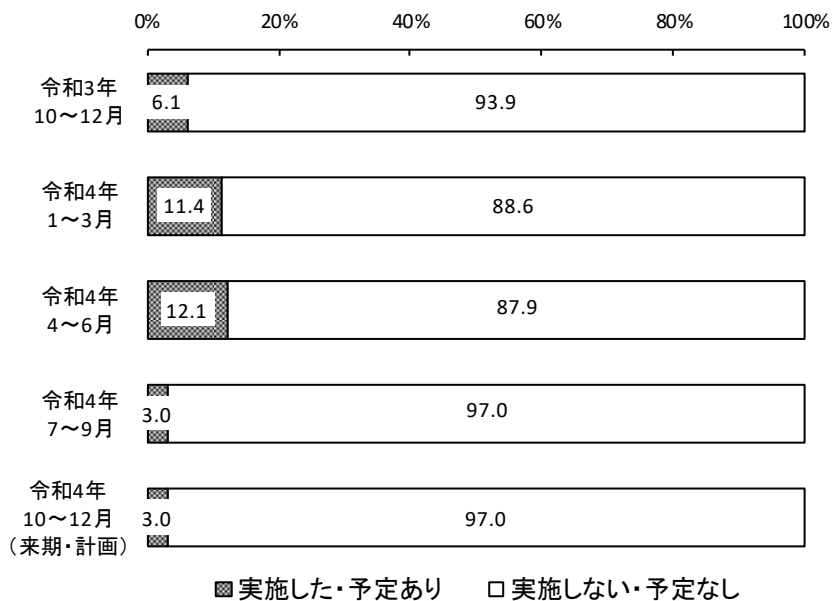
【製造業】千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

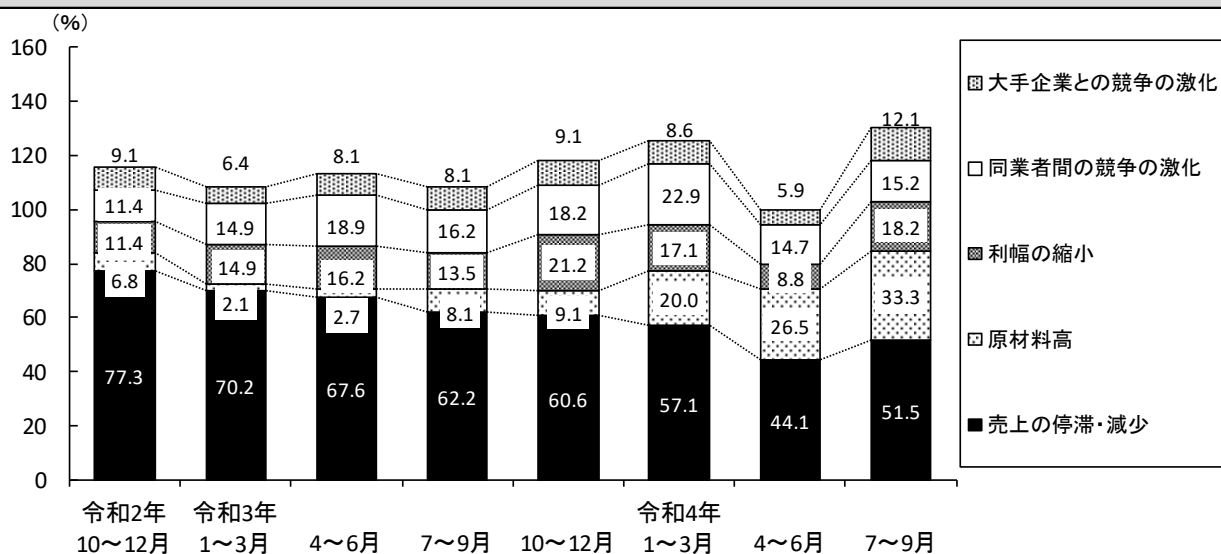


設備投資動向



経営上の問題点

(複数回答)

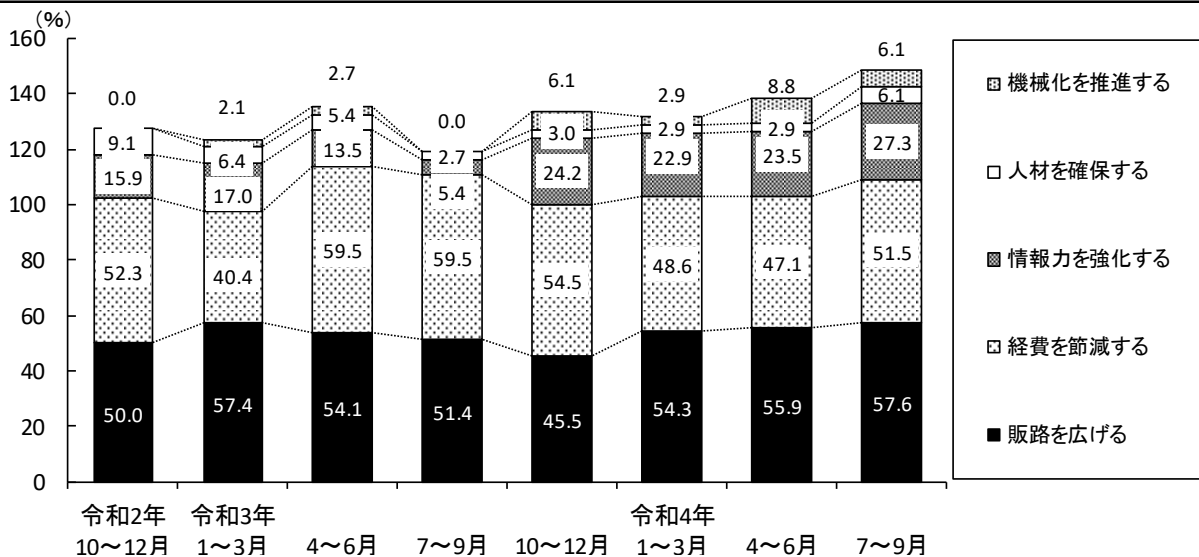


(注: 今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
売上の停滞・減少	60.6 %	売上の停滞・減少	57.1 %	売上の停滞・減少	44.1 %	売上の停滞・減少	51.5 %
利幅の縮小	21.2 %	同業者間の競争の激化	22.9 %	原材料高	26.5 %	原材料高	33.3 %
同業者間の競争の激化	18.2 %	原材料高	20.0 %	同業者間の競争の激化	14.7 %	利幅の縮小	18.2 %
大手企業との競争の激化	9.1 %	利幅の縮小	17.1 %	仕入先からの値上げ要請	11.8 %	同業者間の競争の激化	15.2 %
原材料高		大手企業との競争の激化	8.6 %	人手不足	8.8 %	人手不足	12.1 %
		仕入先からの値上げ要請		利幅の縮小		大手企業との競争の激化	
				為替レートの変動			

重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
経費を節減する	54.5 %	販路を広げる	54.3 %	販路を広げる	55.9 %	販路を広げる	57.6 %
販路を広げる	45.5 %	経費を節減する	48.6 %	経費を節減する	47.1 %	経費を節減する	51.5 %
情報力を強化する	24.2 %	情報力を強化する	22.9 %	情報力を強化する	23.5 %	情報力を強化する	27.3 %
提携先を見つける	6.1 %	新製品・技術を開発する	5.7 %	機械化を推進する	8.8 %	機械化を推進する	6.1 %
機械化を推進する		提携先を見つける		新製品・技術を開発する	5.9 %	人材を確保する	

業種別動向

●出版、製本業●

業況（-48.2 → -13.1 → -25.3）は低調感が大きく強まり、売上額（-42.1 → -10.7 → -9.8）は前期並の減少幅で推移し、収益（-25.5 → -11.4 → -20.8）は減少が大きく強まった。価格面では、販売価格（-13.8 → 3.5 → -1.9）は上昇から下降に転じ、原材料価格（-14.6 → 4.2 → 19.3）は上昇が大きく強まった。

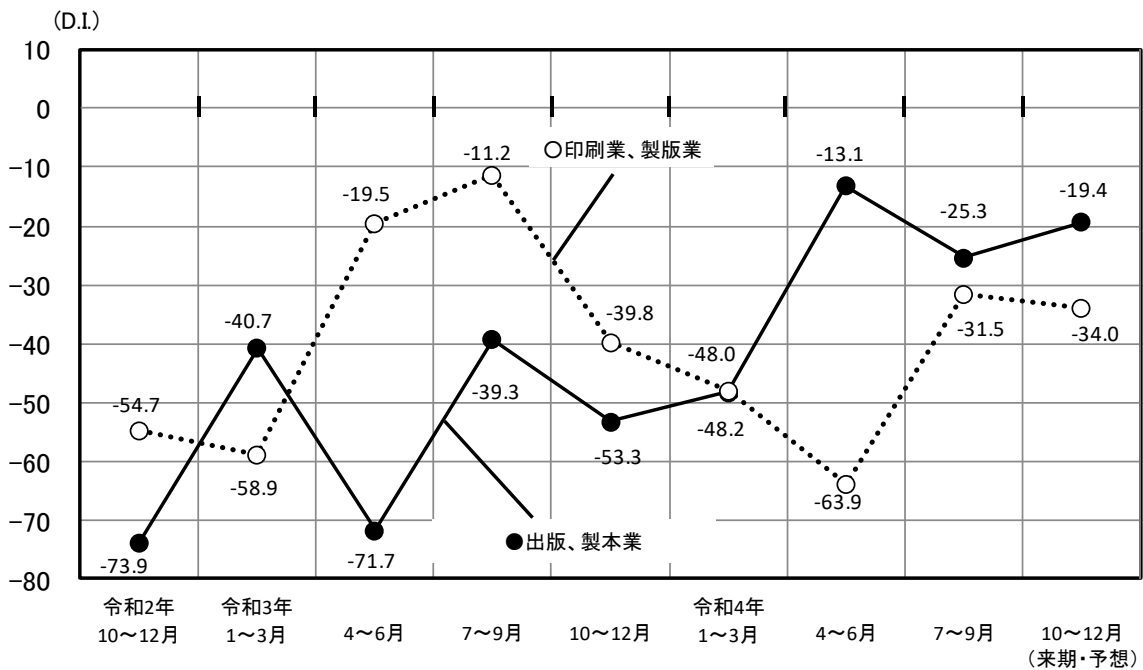
来期の見通しについて、業況（-19.4予想）は厳しさがやや和らぎ、売上額（-11.4予想）は今期同様で推移し、収益（2.4予想）は増加に転じると予想されている。価格面では、販売価格（11.4予想）は上昇に転じ、原材料価格（20.8予想）は今期同様で推移する見通しである。

●印刷業、製版業●

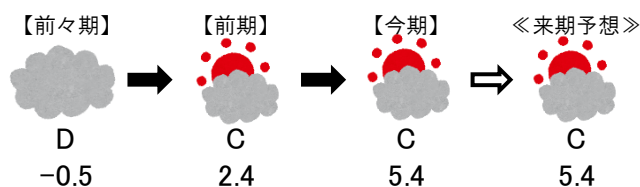
業況（-48.0 → -63.9 → -31.5）は厳しさが極端に和らぎ、売上額（-37.7 → -39.4 → -31.9）は減少幅が大きく縮小し、収益（-47.5 → -34.8 → -31.9）は減少がやや弱まった。価格面では、販売価格（-24.2 → -30.1 → -26.2）は下降がやや弱まり、原材料価格（7.9 → -8.9 → -9.3）は前期並となった。

来期の見通しについて、業況（-34.0予想）は低調感がやや強まり、売上額（-1.4予想）は減少幅が極端に縮小し、収益（0.2予想）は増加に転じると予想されている。価格面では、販売価格（-13.2予想）は下降が大きく弱まり、原材料価格（-9.0予想）は今期同様で推移する見通しである。

【製造業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



卸 売 業



業 況

業況 (-0.5 → 2.4 → 5.4) は好調感がやや強まった。

売上額 ・ 収益

売上額 (6.6 → 7.6 → 3.4) は増加幅がやや縮小した。

収益 (6.8 → -3.0 → 0.8) は増加に転じた。

価格 ・ 在庫動向

販売価格 (24.5 → 25.3 → 33.2) は上昇が大きく強まった。

仕入価格 (39.4 → 46.6 → 46.2) は前期並となった。

在庫 (-7.6 → 3.4 → 7.4) は過剰感がやや強まった。

資金繰り ・ 借入難易度 ・ 設備投資動向

資金繰り (2.7 → 2.7 → -1.4) は厳しい状況に転じた。

借入難易度 (18.8 → 22.5 → 26.6) は容易さがやや増した。

設備投資を「実施した」企業 (7.7% → 5.8% → 10.0%) は前期より4.2ポイント増となった。

経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(50.0%)が最多となり、以下、「同業者間の競争の激化」(30.0%)、「輸入品との競争の激化」、「仕入先からの値上げ要請」(各18.0%)の順となった。

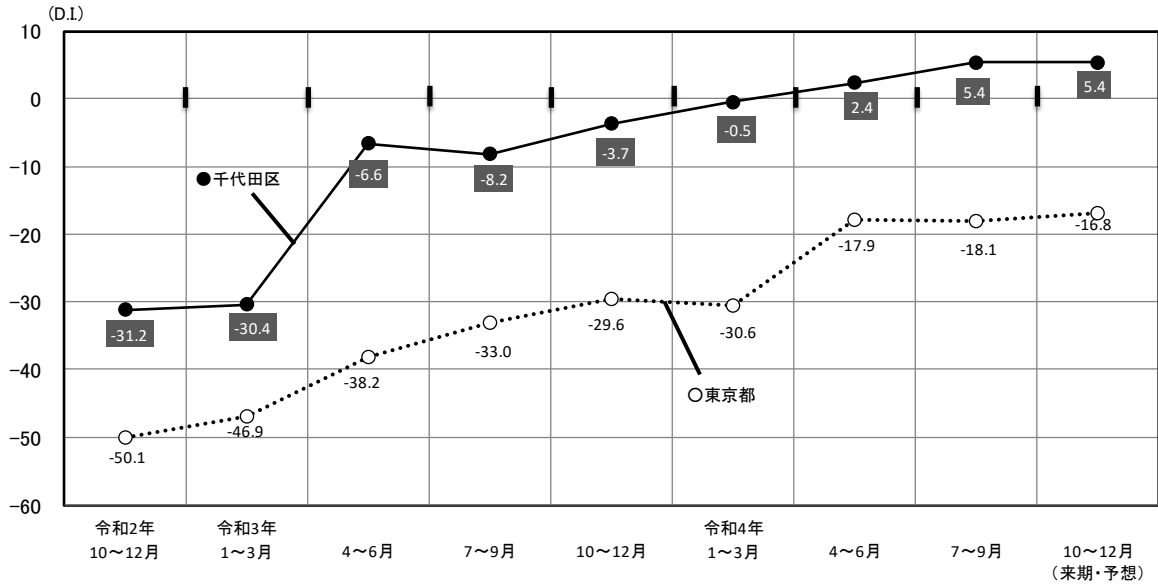
重点経営施策では、「販路を広げる」(58.0%)が最多となり、以下、「経費を節減する」(40.0%)、「提携先を見つける」(22.0%)の順となった。

来 期 の 見 通 し

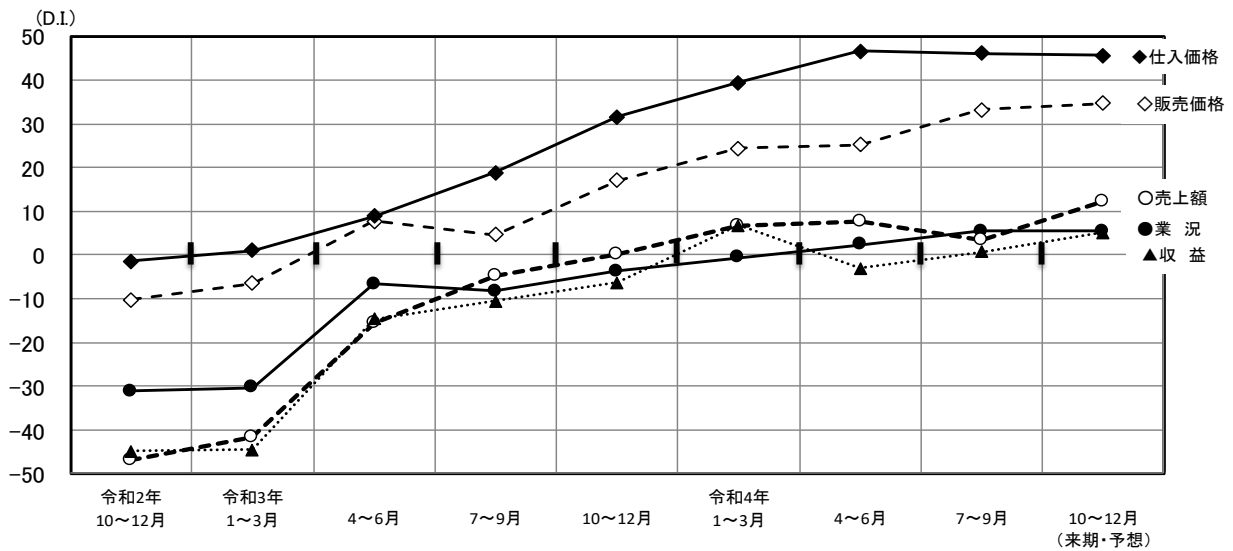
来期の見通しについて、業況 (5.4 予想) は今期同様に推移すると予想されている。売上額 (12.1 予想) は増加幅が大幅に拡大し、収益 (5.2 予想) は増加傾向がやや強まる見通しである。

価格面では、販売価格 (34.8 予想)、仕入価格 (45.7 予想) はともに今期同様に推移する見通しである。

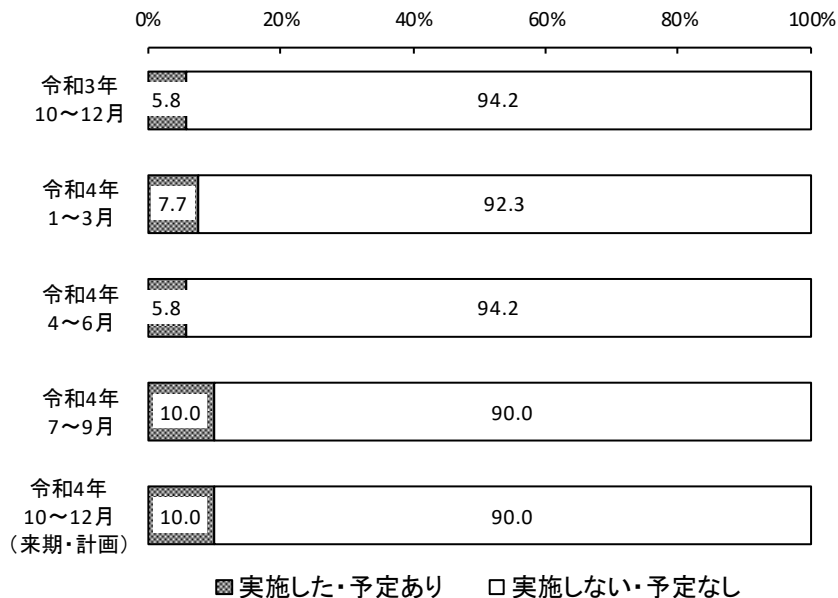
【卸売業】千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

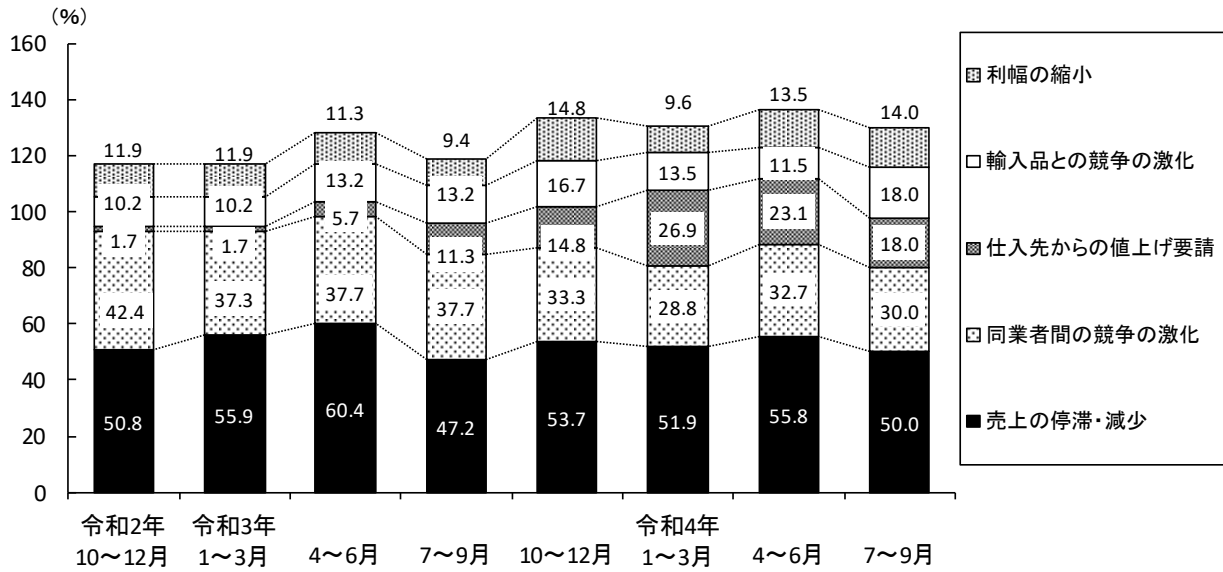


設備投資動向



経営上の問題点

(複数回答)

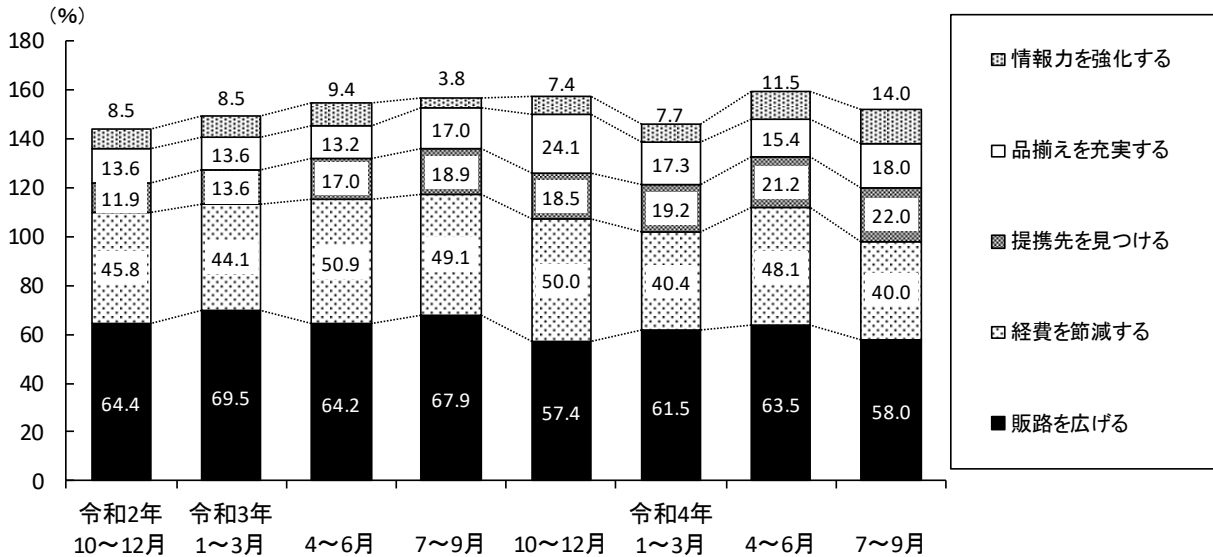


(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
売上の停滞・減少	53.7 %	売上の停滞・減少	51.9 %	売上の停滞・減少	55.8 %	売上の停滞・減少	50.0 %
同業者間の競争の激化	33.3 %	同業者間の競争の激化	28.8 %	同業者間の競争の激化	32.7 %	同業者間の競争の激化	30.0 %
輸入品との競争の激化	16.7 %	仕入先からの値上げ要請	26.9 %	仕入先からの値上げ要請	23.1 %	輸入品との競争の激化	18.0 %
利幅の縮小	14.8 %	販売商品の不足	15.4 %	利幅の縮小	13.5 %	仕入先からの値上げ要請	18.0 %
仕入先からの値上げ要請		輸入品との競争の激化	13.5 %	為替レートの変動		利幅の縮小	14.0 %

重点経営施策

(複数回答)



(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
販路を広げる	57.4 %	販路を広げる	61.5 %	販路を広げる	63.5 %	販路を広げる	58.0 %
経費を節減する	50.0 %	経費を節減する	40.4 %	経費を節減する	48.1 %	経費を節減する	40.0 %
品揃えを充実する	24.1 %	提携先を見つける	19.2 %	提携先を見つける	21.2 %	提携先を見つける	22.0 %
提携先を見つける	18.5 %	品揃えを充実する	17.3 %	品揃えを充実する	15.4 %	品揃えを充実する	18.0 %
人材を確保する	11.1 %	人材を確保する	11.5 %	情報力を強化する	11.5 %	情報力を強化する	14.0 %

業種別動向

●機械器具●

業況 (19.5 → 20.5 → 17.1) は好調感がやや後退し、売上額 (24.4 → 13.0 → 9.2) は増加幅がやや縮小し、収益 (19.2 → 9.3 → 11.6) は増加傾向をやや強めた。価格面では、販売価格 (29.9 → 30.1 → 37.1) は上昇が大きく強まり、仕入価格 (39.4 → 45.2 → 43.6) は前期並となった。

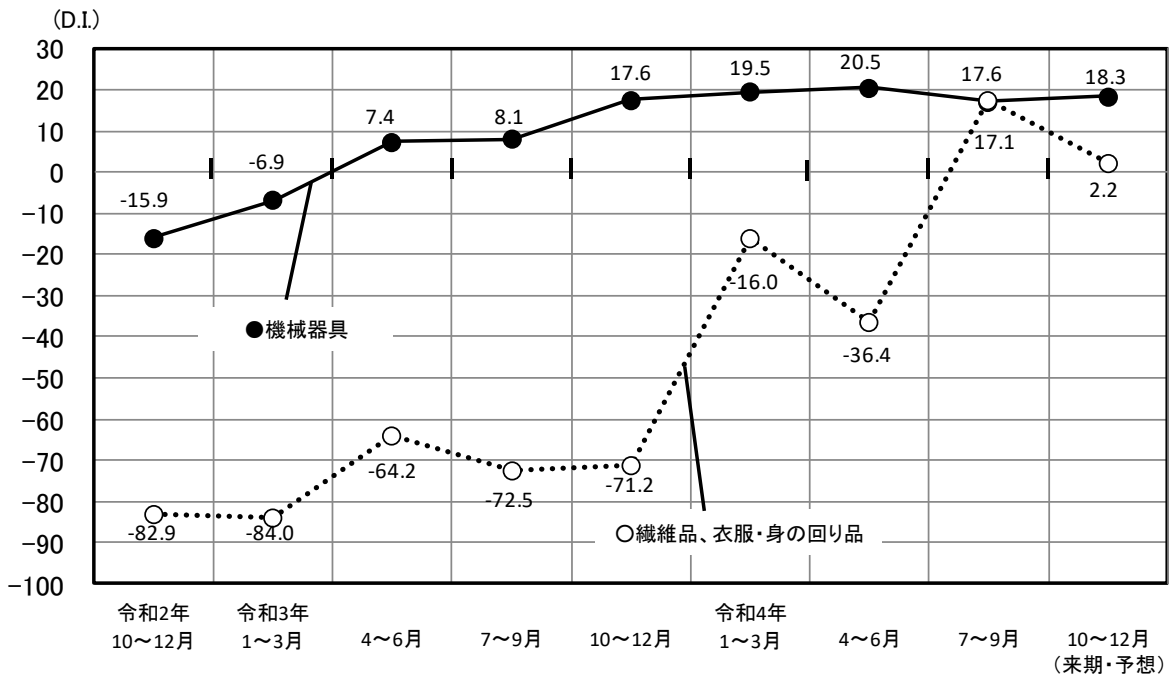
来期の見通しについて、業況 (18.3予想) は今期同様で推移し、売上額 (20.6予想) は増加幅が大幅に拡大し、収益 (16.0予想) は増加傾向をやや強めると予想されている。価格面では、販売価格 (38.8 予想)、仕入価格 (42.9 予想) とともに今期同様で推移すると予想されている。

●繊維品、衣服・身の回り品●

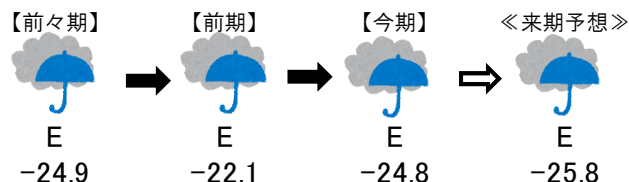
業況 (-16.0 → -36.4 → 17.6) は好転し、売上額 (37.3 → 9.7 → 44.6)、収益 (32.6 → 6.3 → 33.1) とともに増加幅が極端に拡大した。価格面では、販売価格 (1.5 → 20.2 → 22.1) は前期並の上昇が続き、仕入価格 (2.4 → 20.0 → 27.3) は上昇が大きく強まった。

来期の見通しについて、業況 (2.2 予想) は好調感が大きく後退し、売上額 (26.1 予想) は増加幅が大幅に縮小し、収益 (8.2 予想) は増加傾向が極端に縮小すると予想されている。価格面では、販売価格 (22.2 予想) は今期同様で推移し、仕入価格 (23.5 予想) は上昇がやや弱まる見通しである。

【卸売業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



小 売 業



業 況

業況 (-24.9 → -22.1 → -24.8) は低調感がやや強まった。

売上額 ・ 収益

売上額 (-23.5 → -21.1 → -22.7) は前期並となった。
収益 (-30.2 → -22.9 → -32.6) は減少が大きく強まった。

価格 ・ 在庫動向

販売価格 (-17.1 → -6.7 → 2.2) は上昇に転じた。
仕入価格 (-1.7 → 7.7 → 23.6) は上昇が大きく強まった。
在庫 (-17.8 → -6.0 → -4.6) は前期並となった。

資金繰り ・ 借入難易度 ・ 設備投資動向

資金繰り (-12.1 → -4.2 → -19.6) は窮屈感が大きく強まった。
借入難易度 (-10.0 → -10.0 → -11.1) は前期並となった。
設備投資を「実施した」企業 (7.4% → 11.5% → 4.0%) は前期より7.5ポイント減となった。

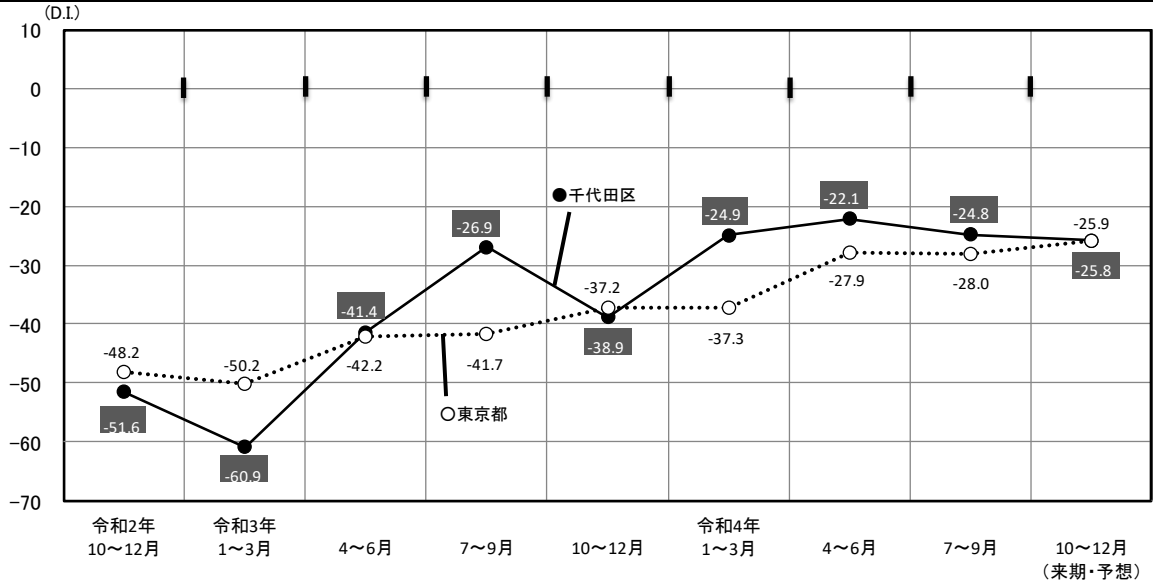
経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(48.0%)が最多となり、以下、「同業者間の競争の激化」(28.0%)、「大型店との競争の激化」(20.0%)の順となった。
重点経営施策では、「経費を節減する」、「宣伝・広告を強化する」(各32.0%)が最多となり、以下、「品揃えを改善する」(24.0%)、「商店街事業を活性化させる」(16.0%)の順となった。

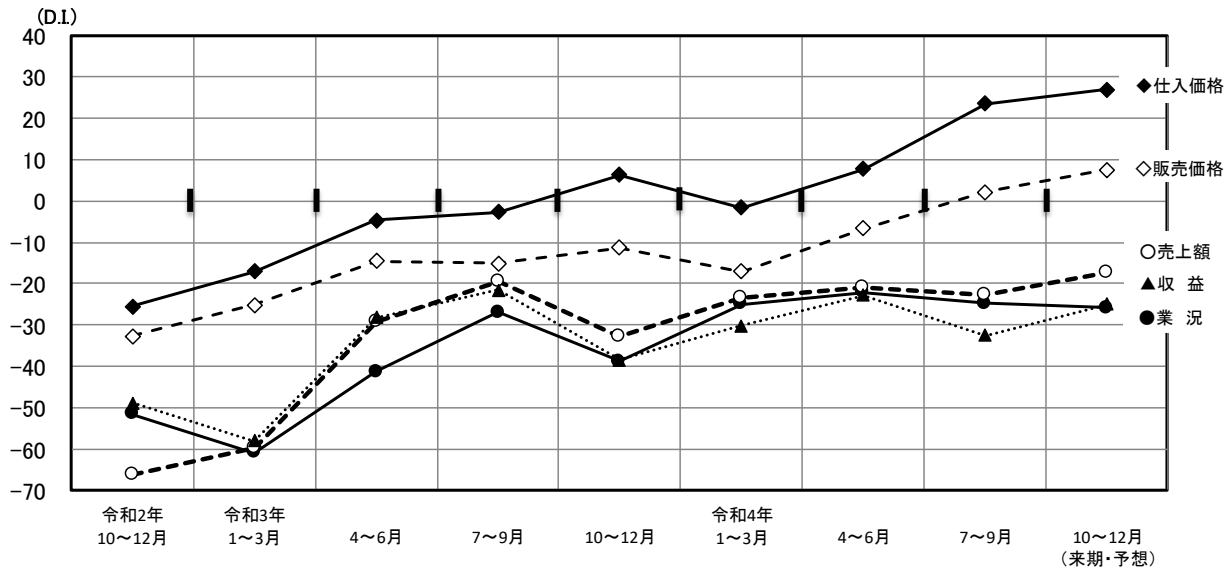
来 期 の 見 通 し

来期の見通しについて、業況 (-25.8予想) は今期同様で推移すると予想されている。売上額 (-17.2予想) は減少幅がやや縮小し、収益 (-24.9予想) は減少が大きく弱まる見通しである。
価格面では、販売価格 (7.5予想)、仕入価格 (26.9予想) はともに上昇がやや強まる見通しである。

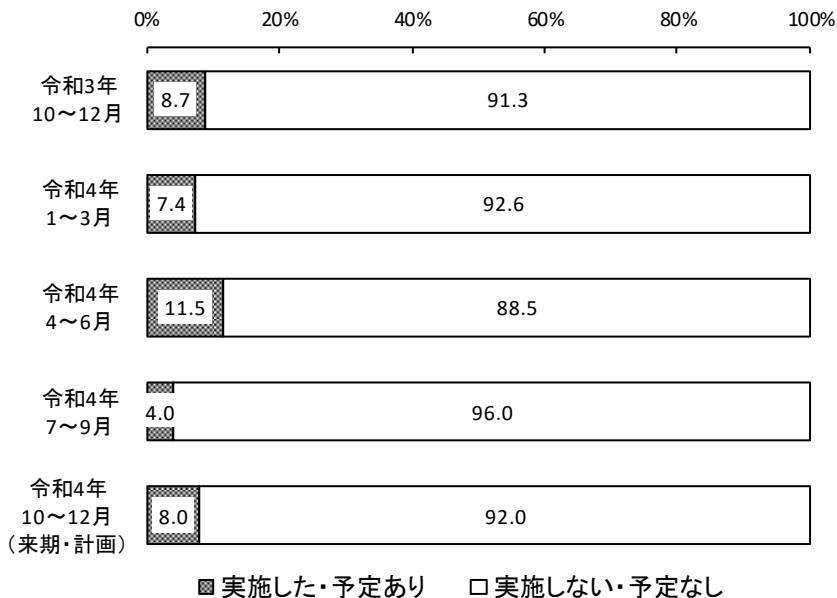
【小売業】千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

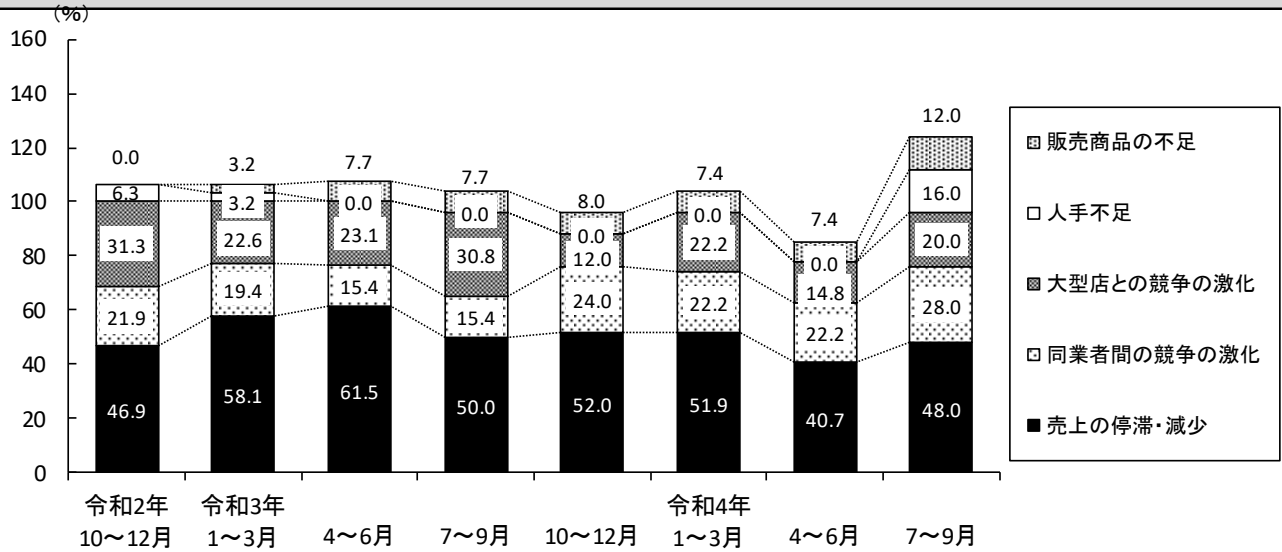


設備投資動向



経営上の問題点

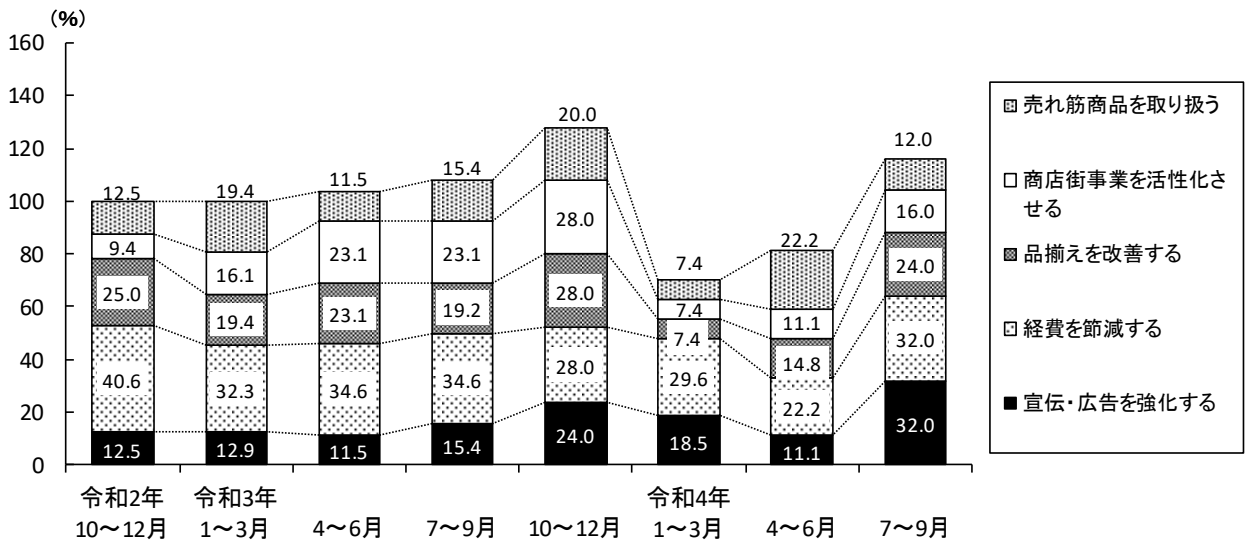
(複数回答)



令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
売上の停滞・減少	52.0 %	売上の停滞・減少	51.9 %	売上の停滞・減少	40.7 %	売上の停滞・減少	48.0 %
同業者間の競争の激化	24.0 %	同業者間の競争の激化	22.2 %	同業者間の競争の激化	22.2 %	同業者間の競争の激化	28.0 %
仕入先からの値上げ要請	20.0 %	大型店との競争の激化	14.8 %	大型店との競争の激化	14.8 %	大型店との競争の激化	20.0 %
大型店との競争の激化	12.0 %	取引先の減少	14.8 %	仕入先からの値上げ要請	11.1 %	人手不足	16.0 %
利幅の縮小		仕入先からの値上げ要請	11.1 %	商店街の集客力の低下		販売商品の不足	12.0 %
取引先の減少							

重点経営施策

(複数回答)



令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
品揃えを改善する	28.0 %	経費を節減する	29.6 %	経費を節減する	22.2 %	経費を節減する	32.0 %
経費を節減する		宣伝・広告を強化する	18.5 %	売れ筋商品を取り扱う		宣伝・広告を強化する	
商店街事業を活性化させる		品揃えを改善する	7.4 %	品揃えを改善する	14.8 %	品揃えを改善する	24.0 %
宣伝・広告を強化する	24.0 %	新しい事業を始める		宣伝・広告を強化する	11.1 %	商店街事業を活性化させる	16.0 %
売れ筋商品を取り扱う	20.0 %	店舗・設備を改装する		新しい事業を始める		仕入先を開拓・選別する	12.0 %
		仕入先を開拓・選別する		商店街事業を活性化させる		売れ筋商品を取り扱う	
		売れ筋商品を取り扱う					
		商店街事業を活性化させる					

業種別動向

●書籍、文房具●

業況 (50.5 → -32.0 → -30.8) は前期並となり、売上額 (-50.1 → -31.7 → -37.2) は減少幅がやや拡大し、収益 (-49.7 → -27.4 → -37.1) は減少が大きく強まった。価格面では、販売価格 (-45.1 → -4.5 → -20.4) は下降が大きく強まり、仕入価格 (-42.5 → 13.5 → 11.7) は前期並となった。

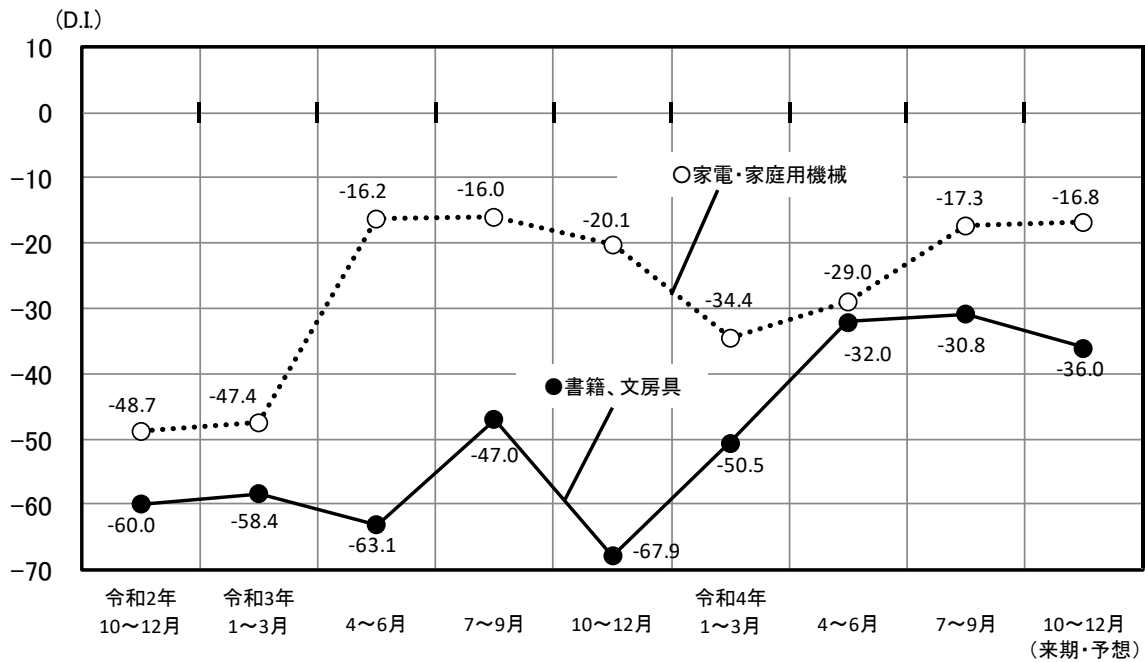
来期の見通しについて、業況 (-36.0予想) は低調感がやや強まり、売上額 (-34.2予想)、収益 (-34.7予想) はともに減少幅がやや縮小すると予想されている。価格面では、販売価格 (-7.9予想) は下降が大きく弱まり、仕入価格 (26.8予想) は上昇が大きく強まる見通しである。

●家電・家庭用機械●

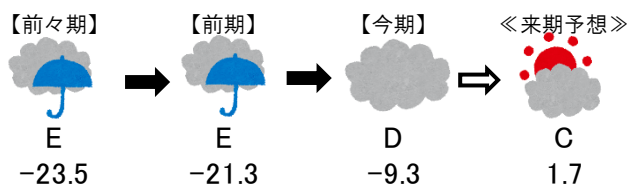
業況 (-34.4 → -29.0 → -17.3) は厳しさが大きく和らぎ、売上額 (-34.2 → -0.8 → -18.8)、収益 (-35.9 → -1.1 → -16.9) はともに減少幅が大幅に拡大した。価格面では、販売価格 (-34.0 → -16.0 → -17.9) は前期並となり、仕入価格 (-2.3 → -0.4 → 1.6) は上昇に転じた。

来期の見通しについて、業況 (-16.8予想) は今期同様で推移し、売上額 (-1.4予想) は減少幅が大きく縮小し、収益 (2.0予想) は増加に転じると予想されている。価格面では、販売価格 (-16.0予想)、仕入価格 (3.0予想) はともに今期同様で推移する見通しである。

【小売業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



サービス業



業況

業況 (-23.5 → -21.3 → -9.3) は厳しさが大きく和らいだ。

売上額 ・ 収益

売上額 (-30.6 → -14.0 → -14.4) は前期並となった。
収益 (-28.7 → -18.3 → -8.6) は減少が大きく弱まった。

料金 ・ 材料価格動向

料金価格 (4.2 → 5.8 → -0.1) は上昇から下降に転じた。
材料価格 (9.9 → 23.3 → 6.3) は上昇が大きく弱まった。

資金繰り ・ 借入難易度 ・ 設備投資動向

資金繰り (-10.4 → -3.6 → -15.7) は窮屈感が大きく強まった。
借入難易度 (-16.7 → -13.4 → -22.2) は厳しさが大きく強まった。
設備投資を「実施した」企業 (21.9% → 15.6% → 9.7%) は前期より5.9ポイント減となった。

経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(50.0%) が最多で、以下、「利幅の縮小」(25.0%)、「人手不足」(21.9%) の順となった。

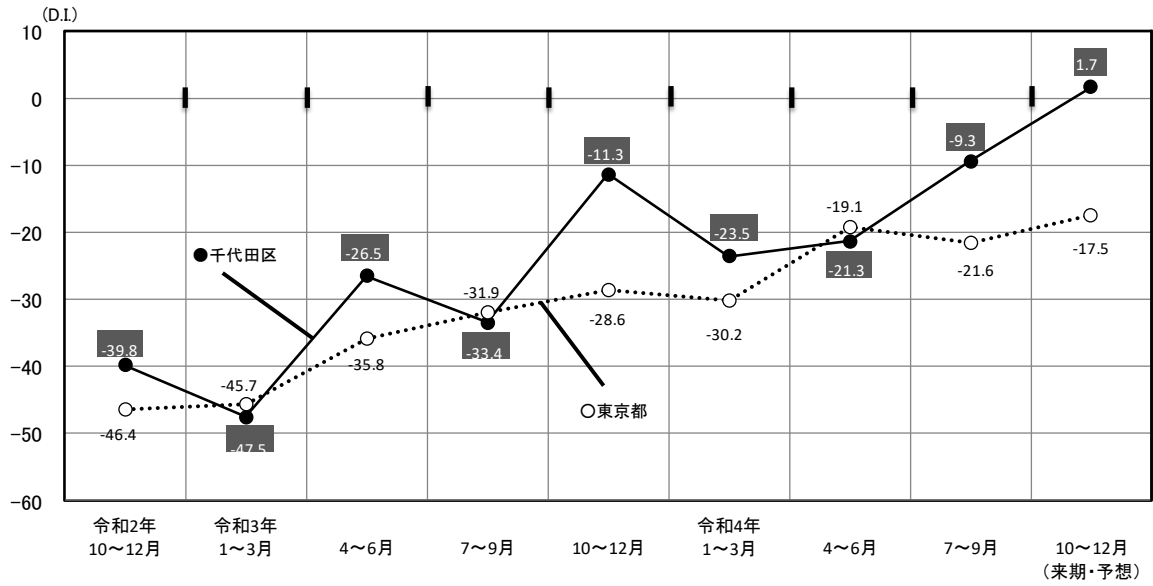
重点経営施策では、「販路を広げる」(65.6%) が最多で、以下、「経費を節減する」(50.0%)、「宣伝・広告を強化する」(28.1%) の順となった。

来期の見通し

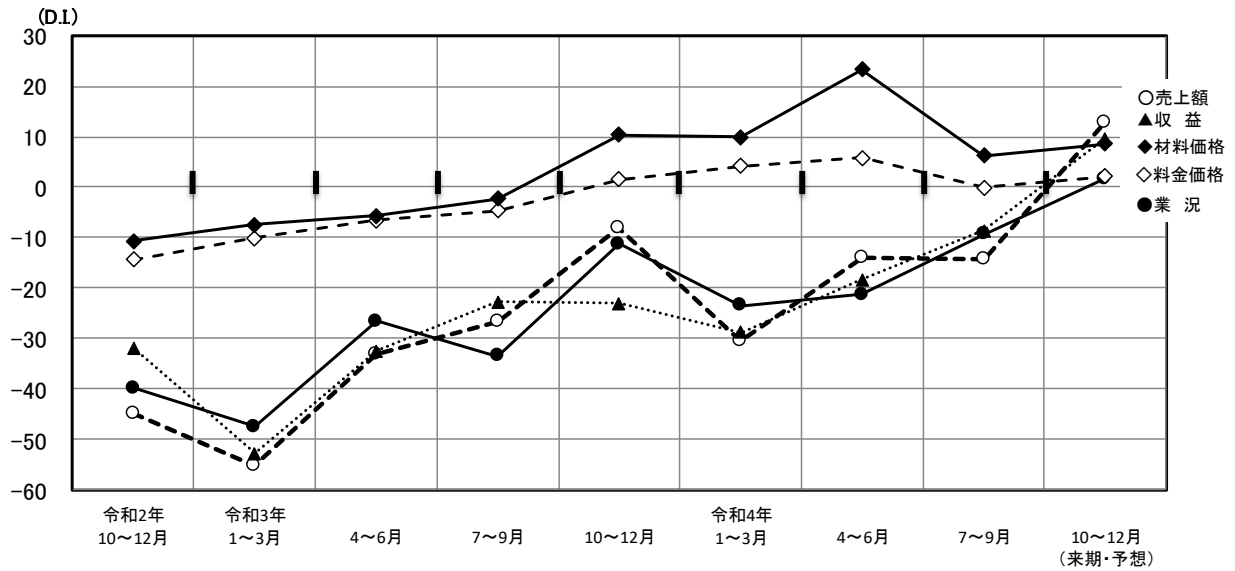
来期の見通しについて、業況 (1.7予想) は好転すると予想されている。売上額 (12.7予想)、収益 (9.6予想) はともに増加に転じる見通しである。

価格面では、料金価格 (2.2予想) は上昇に転じ、材料価格 (8.6予想) は上昇がやや強まる見通しである。

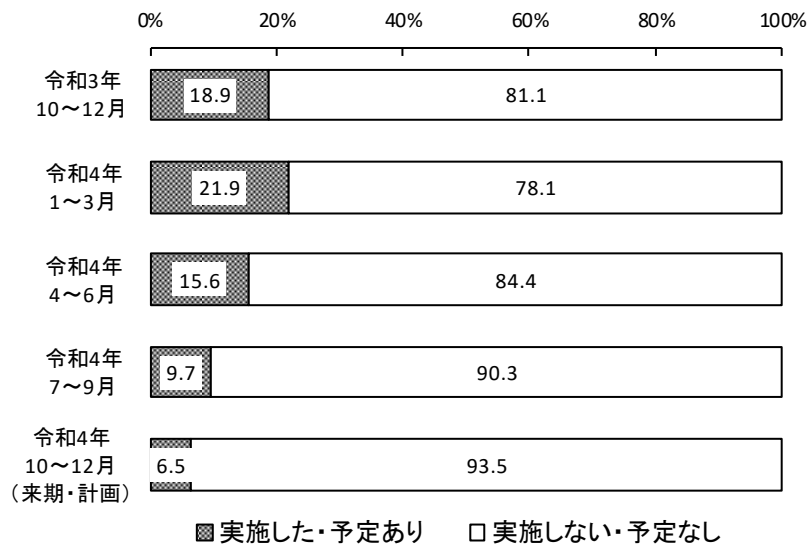
【サービス業】千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

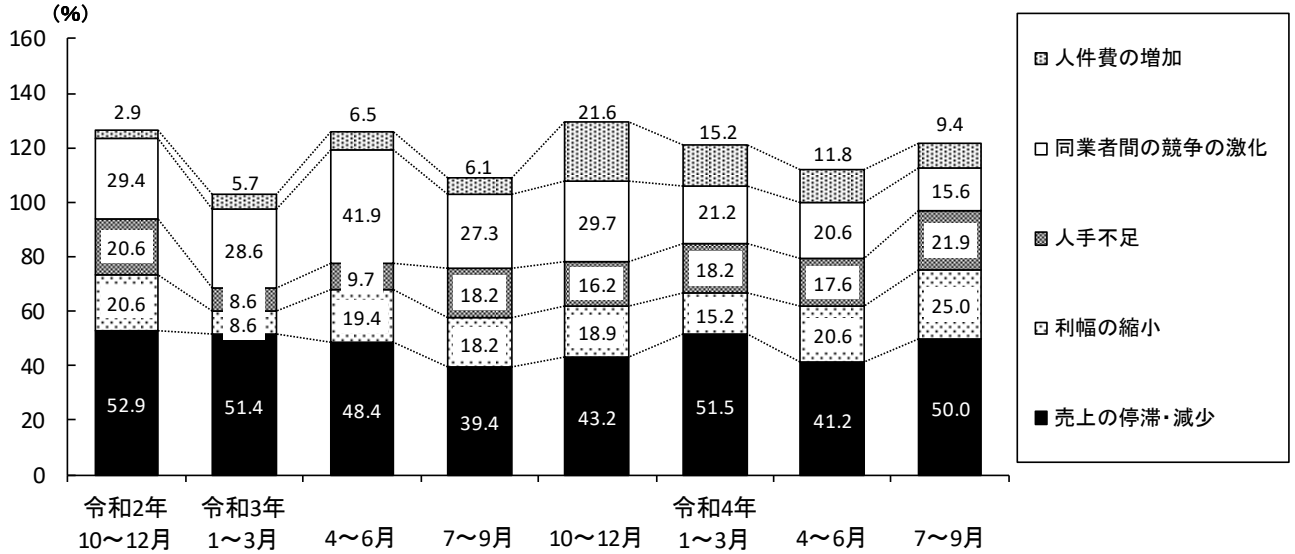


設備投資動向



経営上の問題点

(複数回答)

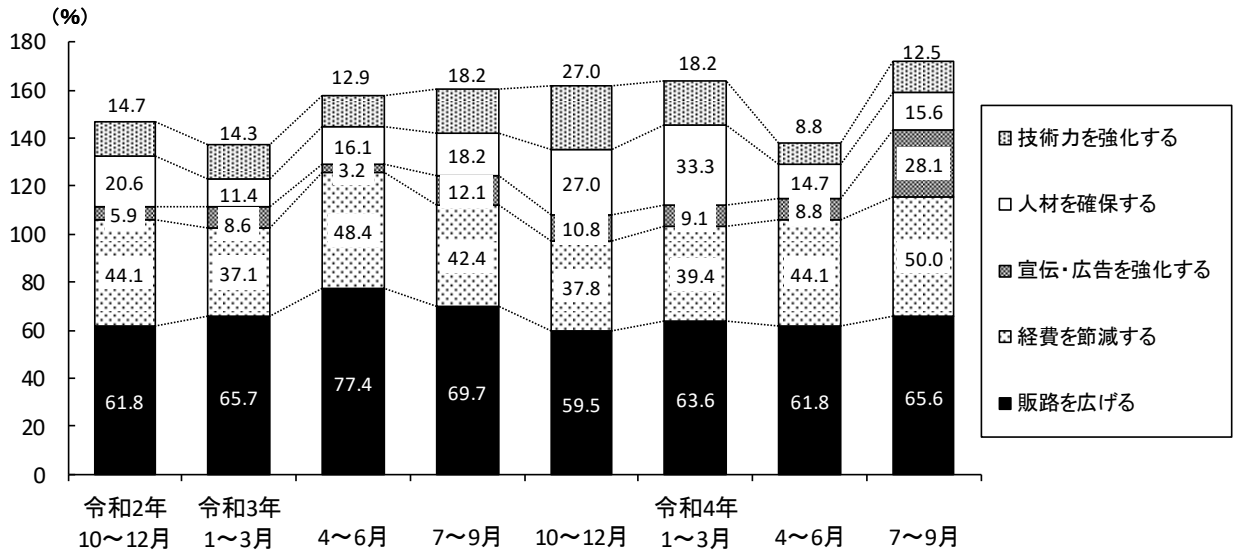


(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
売上の停滞・減少	43.2 %	売上の停滞・減少	51.5 %	売上の停滞・減少	41.2 %	売上の停滞・減少	50.0 %
同業者間の競争の激化	29.7 %	同業者間の競争の激化	21.2 %	同業者間の競争の激化	20.6 %	利幅の縮小	25.0 %
人件費の増加	21.6 %	人手不足	18.2 %	利幅の縮小	18.2 %	人手不足	21.9 %
利幅の縮小	18.9 %	利幅の縮小	15.2 %	人手不足	17.6 %	同業者間の競争の激化	15.6 %
人手不足	16.2 %	人件費の増加		材料価格の上昇	14.7 %	材料価格の上昇	9.4 %

重点経営施策

(複数回答)



(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
販路を広げる	59.5 %	販路を広げる	63.6 %	販路を広げる	61.8 %	販路を広げる	65.6 %
経費を節減する	37.8 %	経費を節減する	39.4 %	経費を節減する	44.1 %	経費を節減する	50.0 %
技術力を強化する	27.0 %	人材を確保する	33.3 %	提携先を見つける	14.7 %	宣伝・広告を強化する	28.1 %
人材を確保する		技術力を強化する	18.2 %	人材を確保する		人材を確保する	15.6 %
宣伝・広告を強化する	10.8 %	提携先を見つける	12.1 %	宣伝・広告を強化する	8.8 %	技術力を強化する	12.5 %
提携先を見つける				技術力を強化する			

業種別動向

●広告・旅館・その他の宿泊所・リースレンタル業●

業況（-8.5 → -11.8 → -8.2）は厳しさがやや和らぎ、売上額（-4.9 → -5.3 → -10.1）は減少幅がやや拡大し、収益（-9.5 → -5.4 → -11.1）は減少がやや強まった。価格面では、料金価格（11.5 → 0.7 → -1.6）は上昇から下降に転じ、材料価格（10.5 → 9.5 → 0.5）は上昇が大きく弱まった。

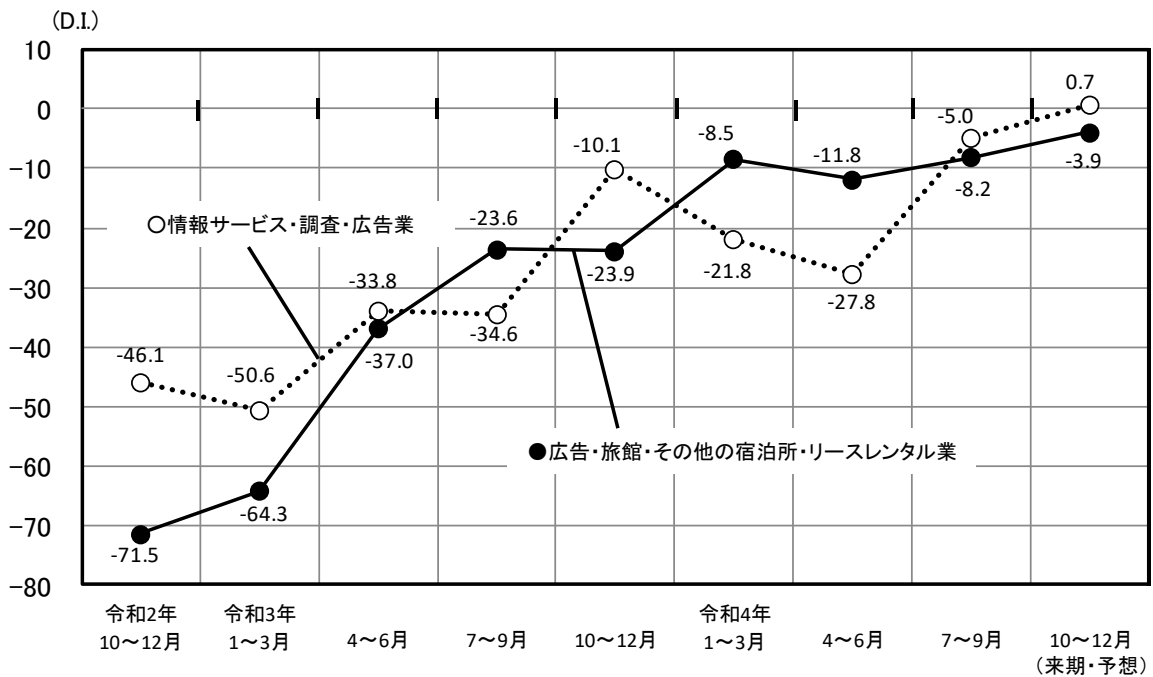
来期の見通しについて、業況（-3.9予想）は厳しさがやや和らぎ、売上額（10.2予想）、収益（9.2予想）はともに増加に転じると予想されている。価格面では、料金価格（-4.6予想）は下降がやや強まり、材料価格（0.5予想）は今期同様で推移する見通しである。

●情報サービス・調査・広告業●

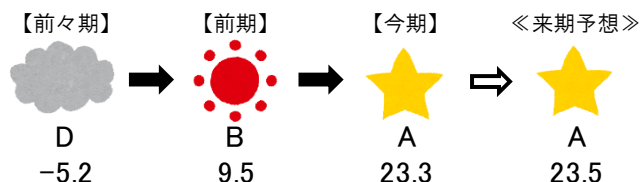
業況（-21.8 → -27.8 → -5.0）は厳しさが極端に和らぎ、売上額（-24.4 → -14.8 → -10.5）は減少幅がやや縮小し、収益（-21.9 → -21.0 → -6.1）は減少が大きく弱まった。価格面では、料金価格（1.2 → 0.3 → -0.2）は前期並となり、材料価格（1.0 → 13.0 → 3.3）は上昇が大きく弱まった。

来期の見通しについて、業況（0.7予想）は好転し、売上額（14.8予想）、収益（13.2予想）はともに増加に転じると予想されている。価格面では、料金価格（-1.5予想）、材料価格（3.3予想）はともに今期同様で推移する見通しである。

【サービス業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



建設業



業況

業況 (-5.2 → 9.5 → 23.3) は好調感が大きく強まった。

売上額・収益・受注残

売上額 (-4.5 → 14.7 → 17.3) は増加幅がやや拡大した。

収益 (-5.7 → -2.7 → 5.0) は増加に転じた。

受注残 (10.3 → 0.6 → 18.2) は増加幅が大幅に拡大した。

価格・在庫動向

請負価格 (-2.2 → 12.8 → -0.2) は上昇から下降に転じた。

材料価格 (38.0 → 58.1 → 40.3) は上昇が大きく弱まった。

在庫 (-3.2 → -2.8 → -5.8) は不足感がやや強まった。

資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り (-8.6 → 1.6 → 10.3) は容易さが大きく増した。

借入難易度 (-3.5 → 0.0 → -6.9) は厳しさが大きく強まった。

設備投資を「実施した」企業 (6.3% → 3.2% → 9.4%) は前期より6.2ポイント増となった。

経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」(40.6%)が最多で、以下、「人手不足」(37.5%)、「売上の停滞・減少」(28.1%)の順となった。

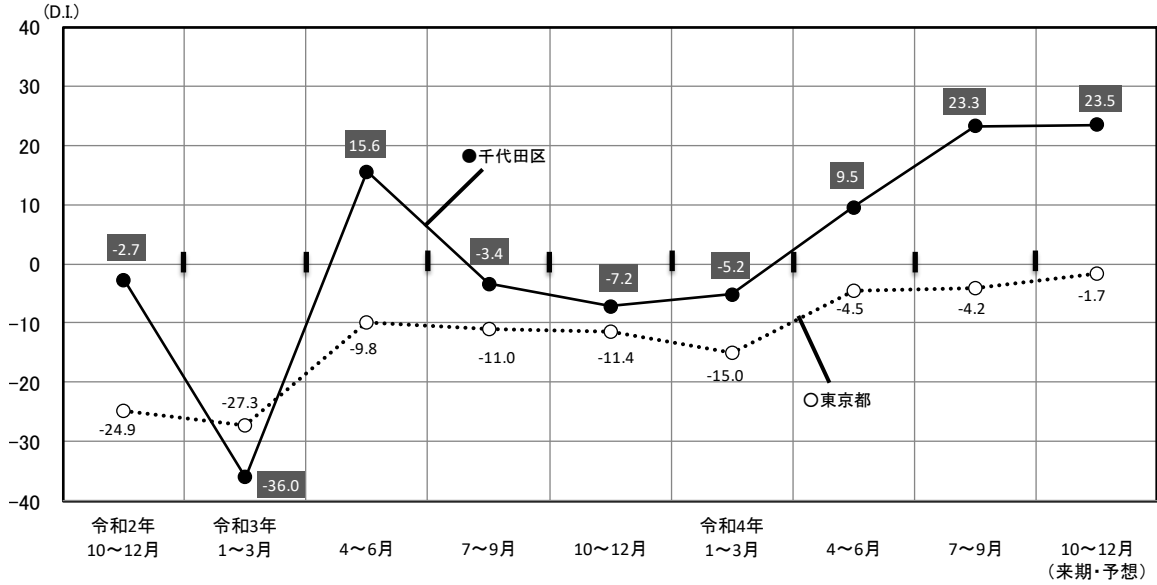
重点経営施策では、「販路を広げる」(56.3%)が最多で、以下、「経費を節減する」(40.6%)、「情報を強化する」、「技術力を高める」(各28.1%)の順となった。

来期の見通し

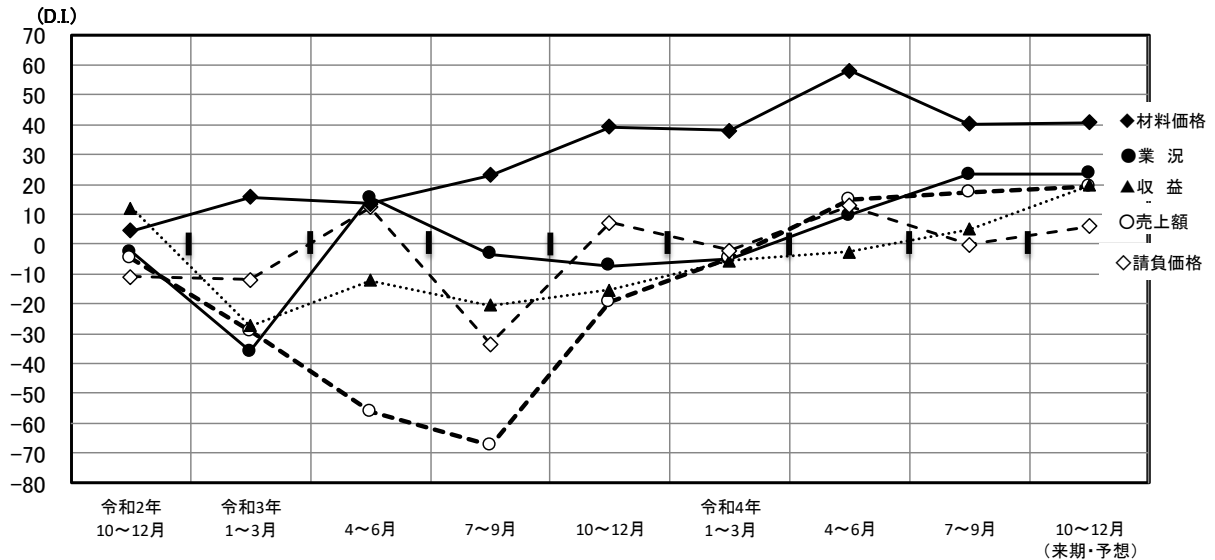
来期の見通しについて、業況 (23.5予想) は今期同様で推移すると予想されている。売上額 (19.3予想) は増加幅がやや拡大し、収益 (19.7予想) は増加傾向を大きく強める見通しである。

価格面では、請負価格 (5.9予想) は上昇に転じ、材料価格 (40.8予想) は今期同様で推移する見通しである。

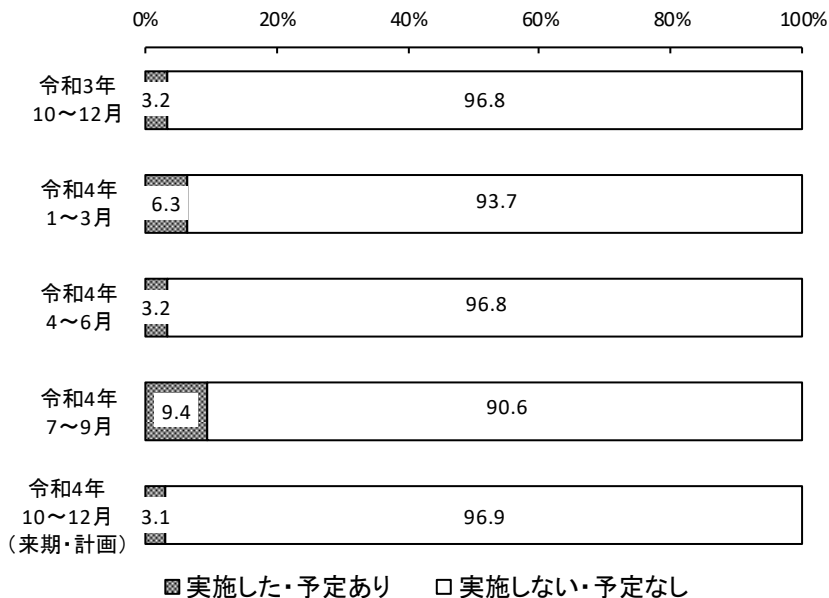
【建設業】千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

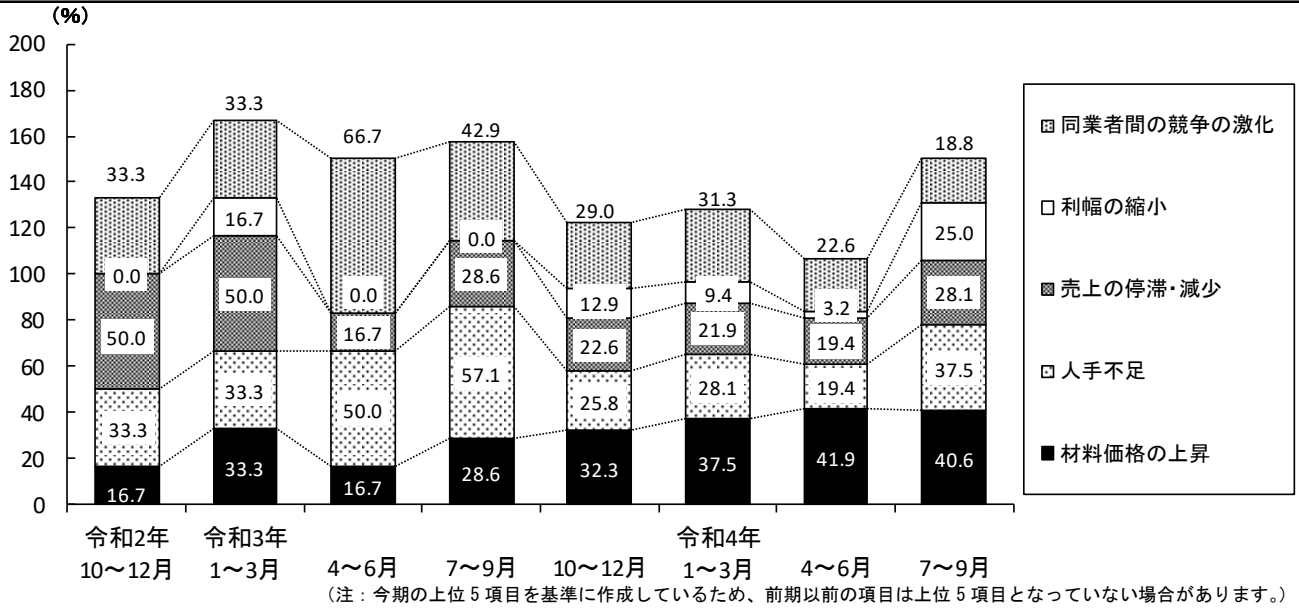


設備投資動向



経営上の問題点

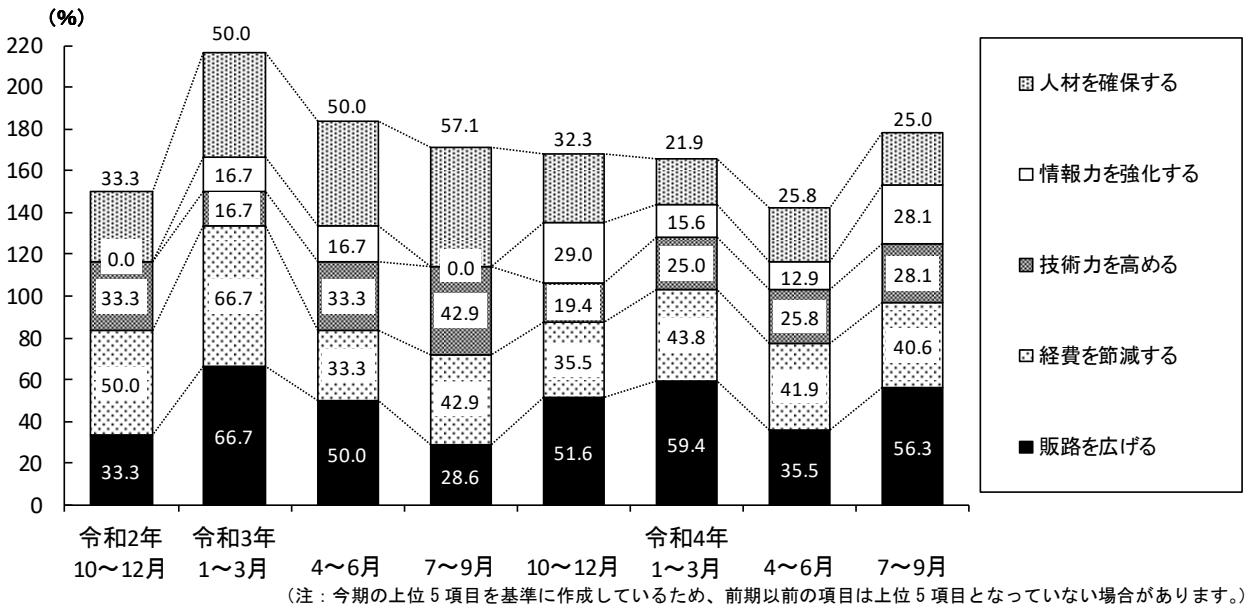
(複数回答)



令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
材料価格の上昇	32.3 %	材料価格の上昇	37.5 %	材料価格の上昇	41.9 %	材料価格の上昇	40.6 %
同業者間の競争の激化	29.0 %	同業者間の競争の激化	31.3 %	同業者間の競争の激化	22.6 %	人手不足	37.5 %
人手不足	25.8 %	人手不足	28.1 %	売上の停滞・減少	19.4 %	売上の停滞・減少	28.1 %
売上の停滞・減少	22.6 %	売上の停滞・減少	21.9 %	人手不足		利幅の縮小	25.0 %
大手企業との競争激化	19.4 %	大手企業との競争激化	18.8 %	大手企業との競争激化	12.9 %	同業者間の競争の激化	18.8 %

重点経営施策

(複数回答)



令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
販路を広げる	51.6 %	販路を広げる	59.4 %	経費を節減する	41.9 %	販路を広げる	56.3 %
経費を節減する	35.5 %	経費を節減する	43.8 %	販路を広げる	35.5 %	経費を節減する	40.6 %
人材を確保する	32.3 %	技術力を高める	25.0 %	技術力を高める	25.8 %	情報力を強化する	28.1 %
情報力を強化する	29.0 %	人材を確保する	21.9 %	人材を確保する		技術力を高める	
技術力を高める	19.4 %	情報力を強化する	15.6 %	情報力を強化する	12.9 %	人材を確保する	25.0 %

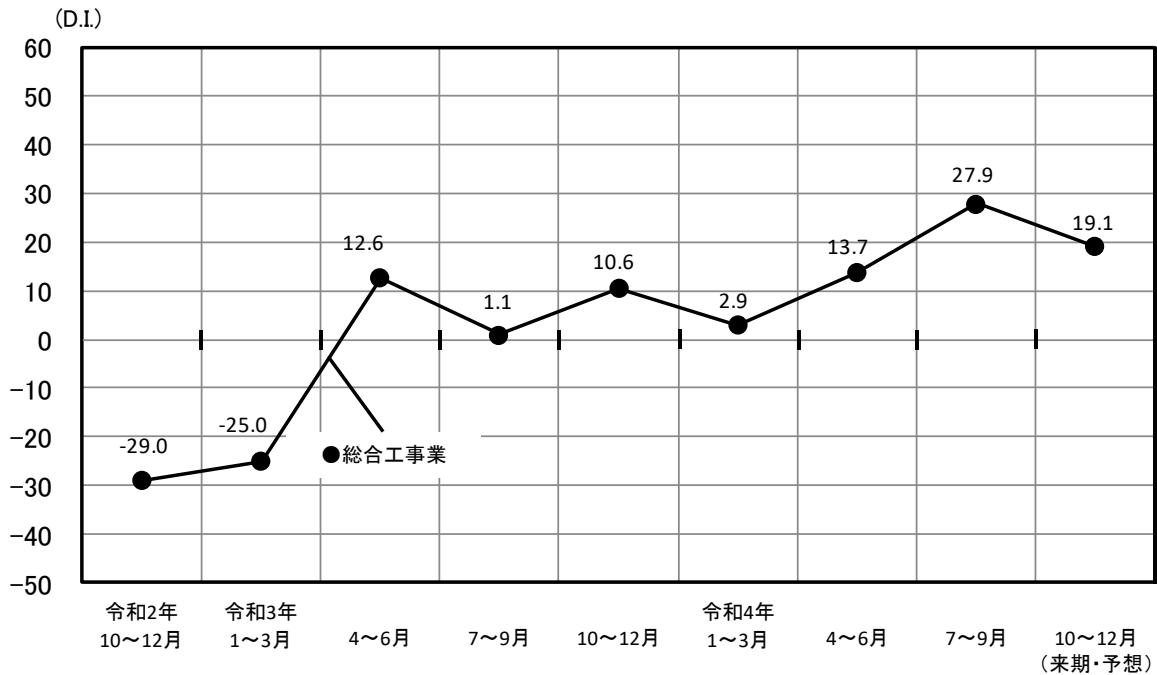
業種別動向

●総合工事業●

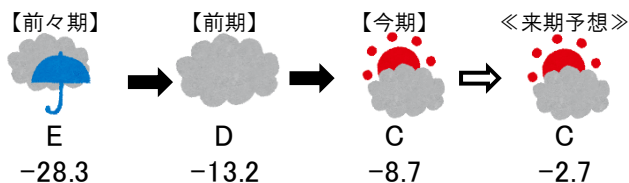
業況 (2.9 → 13.7 → 27.9) は好調感が大きく強まり、売上額 (0.0 → 5.3 → 24.0) は増加幅が大幅に拡大し、収益 (-3.3 → 2.6 → 2.6) は前期並となった。価格面では、請負価格 (4.0 → 13.5 → 8.3) は上昇がやや弱まり、材料価格 (42.2 → 40.7 → 34.2) は上昇が大きく弱まった。

来期の見通しについて、業況 (19.1予想) は好調感が大きく後退すると予想されている。売上額 (13.6予想) は増加幅が大幅に縮小し、収益 (5.8予想) は増加傾向をやや強める見通しである。請負価格 (10.8予想)、材料価格 (38.8予想) はともに上昇がやや強まる見通しである。

【建設業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



不動産業



業況

業況 (-28.3 → -13.2 → -8.7) は厳しさがやや和らいだ。

売上額 ・ 収益

売上額 (-37.8 → -8.4 → -14.6) は減少幅が大幅に拡大した。
収益 (-34.0 → -18.2 → -9.6) は減少が大きく弱まった。

価格 ・ 在庫動向

販売価格 (-1.5 → 13.1 → 12.9) は前期並となった。
仕入価格 (32.5 → 25.1 → 28.4) は上昇がやや強まった。
在庫 (-31.0 → -18.5 → -32.6) は不足感が大きく強まった。

資金繰り ・ 借入難易度

資金繰り (-14.4 → -4.7 → 11.7) は容易となった。
借入難易度 (-12.0 → -16.0 → -8.3) は厳しさが大きく和らいだ。

経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「商品物件の高騰」(37.9%) が最多となり、以下、「売上の停滞・減少」(34.5%)、「同業者間の競争の激化」(27.6%) の順となった。

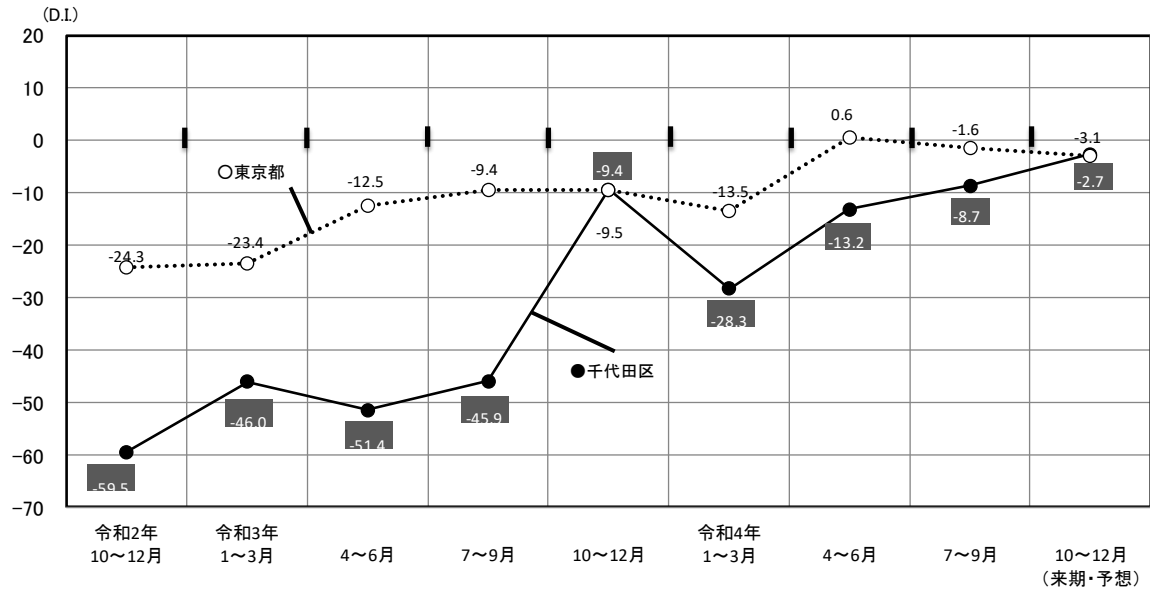
重点経営施策では、「販路を広げる」、「情報力を強化する」(各 44.8%) が最多となり、以下、「経費を節減する」(31.0%)、「人材を確保する」(17.2%) の順となった。

来期の見通し

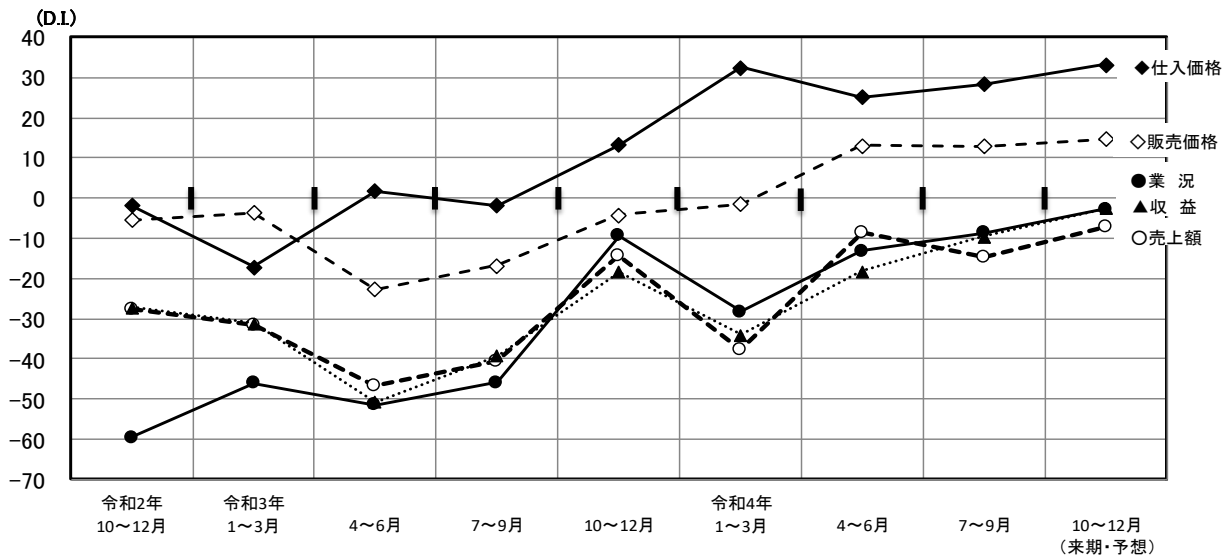
来期の見通しについて、業況 (-2.7予想) は厳しさが大きく和らぐと予想されている。売上額 (-7.0予想)、収益 (-2.6予想) はともに減少幅が大幅に縮小する見通しである。

価格面では、販売価格 (14.7予想) は今期同様で推移し、仕入価格 (33.2予想) は上昇がやや強まる見通しである。

【不動産業】千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測

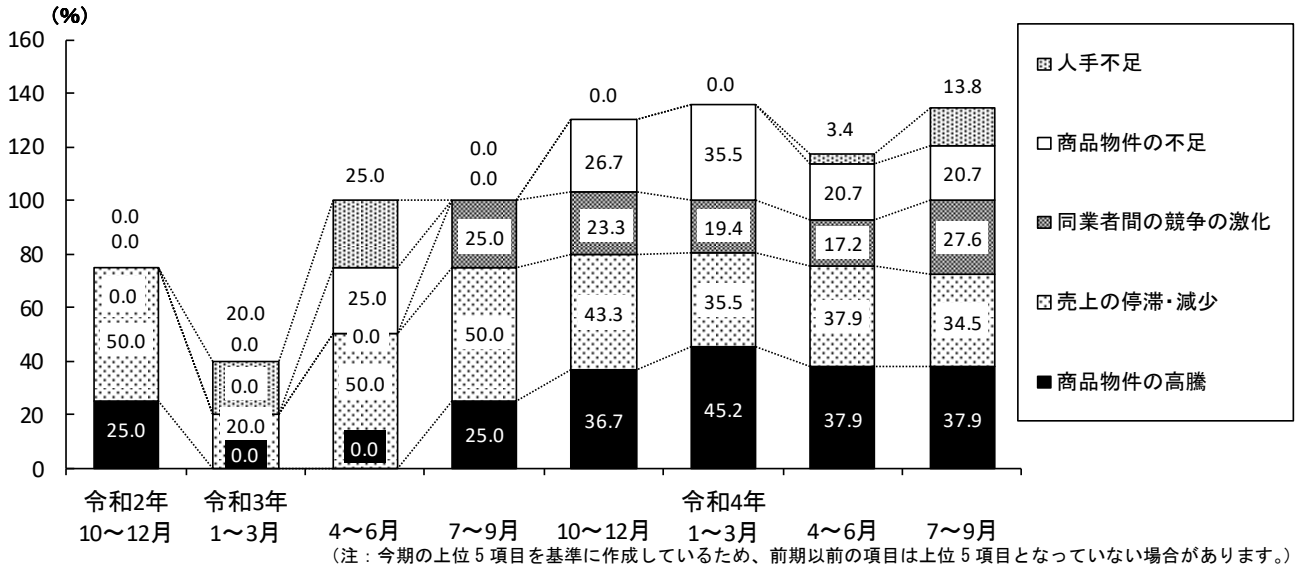


業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



経営上の問題点

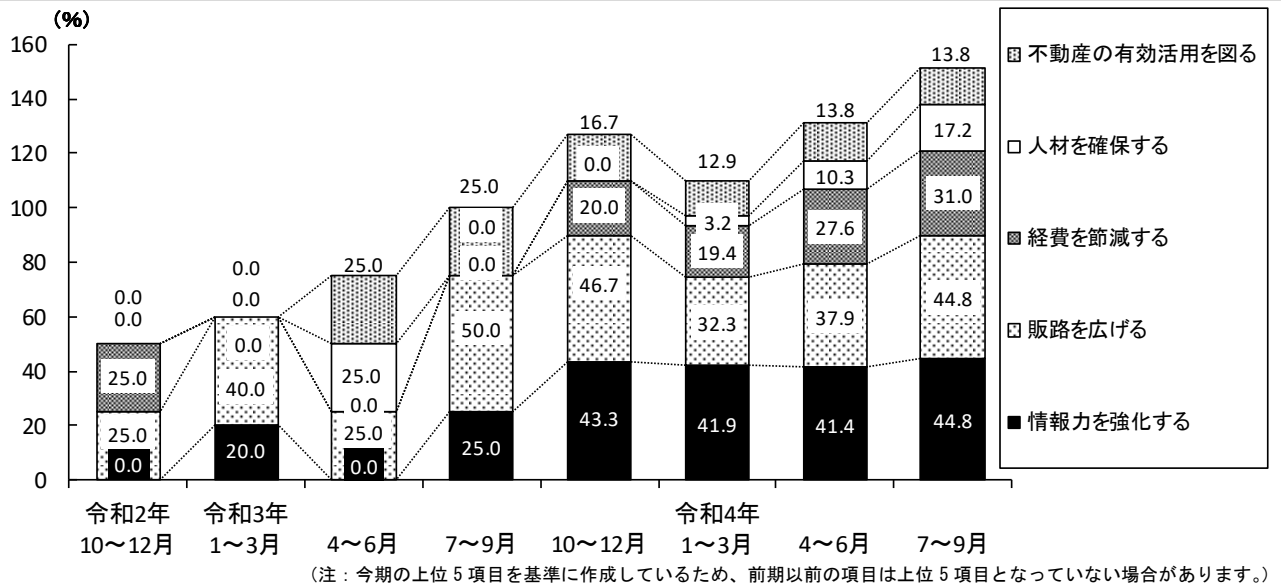
(複数回答)



令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
売上の停滞・減少	43.3 %	商品物件の高騰	45.2 %	売上の停滞・減少	37.9 %	商品物件の高騰	37.9 %
商品物件の高騰	36.7 %	売上の停滞・減少	35.5 %	商品物件の高騰		売上の停滞・減少	34.5 %
商品物件の不足	26.7 %	商品物件の不足		商品物件の不足	20.7 %	同業者間の競争の激化	27.6 %
同業者間の競争の激化	23.3 %	同業者間の競争の激化	19.4 %	同業者間の競争の激化	17.2 %	商品物件の不足	20.7 %
利幅の縮小	10.0 %	利幅の縮小		利幅の縮小	13.8 %	人手不足	13.8 %

重点経営施策

(複数回答)



令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
販路を広げる	46.7 %	情報力を強化する	41.9 %	情報力を強化する	41.4 %	販路を広げる	44.8 %
情報力を強化する	43.3 %	販路を広げる	32.3 %	販路を広げる	37.9 %	情報力を強化する	
経費を節減する	20.0 %	経費を節減する	19.4 %	経費を節減する	27.6 %	経費を節減する	31.0 %
不動産の有効活用を図る	16.7 %	宣伝・広告を強化する	12.9 %	不動産の有効活用を図る	13.8 %	人材を確保する	17.2 %
宣伝・広告を強化する	13.3 %	不動産の有効活用を図る		宣伝・広告を強化する	10.3 %	宣伝・広告を強化する	13.8 %
				提携先を見つける		不動産の有効活用を図る	
				人材を確保する			

業種別動向

●建売業・土地売買業●

業況 (-16.1 → -9.8 → -33.2) は低調感が極端に強まり、売上額 (-21.7 → 6.5 → 0.0) は増加幅が大幅に縮小し、収益 (-18.2 → -7.1 → 4.5) は増加に転じた。価格面では、販売価格 (-7.1 → -0.1 → 31.1) は上昇に転じ、仕入価格 (43.2 → 8.8 → -1.1) は上昇から下降に転じた。

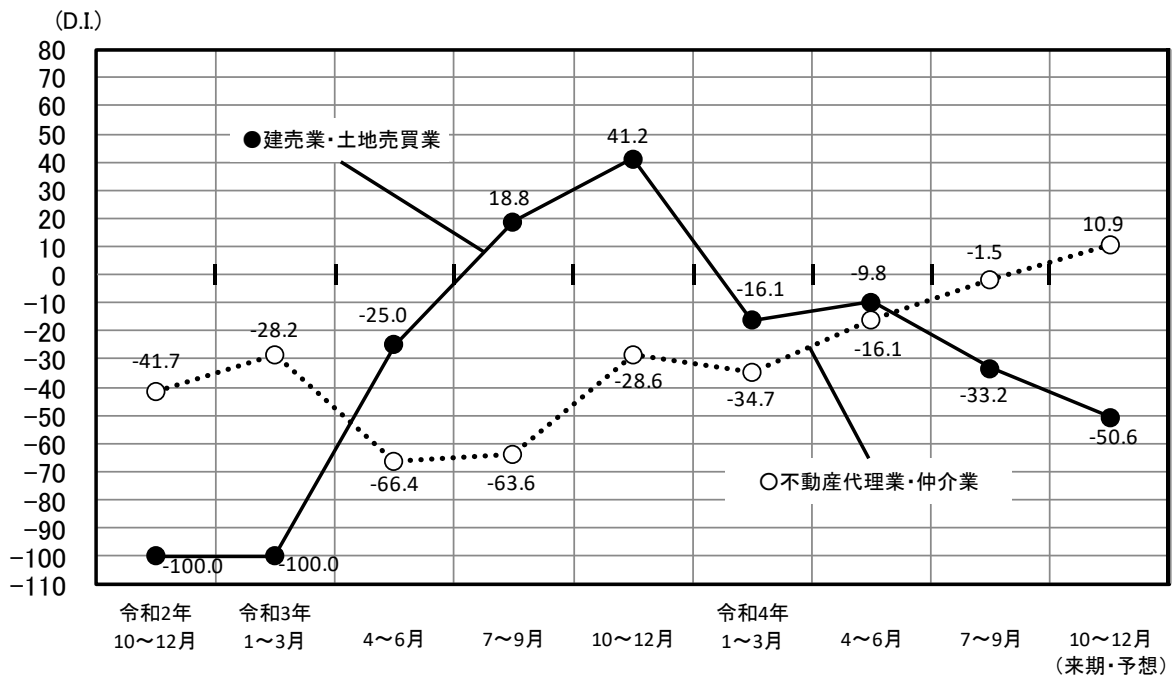
来期の見通しについて、業況 (-50.6予想) は低調感が大きく強まると予想されている。売上額 (-8.6予想) は減少幅が大幅に拡大し、収益 (4.8予想) は今期同様で推移する見通しである。価格面では、販売価格 (25.8予想) は上昇がやや弱まり、仕入価格 (3.5予想) は上昇に転じる見通しである。

●不動産代理業・仲介業●

業況 (-34.7 → -16.1 → -1.5) は厳しさが大きく和らぎ、売上額 (-48.3 → -19.9 → -20.9) は前期並となり、収益 (-38.9 → -24.4 → -14.8) は減少が大きく弱まった。価格面では、販売価格 (-0.5 → 12.9 → 7.7) は上昇がやや弱まり、仕入価格 (33.9 → 28.7 → 31.0) は上昇がやや強まった。

来期の見通しについて、業況 (10.9予想) は好転すると予想されている。売上額 (-13.0予想)、収益 (-6.3予想) とともに減少が大きく弱まる見通しである。価格面では、販売価格 (6.9予想) は今期同様で推移し、仕入価格 (36.1予想) は上昇がやや強まる見通しである。

【不動産業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



経営者の声

令和4年7月～9月の期間中において、千代田区地域振興部商工観光課宛に寄せられた経営に関する相談内容と区の指導内容は、以下のとおり。

製造業

相談内容要約	指導要旨
運転資金需要が発生したため、区の斡旋融資を受けたい。(出版業)	まずは、金融機関と基本的な方向性を合意した上で再来庁を案内。 ⇒ 融資経験がないため、基本的な制度について説明。

卸売業

相談内容要約	指導要旨
DX化、女性雇用、働き方改革に関する補助金の申請について確認したい。(合成ゴムマグネット製品の製造、卸売業)	以下のとおり各制度について紹介し、公募要領を確認いただくよう助言。 ①DX化・・・デジタルツール導入促進事業等、テレワーク促進事業 ②女性雇用・・・女性活躍推進助成金 ③働き方改革・・・働き方改革推進支援助成金等 ⇒ ※参考までに、小規模事業者持続化補助金、事業再構築補助金も紹介。自社の強みを分析すること、ストックビジネスも視野に入れることなどについて助言した。

小売業

相談内容要約	指導要旨
新型コロナウイルスの影響により売上低下しており、経営維持のために何か対応策はあるか。(飲食業)	⇒ 資金調達を行う方向を助言。銀行融資の準備として資金繰り表や返済計画、売上確保の取組について伝える資料作りを説明。訪問サポートの活用について案内。
工事費及び動画配信用機材購入費の補助金について相談したい。(飲食業)	⇒ 各種補助金・助成金の詳細は当該事務局に確認するよう説明。補助金は経費全額が補助されないのが前提。申請に際して経営上の問題点・課題を明確にし、経営計画書作成が重要と説明。

サービス業

相談内容要約	指導要旨
経営スピード向上のため、シナジー効果のある企業の M&A を考えている。M&A（買い手側）について聞きたい。（映像制作業）	買収の目的をヒアリングし、M&A 以外の選択肢も示す。 通常の買収による手法について解説し、銀行の協力を取りつけるためのポイント等を助言。また、株式移転による持ち株会社新設について解説。どの場合も相手企業の見極めがキーになると説明。
業務拡大のため追加融資を受けたい。（貨物軽自動車運送業）	斡旋制度について説明。金融機関と相談をしていなかったため、今後の収支計画や返済計画を持参の上、事前に相談するように依頼。
コロナにより売上が低下。経営相談でどんな選択肢があるか考えたい。（イベント設営業）	売上・費用・資金の3要素全てで選択肢を考えなければならぬと説明。具体例を挙げながら、経営的な判断を要することを解説。資金調達として斡旋メニューを案内。

建設業

該当なし

不動産業

相談内容要約	指導要旨
各制度について知りたい。 ・チャレンジ・チェンジ小口応援補助金 ・事業再構築補助金 ・小規模事業者持続化補助金（一般型） （不動産管理業）	チャレンジ・チェンジ小口応援補助金については、過去に交付を受けているため対象外となることを説明。事業再構築補助金、小規模事業者持続化補助金（一般型）について、公募要領に即して説明。手持ちの申請書ひな型を手交しポイントの説明、助言を行った。
シェアハウスサービスの事業を行いたく、収益計画を見て意見を聞きたい。活用できる補助金があれば教えてほしい。（不動産業）	収益計画については、広告費や修繕、税金等を加味してキャッシュフロー計画を見直して、その上でリスクに見合う収益が見込めるのであれば投資すべきと助言。補助金については、小規模事業者持続化補助金、チャレンジ・チェンジ小口応援補助金が活用できる可能性があるため要件等を説明。

日 銀 短 観

[調査対象企業数]

(2022年9月調査)

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

	製造業	非製造業	合計	回答率	2021年度			2022年度		
					円/ドル	上期	下期	円/ユーロ	上期	下期
全国企業	3,804社	5,464社	9,268社	99.5%	111.23	109.33	113.13	118.96	118.79	119.12
うち大企業	959社	857社	1,816社	99.6%	—	—	—	125.71	124.98	126.43
中堅企業	1,010社	1,574社	2,584社	99.6%	128.85	128.36	129.33	131.60	131.55	131.65
中小企業	1,835社	3,033社	4,868社	99.4%	—	—	—	134.15	134.01	134.29

[業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2022年6月調査		2022年9月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	9	10	8	-1	9	1
非製造業	13	13	14	1	11	-3
全産業	11	11	11	0	11	0
中堅企業						
製造業	0	-3	0	0	-4	-4
非製造業	6	1	7	1	2	-5
全産業	3	0	4	1	0	-4
中小企業						
製造業	-4	-5	-4	0	-5	-1
非製造業	-1	-5	2	3	-3	-5
全産業	-2	-5	0	2	-4	-4
全規模合計						
製造業	1	-1	0	-1	-1	-1
非製造業	4	0	5	1	1	-4
全産業	2	-1	3	1	1	-2

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2021年度		2022年度	
		修正率	(計画)	修正率	
大企業	製造業	10.2	—	8.4	1.4
	国内	5.8	—	7.8	0.9
	輸出	20.4	—	9.6	2.5
	非製造業	2.6	—	6.9	2.6
中堅企業	全産業	5.9	—	7.6	2.1
	製造業	9.5	—	8.5	0.9
	非製造業	-1.8	—	4.7	0.4
中小企業	全産業	1.0	—	5.7	0.6
	製造業	7.6	—	3.6	0.8
	非製造業	3.0	—	3.0	1.5
全規模合計	全産業	4.0	—	3.1	1.3
	製造業	9.7	—	7.6	1.2
	非製造業	1.6	—	5.1	1.7
	全産業	4.3	—	6.0	1.6

(注) 修正率は、前回調査との対比。

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

中小企業		2022年6月調査		2022年9月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-10	-11	-10	0	-12	-2
	うち素材業種	-16	-16	-15	1	-17	-2
	加工業種	-7	-8	-7	0	-9	-2
	非製造業	-11	-12	-10	1	-12	-2
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-2	-1	-3	-1	-4	-1
	うち素材業種	-8	-6	-12	-4	-12	0
	加工業種	2	1	2	0	1	-1
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	11		12	1		
	うち素材業種	14		17	3		
	加工業種	8		9	1		
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	2		7	5		
	うち素材業種	11		14	3		
	加工業種	-3		3	6		
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	35	43	37	2	43	6
	うち素材業種	45	50	45	0	44	-1
	加工業種	29	40	33	4	42	9
	非製造業	21	27	23	2	31	8
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	79	76	77	-2	74	-3
	うち素材業種	78	72	74	-4	69	-5
	加工業種	80	79	80	0	77	-3
	非製造業	58	60	59	1	63	4

千代田区と東京都の企業倒産、休廃業・解散動向

出典：(株) 東京商工リサーチ調べ

1. 企業倒産動向

[倒産概況]

(負債総額単位:百万円) (対比率は伸び率)

		令和3年	令和4年	令和4年		
		7~9月	4~6月	7~9月	前期比	前年同期比
千代田区	件数	28	12	30	150.0%	7.1%
	負債総額	6,580	7,874	21,865	177.7%	232.3%
東京都全体	件数	263	289	296	2.4%	12.5%
	負債総額	61,225	40,927	126,226	208.4%	106.2%

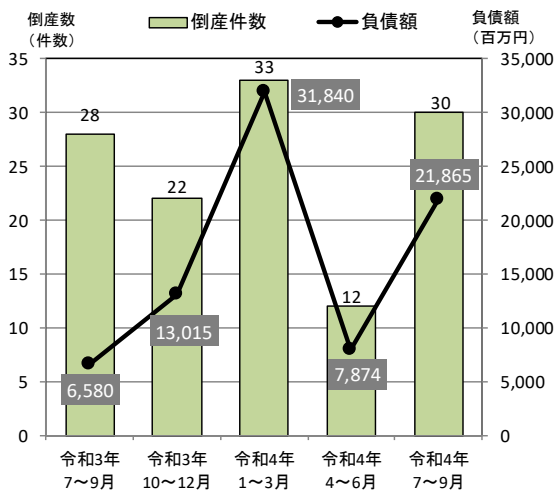
[業種別倒産概況]

(単位:件) (対比率は伸び率)

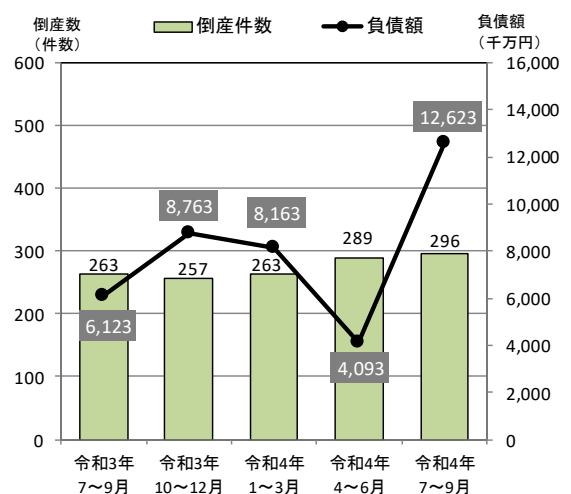
		令和3年	令和4年	令和4年		
		7~9月	4~6月	7~9月	前期比	前年同期比
千代田区	製造業	1	0	0	-	-100.0%
	卸売業	5	1	5	400.0%	0.0%
	小売業	3	0	3	-	0.0%
	サービス業	10	4	11	175.0%	10.0%
	建設業	1	1	0	-100.0%	-100.0%
	不動産業	1	1	2	100.0%	100.0%
	情報通信業・運輸業	6	4	8	100.0%	33.3%
	宿泊業,飲食サービス業	1	0	0	-	-100.0%
	その他	0	1	1	0.0%	-
	合計	28	12	30	150.0%	7.1%
東京都全体	製造業	19	21	25	19.0%	31.6%
	卸売業	52	50	48	-4.0%	-7.7%
	小売業	28	32	37	15.6%	32.1%
	サービス業	58	77	61	-20.8%	5.2%
	建設業	24	31	40	29.0%	66.7%
	不動産業	15	16	11	-31.3%	-26.7%
	情報通信業・運輸業	41	26	40	53.8%	-2.4%
	宿泊業,飲食サービス業	14	20	15	-25.0%	7.1%
	その他	12	16	19	18.8%	58.3%
	合計	263	289	296	2.4%	12.5%

[倒産件数と負債額の推移]

《千代田区》



《東京都全体》



2. 休廃業・解散動向

[休廃業概況]

	(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(伸び率)	
	令和3年 7～9月		令和4年 4～6月		令和4年 7～9月		前期比	前年同期比
	千代田区	271	10.2%	293	9.8%	318	11.0%	8.5%
東京都全体	2,666	100.0%	3,005	100.0%	2,878	100.0%	-4.2%	8.0%

[業種別休廃業概況]

		(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(伸び率)	
		令和3年 7～9月		令和4年 4～6月		令和4年 7～9月		前期比	前年同期比
		千代田区	製造業	10	3.7%	13	4.4%	15	4.7%
	卸売業	17	6.3%	16	5.5%	12	3.8%	-25.0%	-29.4%
	小売業	15	5.5%	16	5.5%	12	3.8%	-25.0%	-20.0%
	サービス業	74	27.3%	83	28.3%	86	27.0%	3.6%	16.2%
	建設業	5	1.8%	2	0.7%	7	2.2%	250.0%	40.0%
	不動産業	42	15.5%	34	11.6%	47	14.8%	38.2%	11.9%
	情報通信業・運輸業	40	14.8%	40	13.7%	49	15.4%	22.5%	22.5%
	宿泊業、飲食サービス業	7	2.6%	9	3.1%	6	1.9%	-33.3%	-14.3%
	その他	61	22.5%	80	27.3%	84	26.4%	5.0%	37.7%
	合計	271	100.0%	293	100.0%	318	100.0%	8.5%	17.3%
東京都全体	製造業	275	10.3%	333	11.1%	270	9.4%	-18.9%	-1.8%
	卸売業	231	8.7%	282	9.4%	254	8.8%	-9.9%	10.0%
	小売業	230	8.6%	197	6.6%	205	7.1%	4.1%	-10.9%
	サービス業	740	27.8%	801	26.7%	748	26.0%	-6.6%	1.1%
	建設業	172	6.5%	214	7.1%	181	6.3%	-15.4%	5.2%
	不動産業	268	10.1%	312	10.4%	306	10.6%	-1.9%	14.2%
	情報通信業・運輸業	342	12.8%	381	12.7%	440	15.3%	15.5%	28.7%
	宿泊業、飲食サービス業	104	3.9%	128	4.3%	122	4.2%	-4.7%	17.3%
	その他	304	11.4%	357	11.9%	352	12.2%	-1.4%	15.8%
	合計	2,666	100.0%	3,005	100.0%	2,878	100.0%	-4.2%	8.0%

1. 企業倒産動向

令和4年7月～9月期の倒産件数は、千代田区では30件で前期比150.0%増、東京都全体では296件で前期比2.4%増となった。

業種別に見ると、千代田区は、“サービス業”(11件)が最も多くなった。また、前期から最も件数が増加したのも、“サービス業”で7件増加し、前期比175.0%増となった。東京都全体では、“サービス業”(61件)が最も多く、次いで、“卸売業”(48件)、“建設業”、“情報通信業・運輸業”(各40件)と続いた。また、前期から最も件数が増加した業種は、“情報通信業・運輸業”で14件増加した。

2. 休廃業・解散動向

令和4年7月～9月期の休廃業・解散件数は、千代田区では318件で前期比8.5%増、東京都全体では2,878件で前期比4.2%減となった。

業種別に見ると、千代田区は、“サービス業”(86件)が最も多く、次いで“その他”(84件)、“情報通信業・運輸業”(49件)と続いた。東京都全体では、“サービス業”(748件)が最も多く、次いで、“情報通信業・運輸業”(440件)、“その他”(352件)と続いた。また、前期から最も件数が増加した業種は、千代田区では“不動産業”で13件増加、東京都全体では“情報通信業・運輸業”で59件増加となった。

特別調査「中小企業におけるSDGs（持続可能な開発目標）の取組状況について」

（令和4年9月上旬調査）

注1. 本調査は、主に千代田区の状況について記載しています。グラフでは千代田区と東京都全体の比較をしています。

注2. 回答により100%にならないこともあります。

本 調 査 結 果 の 特 徴	①-1 SDGsの認知度	83.8%の企業が認知（「意味はある程度わかる」69.2%、 「内容までよく知っている」14.6%）
	①-2 SDGsの情報源	「報道機関（テレビ、新聞等）」82.3% 「金融機関」6.6%
	②SDGsの取組施策について	「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」48.7% 「ペーパーレス化、緑化・植林」28.1%
	③SDGsの取組みについての印象	「コスト削減につながる」60.8% 「従業員の士気向上、採用容易化につながる」26.1%
	④カーボンニュートラルに関する取組施策	「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」63.3% 「ごみの削減やリサイクルの推進」28.6%
	⑤SDGsについて期待するサポート	「経営者向け研修」25.6% 「省エネ対応」23.6%

問1. SDGsの認知度・情報源について

千代田区内の中小企業を対象に、SDGsの認知度については、「意味はある程度わかる」（69.2%）が最も高く、次いで「名前しか知らない」（15.2%）、「内容までよく知っている」（14.6%）となった。なお、「聞いたことがない」は1.0%だった。

業種別にみると、すべての業種で「意味はある程度わかる」が最も高くなった。特にサービス業（84.4%）では8割を超えた。また、「名前しか知らない」では小売業が37.5%と他の業種よりも高くなった。

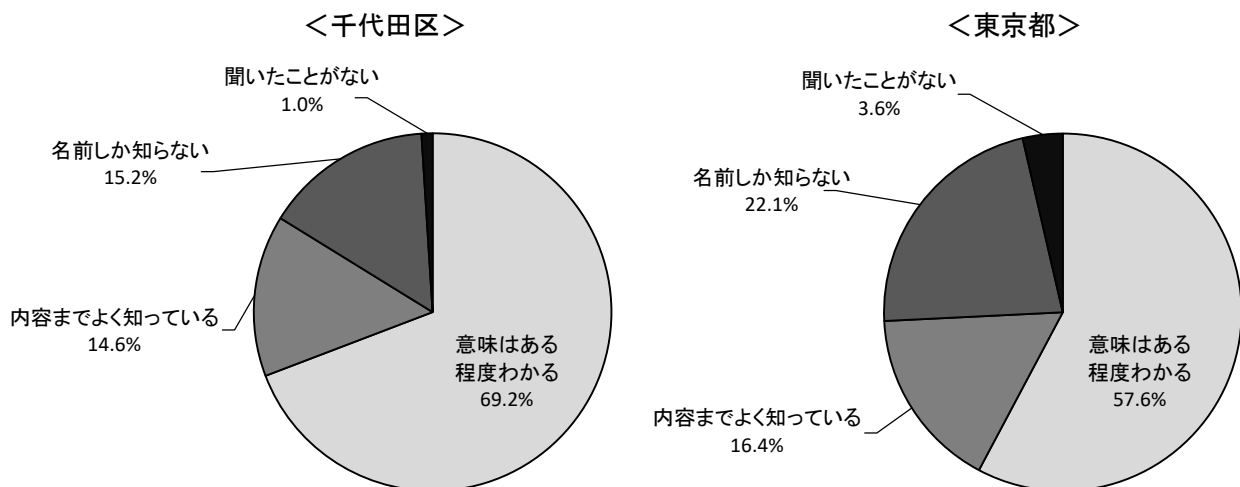
なお、東京都と比較すると、「意味はある程度わかる」は千代田区が東京都（57.6%）を11.6ポイント上回った。一方、「聞いたことがない」は千代田区が東京都（3.6%）を2.6ポイント下回った。

SDGsの情報源については、「報道機関（テレビ、新聞等）」（82.3%）が最も高く、次いで「金融機関」（6.6%）、「聞いたことがない」（3.5%）となった。

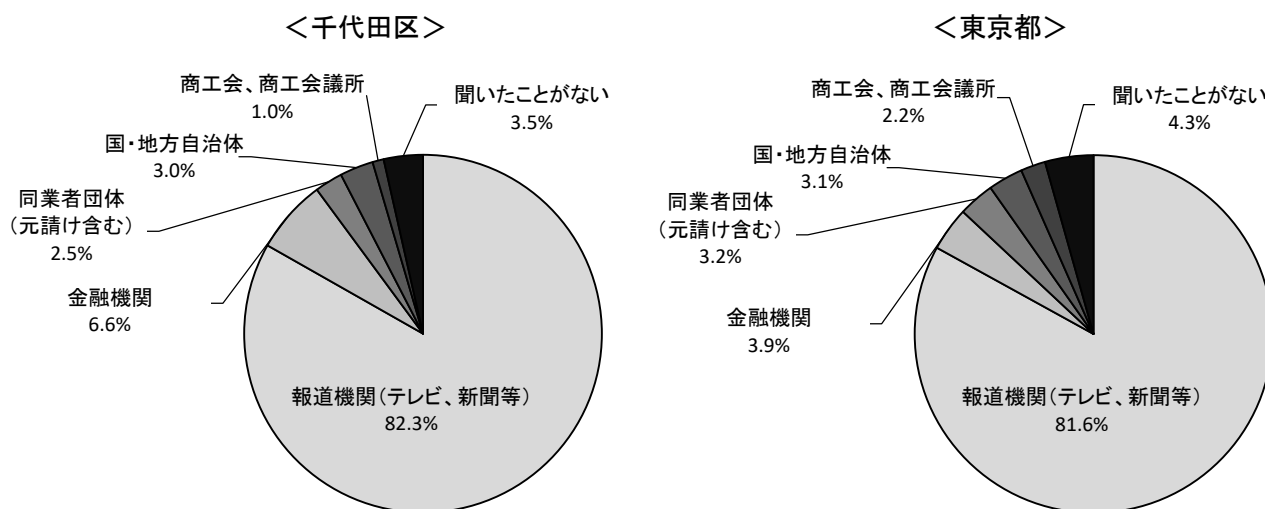
業種別にみると、すべての業種で「報道機関（テレビ、新聞等）」が最も高くなった。また、「金融機関」では卸売業が14.3%と他の業種よりも高くなった。

東京都と比較すると、「金融機関」は千代田区が東京都（3.9%）を2.7ポイント上回った。

図表1-1 SDGsの認知度について



図表 1-2 SDGs の情報源について



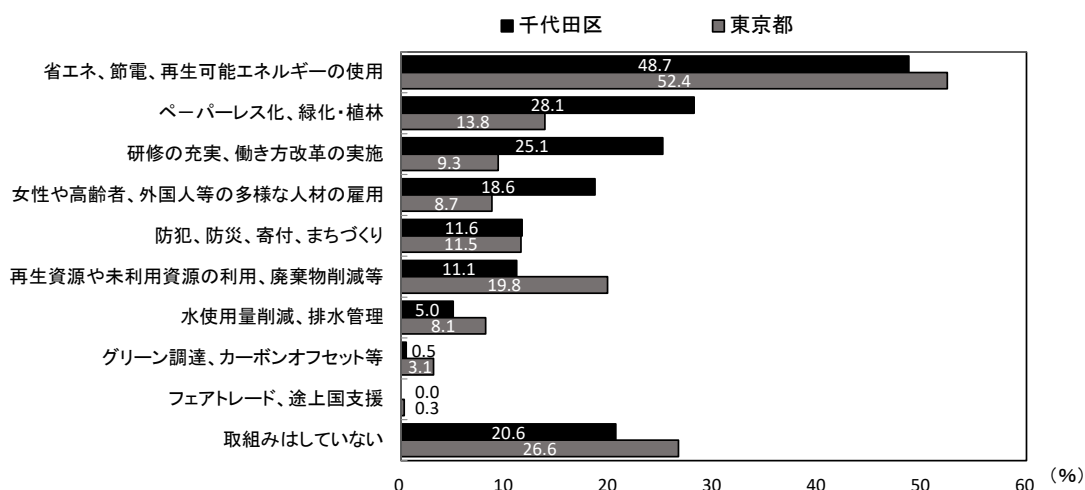
問 2. SDGs の取組施策について

SDGs の取組施策については、「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」(48.7%) が最も高く、次いで「ペーパーレス化、緑化・植林」(28.1%)、「研修の充実、働き方改革の実施」(25.1%) となった。なお、「取組みはしていない」は 20.6% だった。

業種別にみると、「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」は小売業を除く 5 業種で最も高く、4 割を超えている。一方、「取組みはしていない」では小売業が 50.0% と最も高くなった。

なお、東京都と比較すると、「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」は、千代田区が東京都 (52.4%) を 3.7 ポイント下回ったが、「ペーパーレス化、緑化・植林」、「研修の充実、働き方改革の実施」では千代田区が東京都を 10 ポイント以上上回った。

図表 2 SDGs の取組施策について



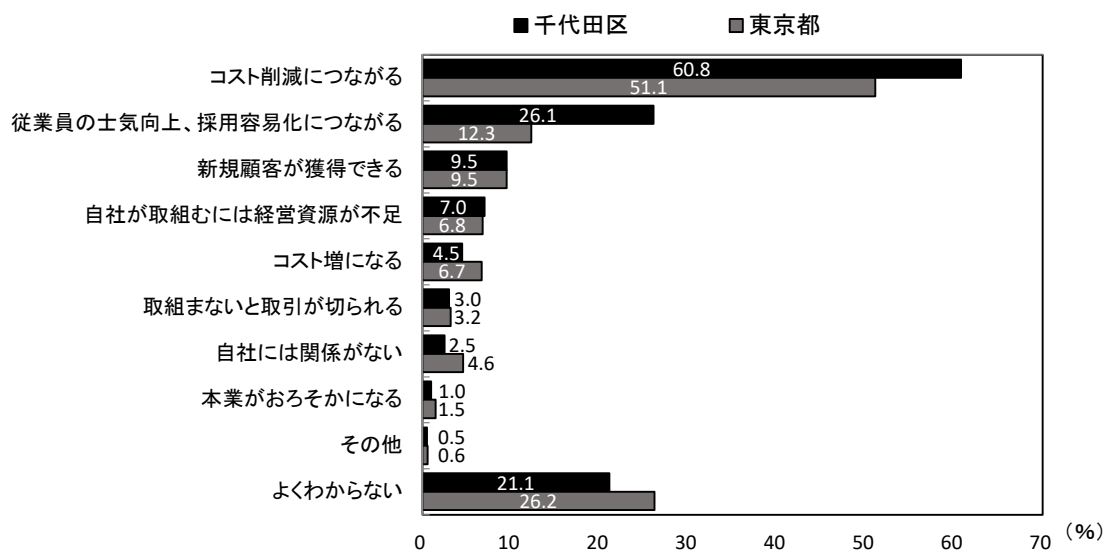
問3. SDGsの取組みについての印象

SDGsの取組みについての印象は、「コスト削減につながる」(60.8%)が最も高く、次いで「従業員の士気向上、採用容易化につながる」(26.1%)、「新規顧客が獲得できる」(9.5%)となった。なお、「よくわからない」は21.1%だった。

業種別にみると、「コスト削減につながる」はすべての業種で最も高くなったが、小売業では「コスト削減につながる」、「よくわからない」(各45.8%)が同率で最多となった。

なお、東京都と比較すると、「コスト削減につながる」は、千代田区が東京都(51.1%)を9.7ポイント上回り、「従業員の士気向上、採用容易化につながる」は、千代田区が東京都(12.3%)を13.8%上回った。また、「よくわからない」は、千代田区が東京都(26.2%)を5.1ポイント下回った。

図表3 SDGsの取組みについての印象



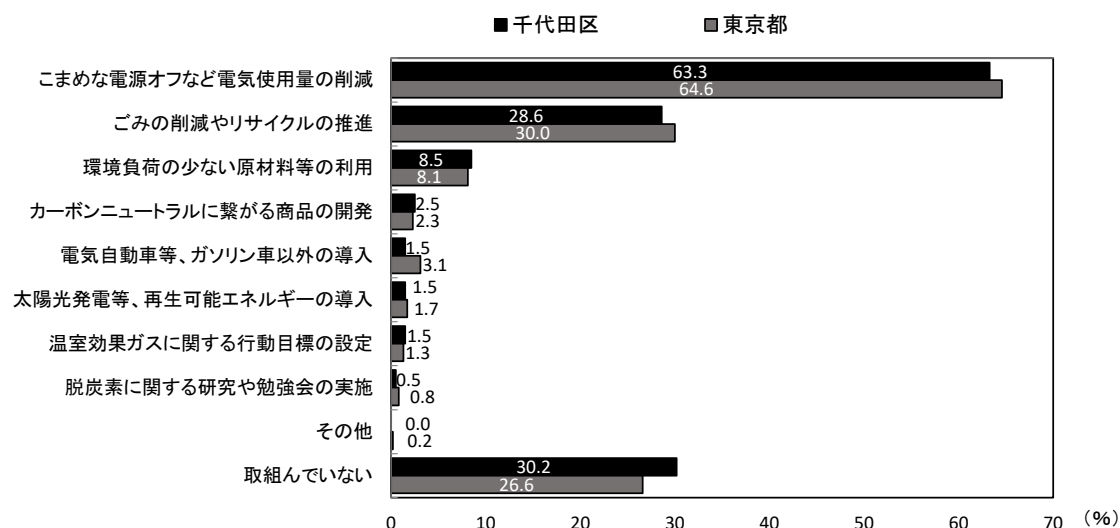
問4. カーボンニュートラルに関する取組施策

カーボンニュートラルに関する取組施策については、「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」(63.3%)が最も高く、次いで「ごみの削減やリサイクルの推進」(28.6%)、「環境負荷の少ない原材料等の利用」(8.5%)となった。なお、「取組んでいない」は30.2%となった。

業種別にみると、「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」は小売業を除く5業種で最も高く、5割半ばを超えた。一方、小売業は「取組んでいない」(58.3%)が最も高くなった。

なお、東京都と比較では大きな差はみられなかった。

図表4 カーボンニュートラルに関する取組施策



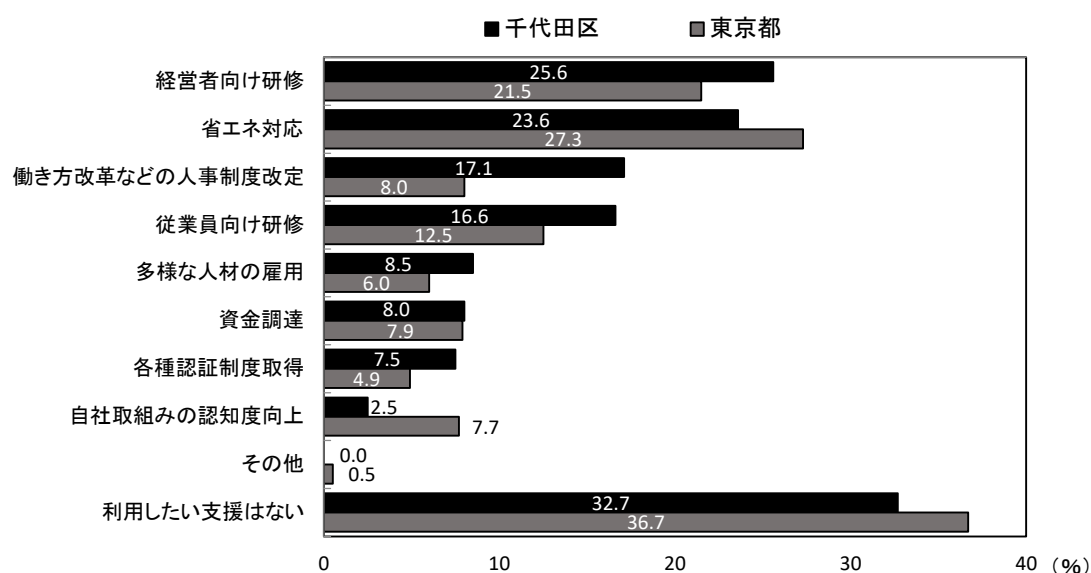
問5. SDGs について期待するサポート

SDGs について期待するサポートは、「経営者向け研修」(25.6%) が最も高く、次いで「省エネ対応」(23.6%)、「働き方改革などの人事制度改定」(17.1%) となった。なお、「利用したい支援はない」は 32.7% と全体で最も高い回答となった。

業種別にみると、建設業(37.5%)、不動産業(34.5%)では「経営者向け研修」が最も高く、卸売業(32.7%)では「省エネ対応」が最も高くなった。一方、製造業(42.4%)、小売業(50.0%)では「利用したい支援はない」が最も高く、サービス業では「従業員向け研修」、「利用したい支援はない」(各 28.1%) が同率で最多となり、業種により差が見られた。

なお、東京都と比較すると、上位3項目では「経営者向け研修」は千代田区が東京都(21.5%)を4.1ポイント、「働き方改革などの人事制度改定」は東京都(8.0%)を9.1ポイントそれぞれ上回り、「省エネ対応」は千代田区が東京都(27.3%)を3.7ポイント下回った。また、「利用したい支援はない」は千代田区が東京都(36.7%)を4.0ポイント下回った。

図表5 SDGs について期待するサポート

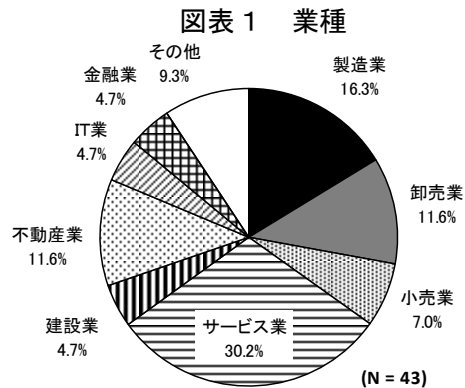


千代田区独自調査「中小企業の福利厚生」に関するアンケート結果

東京商工会議所において、千代田区内の企業に対し、「中小企業の福利厚生」に関するアンケートを実施し、43社より回答を得た。各設問の調査結果は以下の通り。

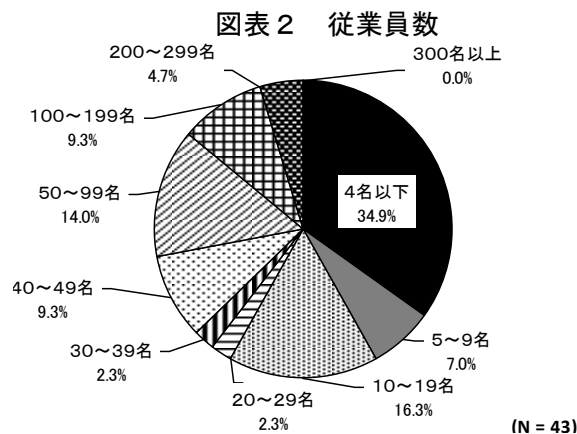
問1. 回答企業の業種

回答企業の業種は、「サービス業」(30.2%)が最も高く、次いで、「製造業」(16.3%)、「卸売業」、「不動産業」(各11.6%)と続いた。



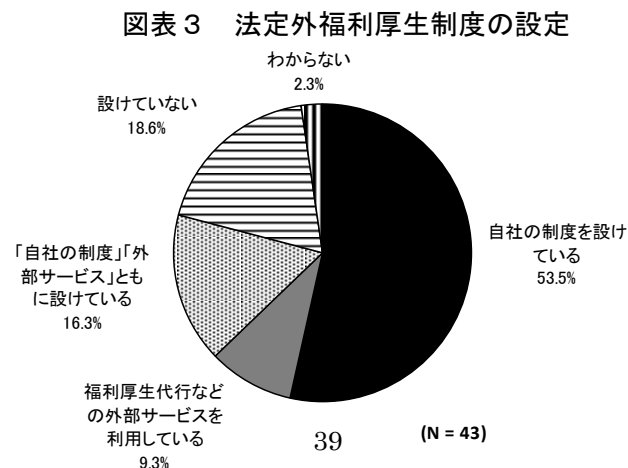
問2. 回答企業の従業員数

回答企業の従業員数は、「4名以下」(34.9%)が最も高く、次いで、「10~19名」(16.3%)、「50~99名」(14.0%)と続いた。



問3. 法定外福利厚生制度の設定

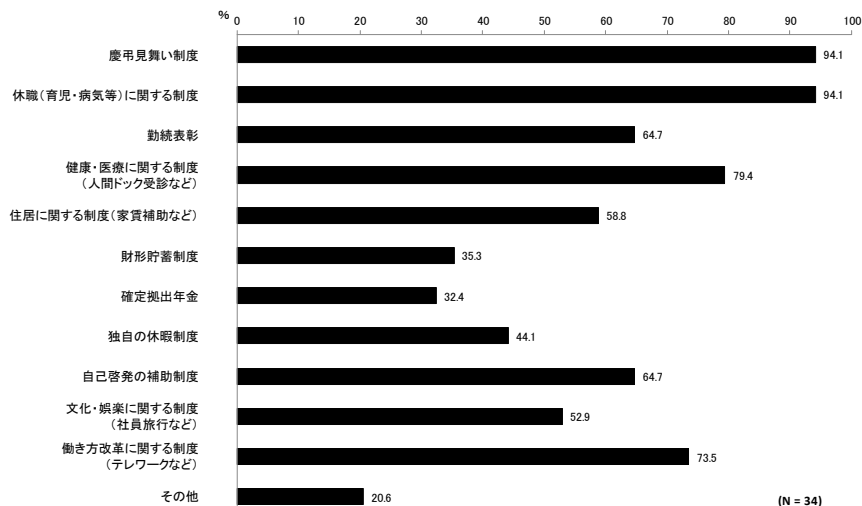
法定外福利厚生制度の設定については、『設けている』が約8割を占め、その内訳は「自社の制度を設けている」(53.5%)、「「自社の制度」「外部サービス」ともに設けている」(16.3%)、「福利厚生代行などの外部サービスを利用している」(9.3%)となった。一方、「設けていない」は2割弱となった。



問4. 設けている法定外福利厚生制度

設けている法定外福利厚生制度は、「慶弔見舞い制度」、「休職（育児・病気等）に関する制度」（各 94.1%）が最も高く、次いで、「健康・医療に関する制度（人間ドック受診など）」（79.4%）、「働き方改革に関する制度（テレワークなど）」（73.5%）と続いた。

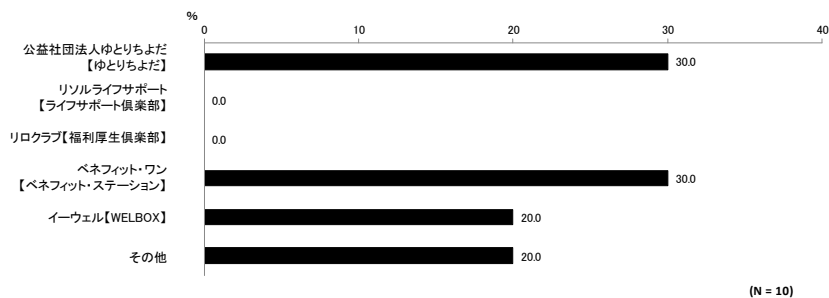
図表4 設けている法定外福利厚生制度



問5. 利用している福利厚生の外部サービス

利用している福利厚生の外部サービスは、「公益社団法人ゆとりちよだ【ゆとりちよだ】」、「ベネフィット・ワン【ベネフィット・ステーション】」（各 30.0%）が最も高くなった。

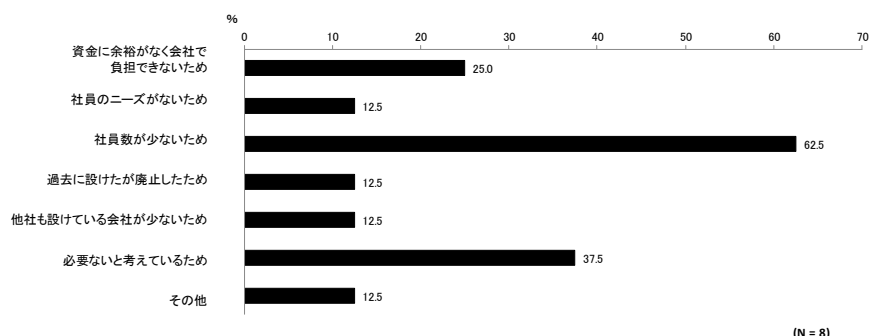
図表5 利用している福利厚生の外部サービス



問6. 法定外福利厚生制度を設けていない理由

法定外福利厚生制度を設けていない理由は、「社員数が少ないため」（62.5%）が最も高く、次いで「必要ないと考えているため」（37.5%）、「資金に余裕がなく会社で負担できないため」（25.0%）と続いた。

図表6 法定外福利厚生制度を設けていない理由



中小企業景況調査 比較表

(令和4年7月～9月期)

製造業

[今期の景況]

		全体	
		千代田区	全都
業況		-24	-17
売上額		-27	-8
受注残		-23	-7
収益		-22	-15
販売価格		-1	16
原材料価格		35	51
原材料在庫		0	-3
資金繰り		-8	-11
雇用	残業時間	-3	-4
	人手	-3	-9
同期比	売上額	-24	-4
	収益	-27	-14
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	52	40
	② 原材料高	33	39
	③ 利幅の縮小	18	16
	④ 同業者間の競争の激化	15	18
	⑤ 大手企業との競争の激化	12	6
重点経営施策	① 販路を広げる	58	53
	② 経費を節減する	52	45
	③ 情報力を強化する	27	13
	④ 人材を確保する	6	13
	⑤ 機械化を推進する	6	7
借入の難易度		-6	-4

[来期の景況見通し]

業況		-26	-16
売上額		-11	-8
受注残		-7	-7
収益		-11	-14
販売価格		3	13
原材料価格		40	45
原材料在庫		1	-4
資金繰り		-14	-12
雇用	残業時間	-6	-3
	人手	-6	-10

卸売業

[今期の景況]

		全体	
		千代田区	全都
業況		5	-18
売上額		3	-5
収益		1	-13
販売価格		33	30
仕入価格		46	53
在庫		7	2
資金繰り		-1	-11
雇用	残業時間	-4	-3
	人手	0	-8
同期比	売上額	16	2
	収益	16	-12
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	50	43
	② 同業者間の競争の激化	30	24
	③ 仕入先からの値上げ要請	18	27
	④ 輸入品との競争の激化	18	6
	⑤ 利幅の縮小	14	25
重点経営施策	① 販路を広げる	58	59
	② 経費を節減する	40	47
	③ 提携先を見つける	22	7
	④ 品揃えを充実する	18	15
	⑤ 情報力を強化する	14	20
借入の難易度		27	0

[来期の景況見通し]

業況		5	-17
売上額		12	-2
収益		5	-12
販売価格		35	28
仕入価格		46	49
在庫		7	1
資金繰り		-3	-10
雇用	残業時間	-4	-1
	人手	-2	-8

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小売業

[今期の景況]

		全体	
		千代田区	全都
業況		-25	-28
売上額		-23	-20
収益		-33	-26
販売価格		2	13
仕入価格		24	34
在庫		-5	-1
資金繰り		-20	-18
雇用	残業時間	-8	-4
	人手	-16	-8
同期比	売上額	-4	-15
	収益	-12	-23
	販売価格	28	16
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	48	43
	② 同業者間の競争の激化	28	20
	③ 大型店との競争の激化	20	19
	④ 人手不足	16	9
	⑤ 販売商品の不足	12	4
重点経営施策	① 宣伝・広告を強化する	32	19
	② 経費を節減する	32	46
	③ 品揃えを改善する	24	25
	④ 商店街事業を活性化させる	16	13
	⑤ 売れ筋商品を取り扱う	12	16
借入の難易度		-11	-5

[来期の景況見通し]

業況		-26	-26
売上額		-17	-17
収益		-25	-22
販売価格		8	13
仕入価格		27	32
在庫		-2	-2
資金繰り		-19	-16
雇用	残業時間	-8	-3
	人手	-16	-8

サービス業

[今期の景況]

		全体	
		千代田区	全都
業況		-9	-22
売上額		-14	-10
収益		-9	-17
料金価格		0	8
材料価格		6	34
資金繰り		-16	-12
雇用	残業時間	-16	-3
	人手	-16	-17
同期比	売上額	-16	-7
	収益	-6	-15
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	50	40
	② 利幅の縮小	25	13
	③ 人手不足	22	21
	④ 同業者間の競争の激化	16	26
	⑤ 人件費の増加	9	13
重点経営施策	① 販路を広げる	66	41
	② 経費を節減する	50	42
	③ 宣伝・広告を強化する	28	20
	④ 人材を確保する	16	20
	⑤ 技術力を強化する	13	11
借入の難易度		-22	-5

[来期の景況見通し]

業況		2	-18
売上額		13	-6
収益		10	-13
料金価格		2	7
材料価格		9	32
資金繰り		-6	-11
雇用	残業時間	-13	-3
	人手	-16	-17

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

建設業

[今期の景況]

		全体	
		千代田区	全都
業況		23	-4
売上額		17	-1
受注残		18	1
施工高		8	4
収益		5	-15
請負価格		0	13
材料価格		40	60
在庫		-6	-5
資金繰り		10	-6
雇用	残業時間	3	-3
	人手	-19	-24
同期比	売上額	19	-2
	収益	6	-16
経営上の問題点	① 材料価格の上昇	41	58
	② 人手不足	38	30
	③ 売上の停滞・減少	28	28
	④ 利幅の縮小	25	18
	⑤ 同業者間の競争の激化	19	23
重点経営施策	① 販路を広げる	56	39
	② 経費を節減する	41	46
	③ 技術力を高める	28	20
	④ 情報力を強化する	28	17
	⑤ 人材を確保する	25	33
借入の難易度		-7	3

[来期の景況見通し]

業況		24	-2
売上額		19	2
受注残		29	2
施工高		10	5
収益		20	-12
請負価格		6	13
材料価格		41	55
在庫		-6	-5
資金繰り		7	-5
雇用	残業時間	-3	-2
	人手	-22	-26

不動産業

[今期の景況]

		全体	
		千代田区	全都
業況		-9	-2
売上額		-15	-2
収益		-10	-1
販売価格		13	18
仕入価格		28	30
在庫		-33	-14
資金繰り		12	2
雇用	残業時間	-3	-5
	人手	-17	-7
同期比	売上額	-14	1
	収益	-14	1
経営上の問題点	① 商品物件の高騰	38	26
	② 売上の停滞・減少	35	21
	③ 同業者間の競争の激化	28	30
	④ 商品物件の不足	21	32
	⑤ 人手不足	14	8
重点経営施策	① 情報力を強化する	45	39
	② 販路を広げる	45	32
	③ 経費を節減する	31	29
	④ 人材を確保する	17	7
	⑤ 不動産の有効活用を図る	14	12
借入の難易度		-8	5

[来期の景況見通し]

業況		-3	-3
売上額		-7	-3
収益		-3	-2
販売価格		15	17
仕入価格		33	26
在庫		-33	-13
資金繰り		15	2
雇用	残業時間	0	-3
	人手	-19	-7

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

中小企業景況調査 転記表

(令和4年7月～9月期)

製造業
地域名:千代田区
分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和4年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和4年	令和4年	令和4年	対	令和4年			
			10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	前期比	10月～12月期			
業況	良い	-	-	4.3	-	5.6	6.5	13.9	5.4	6.3	8.8	11.4	6.3	11.8	6.1	12.1	15.2		16.7
	普通	40.9	51.2	42.6	47.7	52.7	43.5	50.0	56.8	64.7	37.1	56.2	47.0	51.5	51.5	51.5			43.3
	悪い	59.1	48.8	53.1	52.3	41.7	50.0	36.1	37.8	46.9	26.5	51.5	37.5	41.2	42.4	36.4	33.3		40.0
	D・I	-59.1	-48.8	-48.8	-52.3	-36.1	-43.5	-22.2	-32.4	-40.6	-17.7	-40.1	-31.2	-29.4	-36.3	-24.3	-18.1		-23.3
	修正値	-57.9	-47.3	-49.4	-52.4	-34.4	-41.3	-19.6	-26.8	-37.6	-18.8	-40.0	-32.1	-27.4	-34.1	-24.4	-14.2	3.0	-25.5
	傾向値	-41.4		-50.2		-51.5		-45.4		-39.2		-35.8		-33.9		-33.3			
売上額	増加	-	4.4	6.4	2.3	16.2	12.8	10.8	5.4	15.2	8.1	17.1	15.2	11.8	14.3	9.1	11.8		21.2
	変らず	29.5	44.4	38.3	40.9	46.0	42.6	54.1	62.2	51.5	62.2	42.9	54.5	58.8	48.6	54.5	67.6		48.5
	減少	70.5	51.2	55.3	56.8	37.8	44.6	35.1	32.4	33.3	29.7	40.0	30.3	29.4	37.1	36.4	20.6		30.3
	D・I	-70.5	-46.8	-48.9	-54.5	-21.6	-31.8	-24.3	-27.0	-18.1	-21.6	-22.9	-15.1	-17.6	-22.8	-27.3	-8.8		-9.1
	修正値	-67.7	-47.3	-50.0	-53.0	-19.8	-31.3	-25.2	-20.6	-13.2	-23.7	-24.2	-15.5	-16.8	-23.0	-26.5	-4.3	-9.7	-11.0
	傾向値	-41.1		-52.7		-52.1		-44.4		-34.8		-25.0		-21.2		-21.1			
受注残	増加	-	-	4.3	-	10.8	10.6	8.1	8.1	9.1	5.4	8.6	15.2	14.7	8.6	6.1	2.9		18.2
	変らず	40.9	48.9	38.3	47.7	51.4	46.8	56.8	59.5	57.6	67.6	57.1	57.5	64.7	62.8	63.6	82.4		57.6
	減少	59.1	51.1	57.4	52.3	37.8	42.6	35.1	32.4	33.3	27.0	34.3	27.3	20.6	28.6	30.3	14.7		24.2
	D・I	-59.1	-51.1	-53.1	-52.3	-27.0	-32.0	-27.0	-24.3	-24.2	-21.6	-25.7	-12.1	-5.9	-20.0	-24.2	-11.8		-6.0
	修正値	-56.7	-51.1	-55.2	-51.1	-21.5	-30.0	-26.9	-19.6	-21.5	-23.7	-27.4	-14.4	-3.5	-18.5	-22.7	-7.4	-19.2	-7.2
	傾向値	-37.5		-48.9		-50.7		-44.3		-37.2		-29.4		-23.3		-20.4			
収益	増加	2.3	2.2	8.5	2.3	18.9	14.9	16.2	13.5	12.1	16.2	17.1	18.2	14.7	20.0	15.2	8.8		21.2
	変らず	36.4	42.2	40.4	45.5	40.6	44.7	54.1	48.7	54.6	56.8	42.9	54.5	58.8	40.0	48.4	67.7		45.5
	減少	61.3	55.6	51.1	52.2	40.5	40.4	29.7	37.8	33.3	27.0	40.0	27.3	26.5	40.0	36.4	23.5		33.3
	D・I	-59.0	-53.4	-42.6	-49.9	-21.6	-25.5	-13.5	-24.3	-21.2	-10.8	-22.9	-9.1	-11.8	-20.0	-21.2	-14.7		-12.1
	修正値	-57.2	-50.9	-43.8	-49.3	-20.0	-28.6	-14.1	-19.5	-17.7	-9.2	-22.4	-9.4	-11.3	-22.7	-21.9	-10.2	-10.6	-11.1
	傾向値	-38.1		-47.8		-47.6		-38.9		-29.5		-22.3		-18.6		-18.3			
価格動向	販売価格	-20.4	-20.0	-12.7	-16.0	-8.1	-12.7	-5.4	-10.8	-6.1	0.0	0.0	0.0	11.7	5.7	-3.0	14.7		3.0
	修正値	-20.2	-19.3	-14.2	-13.7	-8.0	-12.9	-5.6	-11.1	-6.5	-2.2	-2.4	-0.2	9.3	3.8	-1.1	12.3	-10.4	2.8
	傾向値	-13.9		-16.7		-16.4		-13.5		-9.9		-6.5		-2.4		0.4			
	原材料価格	-13.7	-15.6	-6.4	-18.2	2.7	0.0	10.8	0.0	3.0	8.1	22.8	15.1	32.4	31.4	39.4	41.1		42.5
	修正値	-11.0	-14.0	-8.7	-14.3	2.2	-3.6	9.7	-0.4	6.3	7.6	18.9	16.9	28.4	24.5	34.6	35.8	6.2	40.4
	傾向値	-4.6		-8.4		-9.0		-4.7		0.4		6.2		13.5		20.8			
在庫・繰り	原材料在庫数	-9.1	-15.6	0.0	-11.4	13.5	4.3	16.2	13.5	9.1	13.5	5.7	3.1	-3.0	5.7	0.0	0.0		0.0
	修正値	-8.6	-13.5	-1.2	-10.3	10.2	1.5	15.4	10.8	9.9	13.0	5.3	5.1	-4.3	3.5	0.4	-1.7	4.7	0.5
	資金繰り	-36.4	-33.4	-31.9	-31.9	-5.4	-27.7	-10.8	-8.1	-3.0	-10.8	-17.2	-3.0	-17.6	-14.3	-6.1	-14.7		-15.2
修正値	-35.6	-31.5	-30.9	-33.7	-6.2	-27.1	-12.4	-5.4	-3.7	-10.3	-14.6	-7.6	-16.2	-12.4	-8.2	-11.8	8.0	-14.3	
前年同期比	売上額	-65.9		-61.8		-29.7		-32.4		-18.2		-28.6		-14.7		-24.2			
	収益	-61.3		-55.4		-24.3		-32.4		-33.4		-31.5		-29.4		-27.2			
雇用	残業時間	-25.0	-25.0	-21.3	-25.6	-16.2	-26.1	-13.5	-13.5	-12.1	-10.8	-11.4	-12.1	-5.9	-8.6	-3.0	-3.0		-6.1
	人手	0.0	-2.3	-6.3	-2.3	-5.4	-8.7	-2.7	-2.8	0.0	-2.7	-5.7	-3.0	-5.9	-8.5	-3.1	-5.9		-6.1
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	37.2	25.6	39.1	23.3	24.3	30.4	27.0	19.4	21.2	27.0	22.9	21.2	38.2	22.9	36.4	33.3		33.3
	借入しない/借入の予定なし(%)	62.8	74.4	60.9	76.7	75.7	69.6	73.0	80.6	78.8	73.0	77.1	78.8	61.8	77.1	63.6	66.7		66.7
借入難易度	0.0		-6.7		-5.7		0.0		-13.8		-12.1		-3.1		-6.4				
有効回答事業所数		44		47		37		37		33		35		34		33			

製造業

地域名：千代田区

中分類：業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和4年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		対前期比	令和4年 10月～12月期	
	10月～12月期	1月～3月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期				
設備投資動向 (%)	現在の設備	-2.3	-4.4	-2.1	0.0	-2.7	-4.3	0.0	-2.8	0.0	0.0	-2.8	-3.1	-3.1	-2.8	3.0	-9.1			0.0	
	実施した・予定あり	4.5	7.1	4.3	0.0	2.8	2.3	5.4	5.9	6.1	2.9	11.4	3.2	12.1	8.8	3.0	12.1			3.0	
	事業用地・建物	-	-	50.0	-	100.0	-	50.0	50.0	-	-	25.0	-	50.0	-	-	-	-			-
	機械・設備の新・増設	50.0	-	-	-	100.0	-	50.0	100.0	100.0	-	-	100.0	75.0	33.3	100.0	75.0				100.0
	機械・設備の更改	-	66.7	50.0	-	-	100.0	-	-	50.0	100.0	25.0	-	50.0	-	-	50.0				-
	事務機器	50.0	33.3	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	25.0	66.7	100.0	50.0				100.0
	車両	-	-	-	-	100.0	-	-	50.0	-	-	25.0	-	-	-	100.0	25.0				100.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				-
	実施しない・予定なし	95.5	92.9	95.7	100.0	97.2	97.7	94.6	94.1	93.9	97.1	88.6	96.8	87.9	91.2	97.0	87.9				97.0
経営上の問題点 (%)	売上の停滞・減少	77.3		70.2		67.6		62.2		60.6		57.1		44.1		51.5					
	人手不足	9.1		6.4		5.4				6.1		2.9		8.8		12.1					
	大手企業との競争の激化	9.1		6.4		8.1		8.1		9.1		8.6		5.9		12.1					
	同業者間の競争の激化	11.4		14.9		18.9		16.2		18.2		22.9		14.7		15.2					
	親企業による選別の強化	2.3		-		-		-		-		-		-		-					
	輸入製品との競争の激化	2.3		2.1		5.4		8.1		6.1		5.7		2.9		3.0					
	合理化の不足	2.3		4.3		-		2.7		6.1		2.9		2.9		3.0					
	利幅の縮小	11.4		14.9		16.2		13.5		21.2		17.1		8.8		18.2					
	原材料高	6.8		2.1		2.7		8.1		9.1		20.0		26.5		33.3					
	販売納入先からの値下げ要請	9.1		10.6		2.7		8.1		3.0		5.7		2.9		-					
	仕入先からの値上げ要請	-		2.1		2.7		-		6.1		8.6		11.8		9.1					
	人件費の増加	-		-		-		-		-		-		2.9		-					
	人件費以外の経費の増加	-		2.1		-		-		-		-		-		-					
	工場・機械の狭小・老朽化	2.3		-		-		-		3.0		-		2.9		-					
	生産能力の不足	2.3		2.1		8.1		-		3.0		-		2.9		3.0					
	下請の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-					
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-					
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-					
	天候の不順	-		-		-		-		-		-		-		-					
	地場産業の衰退	6.8		4.3		8.1		8.1		3.0		2.9		2.9		-					
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		3.0		-		-		-						
為替レートの変動	2.3		4.3		5.4		5.4		3.0		2.9		8.8		9.1						
その他	6.8		-		2.7		2.7		-		2.9		11.8		-						
問題なし	4.5		10.6		13.5		13.5		12.1		11.4		11.8		9.1						
重点経営施策 (%)	販路を広げる	50.0		57.4		54.1		51.4		45.5		54.3		55.9		57.6					
	経費を削減する	52.3		40.4		59.5		59.5		54.5		48.6		47.1		51.5					
	情報力を強化する	15.9		17.0		13.5		5.4		24.2		22.9		23.5		27.3					
	新製品・技術を開発する	15.9		10.6		5.4		8.1		3.0		5.7		5.9		3.0					
	不採算部門を整理・縮小する	4.5		2.1		-		2.7		-		2.9		-		3.0					
	提携先を見つける	2.3		2.1		8.1		5.4		6.1		5.7		-		-					
	機械化を推進する	-		2.1		2.7		-		6.1		2.9		8.8		6.1					
	人材を確保する	9.1		6.4		5.4		2.7		3.0		2.9		2.9		6.1					
	パート化を図る	-		-		-		-		-		2.9		-		-					
	教育訓練を強化する	2.3		2.1		5.4		5.4		3.0		2.9		-		-					
	労働条件を改善する	-		-		-		2.7		-		-		-		3.0					
	工場・機械を増設・移転する	-		-		-		-		-		-		2.9		-					
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		2.7		3.0		-		-		3.0					
	その他	-		-		-		2.7		-		-		2.9		-					
特になし	6.8		12.8		13.5		16.2		15.2		17.1		14.7		12.1						
有効回答事業所数		44		47		37		37		33		35		34		33					

卸売業
地域名:千代田区
中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和4年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		対 前期比	令和4年 10月～12月期
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期				
業況	良 い	8.5	10.3	10.2	10.2	18.9	13.8	18.9	18.9	22.2	18.9	21.2	25.9	21.2	22.0	22.4	23.5		26.5	
	普 通	50.8	51.8	49.1	54.2	54.7	51.7	54.7	52.8	51.9	58.5	57.6	48.2	59.6	54.0	61.3	47.1		55.1	
	悪 い	40.7	37.9	40.7	35.6	26.4	34.5	26.4	28.3	25.9	22.6	21.2	25.9	19.2	24.0	16.3	29.4		18.4	
	D・I	-32.2	-27.6	-30.5	-25.4	-7.5	-20.7	-7.5	-9.4	-3.7	-3.7	0.0	0.0	2.0	-2.0	6.1	-5.9		8.1	
	修正値	-31.2	-26.2	-30.4	-25.7	-6.6	-23.0	-8.2	-2.9	-3.7	-3.8	-0.5	-2.2	2.4	-4.3	5.4	0.3	3.0	5.4	
	傾向値	-29.6		-34.1		-31.8		-23.5		-15.9		-8.5		-3.5		-0.6				
売上額	増 加	3.4	6.7	3.4	6.8	17.0	6.9	18.9	17.0	27.8	18.9	28.8	24.1	28.8	21.2	24.0	28.8		32.0	
	変 ら ず	44.1	51.6	50.8	47.4	52.8	62.1	58.5	56.6	44.4	60.3	48.1	55.5	52.0	61.5	56.0	52.0		50.0	
	減 少	52.5	41.7	45.8	45.8	30.2	31.0	22.6	26.4	27.8	20.8	23.1	20.4	19.2	17.3	20.0	19.2		18.0	
	D・I	-49.1	-35.0	-42.4	-39.0	-13.2	-24.1	-3.7	-9.4	0.0	-1.9	5.7	3.7	9.6	3.9	4.0	9.6		14.0	
	修正値	-46.9	-31.9	-41.6	-37.8	-15.4	-26.7	-4.8	-4.7	0.3	-1.0	6.6	3.1	7.6	0.4	3.4	13.1	-4.2	12.1	
	傾向値	-32.7		-40.7		-41.0		-32.3		-21.0		-8.8		0.1		3.9				
収益	増 加	5.1	8.3	1.7	6.8	15.1	3.4	13.2	17.0	24.1	15.1	25.0	25.9	21.2	15.4	22.0	19.2		26.0	
	変 ら ず	44.1	46.7	50.8	47.4	56.6	62.1	62.3	62.2	46.3	64.1	55.8	51.9	55.7	63.4	56.0	57.7		54.0	
	減 少	50.8	45.0	47.5	45.8	28.3	34.5	24.5	20.8	29.6	20.8	19.2	22.2	23.1	21.2	22.0	23.1		20.0	
	D・I	-45.7	-36.7	-45.8	-39.0	-13.2	-31.1	-11.3	-3.8	-5.5	-5.7	5.8	3.7	-1.9	-5.8	0.0	-3.9		6.0	
	修正値	-44.9	-33.6	-44.5	-37.7	-14.7	-32.4	-10.5	-1.4	-6.3	-3.7	6.8	2.6	-3.0	-6.8	0.8	-2.0	3.8	5.2	
	傾向値	-30.4		-39.3		-40.4		-33.0		-24.0		-12.5		-4.6		-1.8				
価格動向	販 売 価 格	-10.2	-6.6	-6.8	-6.8	9.4	-5.2	5.6	1.9	20.4	1.9	27.0	24.0	28.8	23.1	36.0	27.0		36.0	
	“ 修正値	-10.3	-4.7	-6.4	-6.2	7.8	-6.9	4.6	2.8	17.0	2.6	24.5	20.5	25.3	17.6	33.2	25.4	7.9	34.8	
	“ 傾向値	-5.2		-7.3		-5.8		-2.0		3.3		11.4		18.0		24.3				
	仕 入 価 格	-1.7	-1.7	1.7	-5.1	9.4	1.7	20.8	7.5	37.0	17.0	44.3	42.6	50.1	40.4	50.0	46.2		48.0	
	“ 修正値	-1.4	0.1	1.1	-5.2	8.9	-0.2	18.8	8.3	31.7	15.5	39.4	35.8	46.6	34.0	46.2	44.5	-0.4	45.7	
	“ 傾向値	1.7		-0.5		0.5		4.7		12.4		22.6		33.0		41.7				
在庫金繰り	在 庫 価 格	-3.4	-6.7	-3.4	-3.4	3.8	-5.2	-3.7	1.9	-5.6	-3.8	-9.6	-9.3	5.7	-7.7	8.0	1.9		8.0	
	“ 修正値	-3.6	-5.8	-2.2	-2.9	3.9	-3.9	-2.4	0.6	-5.7	-2.8	-7.6	-8.4	3.4	-6.0	7.4	-1.4	4.0	6.6	
	資 金 繰 り	-11.8	-5.0	-5.1	-11.8	5.7	-5.2	5.7	1.9	7.4	5.7	3.8	1.9	3.8	0.0	-2.0	-7.7		0.0	
“ 修正値	-9.9	-7.0	-5.4	-9.2	5.2	-4.7	5.6	3.0	7.9	2.8	2.7	4.3	2.7	0.1	-1.4	-5.5	-4.1	-2.6		
前年同期比	売 上 額	-49.1		-37.2		0.0		5.7		7.4		11.5		23.1		16.0				
	収 益	-42.3		-37.3		1.9		-3.7		-3.7		3.9		13.5		16.0				
	販 売 価 格	-10.2		-5.1		15.1		7.5		27.7		28.9		32.7		36.0				
雇用	残 業 時 間	-15.3	-10.2	-20.3	-13.6	-9.4	-18.6	-1.9	-5.6	-5.5	-3.7	-5.8	0.0	-1.9	-3.8	-4.0	-3.8		-4.0	
	人 手	-1.7	-6.8	-5.1	-1.7	3.8	-3.4	-1.8	1.9	-3.7	-3.7	-11.6	-3.7	-7.7	-11.6	0.0	-7.7		-2.0	
借入金	借入ました/借入の予定あり(%)	49.2	36.7	40.7	33.9	47.2	33.9	43.4	34.0	51.9	32.1	46.2	40.7	44.2	36.5	56.0	32.7		40.0	
	借入しない/借入の予定なし(%)	50.8	63.3	59.3	66.1	52.8	66.1	56.6	66.0	48.1	67.9	53.8	59.3	55.8	63.5	44.0	67.3		60.0	
	借入難易度	17.3		14.8		23.0		23.0		25.0		18.8		22.5		26.6				
有効回答事業所数	59		59		53		53		54		52		52		50					

卸売業

地域名: 千代田区

中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和4年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		対 前期比	令和4年 10月～12月期	
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期					
設備投資動向(%)	現在の設備	-3.5	-1.7	0.0	-3.5	0.0	-1.7	-3.8	-1.9	1.9	-1.9	0.0	1.9	0.0	1.9	-4.0	1.9			-4.0	
	実施した・予定あり	8.8	6.8	6.8	7.0	7.7	3.5	9.8	11.5	5.8	13.7	7.7	9.6	5.8	7.7	10.0	5.8			10.0	
	事業用地・建物	20.0	-	25.0	-	25.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
	機械・設備の新・増設	20.0	25.0	50.0	75.0	25.0	100.0	40.0	33.3	66.7	42.9	25.0	60.0	66.7	75.0	60.0	66.7			60.0	
	機械・設備の更改	60.0	25.0	75.0	50.0	50.0	100.0	60.0	50.0	66.7	57.1	50.0	80.0	100.0	50.0	80.0	66.7			80.0	
	事務機器	40.0	100.0	50.0	25.0	50.0	50.0	40.0	50.0	66.7	14.3	75.0	20.0	33.3	50.0	20.0	66.7			20.0	
	車両	40.0	-	-	25.0	50.0	50.0	20.0	33.3	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-			-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-			-
	実施しない・予定なし	91.2	93.2	93.2	93.0	92.3	96.5	90.2	88.5	94.2	86.3	92.3	90.4	94.2	92.3	90.0	94.2			90.0	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	50.8		55.9		60.4		47.2		53.7		51.9		55.8		50.0				
人手不足		6.8		5.1		1.9		7.5		11.1		7.7		7.7		4.0					
同業者間の競争の激化		42.4		37.3		37.7		37.7		33.3		28.8		32.7		30.0					
輸入品との競争の激化		10.2		10.2		13.2		13.2		16.7		13.5		11.5		18.0					
流通経路の変化による競争の激化		3.4		5.1		5.7		5.7		5.6		1.9		7.7		8.0					
合理化の不足		-		3.4		1.9		1.9		1.9		1.9		3.8		4.0					
小口注文・多頻度配送の増加		5.1		3.4		-		-		1.9		1.9		-		2.0					
利幅の縮小		11.9		11.9		11.3		9.4		14.8		9.6		13.5		14.0					
取扱商品の陳腐化		3.4		-		1.9		-		1.9		1.9		1.9		4.0					
販売商品の不足		-		3.4		9.4		13.2		13.0		15.4		11.5		12.0					
販売納入先からの値下げ要請		1.7		1.7		1.9		3.8		1.9		-		1.9		2.0					
仕入先からの値上げ要請		1.7		1.7		5.7		11.3		14.8		26.9		23.1		18.0					
人件費の増加		1.7		3.4		1.9		3.8		1.9		1.9		1.9		6.0					
人件費以外の経費の増加		-		-		1.9		-		-		1.9		1.9		2.0					
取引先の減少		5.1		3.4		5.7		5.7		5.6		5.8		7.7		2.0					
店舗の狭小・老朽化		-		-		-		-		1.9		1.9		-		-					
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		-		-					
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-					
駐車場の確保難		-		-		-		-		-		-		-		-					
天候の不順		1.7		-		1.9		1.9		1.9		1.9		1.9		2.0					
地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		2.0						
為替レートの変動	5.1		3.4		5.7		3.8		5.6		7.7		13.5		12.0						
大手企業・工場の縮小・撤退	1.7		1.7		1.9		1.9		-		-		-		-						
その他	3.4		-		-		-		-		-		-		-						
問題なし	10.2		13.6		9.4		7.5		7.4		7.7		7.7		8.0						
重点経営施策(%)	販路を広げる	64.4		69.5		64.2		67.9		57.4		61.5		63.5		58.0					
	経費を節減する	45.8		44.1		50.9		49.1		50.0		40.4		48.1		40.0					
	品増えを充実する	13.6		13.6		13.2		17.0		24.1		17.3		15.4		18.0					
	情報力を強化する	8.5		8.5		9.4		3.8		7.4		7.7		11.5		14.0					
	新しい事業を始める	3.4		3.4		1.9		3.8		-		3.8		5.8		2.0					
	提携先を見つける	11.9		13.6		17.0		18.9		18.5		19.2		21.2		22.0					
	機械化を推進する	3.4		1.7		1.9		3.8		3.7		1.9		1.9		4.0					
	人材を確保する	5.1		5.1		3.8		7.5		11.1		11.5		7.7		8.0					
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-					
	教育訓練を強化する	-		3.4		1.9		3.8		3.7		3.8		1.9		2.0					
	流通経路の見直しをする	1.7		5.1		9.4		7.5		9.3		11.5		7.7		10.0					
	取引先を支援する	-		-		1.9		-		1.9		-		-		2.0					
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		2.0					
	労働条件を改善する	-		-		1.9		1.9		1.9		1.9		1.9		2.0					
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		-					
その他	-		-		-		-		-		-		-		-						
特になし	8.5		6.8		3.8		3.8		3.7		1.9		1.9		4.0						
有効回答事業所数		59		59		53		53		54		52		52		50					

小売業
 地域名:千代田区
 中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和4年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		対 前期比	令和4年 10月～12月期
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期				
業況	良	6.3	9.7	3.2	6.7	3.8	-	7.7	7.7	12.0	7.7	22.2	12.0	7.4	14.8	4.0	7.4			4.2
	普	37.5	35.5	35.5	43.3	46.2	58.1	53.8	53.8	40.0	61.5	37.0	40.0	59.3	44.5	64.0	59.3			62.5
	悪	56.2	54.8	61.3	50.0	50.0	41.9	38.5	38.5	48.0	30.8	40.8	48.0	33.3	40.7	32.0	33.3			33.3
	D・I	-49.9	-45.1	-58.1	-43.3	-46.2	-41.9	-30.8	-30.8	-36.0	-23.1	-18.6	-36.0	-25.9	-25.9	-28.0	-25.9			-29.1
	修正値	-51.6	-42.9	-60.9	-42.3	-41.4	-44.7	-26.9	-29.5	-38.9	-22.2	-24.9	-35.5	-22.1	-28.1	-24.8	-25.1	-2.7		-25.8
	傾向値	-36.1		-45.8		-51.3		-48.6		-44.5		-37.8		-30.4		-27.5				
売上額	増	-	3.1	6.5	-	15.4	3.2	15.4	7.7	16.0	3.8	22.2	20.0	11.1	14.8	8.0	14.8			8.0
	変	34.4	34.4	29.0	43.8	38.5	54.9	46.1	53.8	36.0	65.4	37.0	36.0	55.6	51.9	60.0	59.3			64.0
	減	65.6	62.5	64.5	56.2	46.1	41.9	38.5	38.5	48.0	30.8	40.8	44.0	33.3	33.3	32.0	25.9			28.0
	D・I	-65.6	-59.4	-58.0	-56.2	-30.7	-38.7	-23.1	-30.8	-32.0	-27.0	-18.6	-24.0	-22.2	-18.5	-24.0	-11.1			-20.0
	修正値	-66.1	-57.2	-59.8	-53.4	-29.3	-41.5	-19.6	-29.9	-32.7	-25.7	-23.5	-21.6	-21.1	-23.3	-22.7	-13.4	-1.6		-17.2
	傾向値	-46.4		-57.3		-57.6		-48.9		-40.2		-31.0		-25.0		-24.1				
収益	増	6.3	3.1	3.2	6.3	11.5	6.5	11.5	7.7	12.0	7.7	14.8	12.0	7.4	11.1	-	11.1			-
	変	40.6	46.9	38.7	46.8	46.2	51.6	50.0	53.8	40.0	61.5	44.5	44.0	59.3	55.6	64.0	63.0			72.0
	減	53.1	50.0	58.1	46.9	42.3	41.9	38.5	38.5	48.0	30.8	40.7	44.0	33.3	33.3	36.0	25.9			28.0
	D・I	-46.8	-46.9	-54.9	-40.6	-30.8	-35.4	-27.0	-30.8	-36.0	-23.1	-25.9	-32.0	-25.9	-22.2	-36.0	-14.8			-28.0
	修正値	-48.9	-44.9	-58.0	-37.9	-28.3	-39.3	-21.6	-28.4	-38.5	-21.4	-30.2	-29.8	-22.9	-27.5	-32.6	-13.8	-9.7		-24.9
	傾向値	-34.7		-45.1		-48.2		-42.8		-38.5		-33.6		-29.3		-29.8				
価格動向	販	-34.4	-18.8	-22.6	-28.1	-15.4	-16.1	-15.4	-15.4	-12.0	-11.6	-14.8	-12.0	-7.4	-14.8	4.0	7.4			12.0
	修正値	-32.7	-18.3	-25.1	-26.6	-14.5	-17.4	-15.1	-14.5	-11.3	-13.2	-17.1	-10.3	-6.7	-16.1	2.2	4.9	8.9		7.5
	傾向値	-19.2		-24.9		-26.0		-23.5		-19.2		-15.4		-13.4		-10.0				
	仕	-25.0	-12.5	-16.1	-9.3	-7.7	-9.7	-3.9	-7.7	8.0	-3.8	0.0	8.0	7.4	-3.7	28.0	18.5			32.0
	修正値	-25.5	-10.2	-17.0	-11.5	-4.7	-10.7	-2.7	-3.5	6.3	-3.0	-1.7	4.8	7.7	-4.6	23.6	17.9	15.9		26.9
	傾向値	-12.3		-18.2		-18.7		-15.4		-9.1		-2.9		1.0		6.9				
在庫金繰り	在	-15.6	-6.2	-22.6	-6.2	-3.9	-9.7	-11.5	3.9	-4.0	-3.9	-22.2	4.0	-3.7	-29.6	-4.0	-7.4			0.0
	修正値	-15.1	-3.2	-20.9	-6.7	-5.2	-8.7	-9.1	2.9	-3.7	-2.4	-17.8	3.7	-6.0	-25.0	-4.6	-9.0	1.4		-2.0
	資	-31.3	-37.4	-32.2	-21.9	-19.3	-22.5	-15.4	-15.4	-8.0	-12.0	-11.1	-12.0	0.0	-11.1	-24.0	-7.4			-24.0
修正値	-32.7	-34.2	-34.1	-23.8	-21.3	-26.3	-12.8	-17.1	-12.4	-8.1	-12.1	-15.0	-4.2	-13.8	-19.6	-10.2	-15.4		-19.1	
前年同期比	売	-56.1		-54.7		-27.0		-11.5		-12.0		-11.1		-11.1		-4.0				
	収	-49.9		-51.5		-27.0		-11.5		-20.0		-14.8		-3.7		-12.0				
	販	-18.8		-16.2		0.0		-3.9		4.0		0.0		3.7		28.0				
雇用	残	-18.8	-23.3	-19.4	-19.4	-15.4	-20.0	-23.1	-19.3	-8.0	-26.9	-11.1	-8.3	-11.1	-7.4	-8.0	-11.1			-8.0
	人	-3.2	-10.0	-6.5	-6.5	-3.9	-10.0	-3.9	-7.7	-16.0	-3.9	-7.4	-16.7	-11.1	-7.4	-16.0	-14.8			-16.0
借入金	借	22.6	15.6	29.0	18.8	30.8	3.2	15.4	15.4	16.7	11.5	19.2	16.7	23.1	23.1	16.7	19.2			16.7
	借	77.4	84.4	71.0	81.2	69.2	96.8	84.6	84.6	83.3	88.5	80.8	83.3	76.9	76.9	83.3	80.8			83.3
	借	-6.9		-7.4		-4.3		-4.6		-5.0		-10.0		-10.0		-11.1				
有効回答事業所数		32		31		26		26		25		27		27		25				

小売業

地域名: 千代田区
中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和4年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		対 前期比	令和4年 10月～12月期
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-3.1	-9.4	3.2	-3.1	-7.7	0.0	-11.5	-7.7	-12.0	-11.5	0.0	-12.0	-11.1	0.0	-12.0	-11.1		-12.0	
	実施した・予定あり	3.2	3.4	3.3	3.3	4.0	3.3	4.3	0.0	8.7	4.3	7.4	4.3	11.5	7.4	4.0	11.5		8.0	
	事業用土地・建物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事務機器	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	50.0	-	66.7	50.0	-	66.7	-	-	
	車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	投資内容																			
	その他	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	50.0	100.0	66.7	50.0	100.0	66.7		100.0	
	実施しない・予定なし	96.8	96.6	96.7	96.7	96.0	96.7	95.7	100.0	91.3	95.7	92.6	95.7	88.5	92.6	96.0	88.5		92.0	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	46.9		58.1		61.5		50.0		52.0		51.9		40.7		48.0			
		人手不足	6.3		3.2		-		-		-		-		-		16.0			
同業者間の競争の激化		21.9		19.4		15.4		15.4		24.0		22.2		22.2		28.0				
大型店との競争の激化		31.3		22.6		23.1		30.8		12.0		22.2		14.8		20.0				
輸入製品との競争の激化		6.3		3.2		3.8		3.8		8.0		-		3.7		4.0				
利幅の縮小		6.3		12.9		7.7		7.7		12.0		7.4		3.7		8.0				
取扱商品の陳腐化		3.1		3.2		-		-		-		3.7		-		-				
販売商品の不足		-		3.2		7.7		7.7		8.0		7.4		7.4		12.0				
販売納入先からの値下げ要請		-		-		3.8		3.8		-		-		-		-				
仕入先からの値上げ要請		-		3.2		3.8		-		20.0		11.1		11.1		8.0				
人件費の増加		3.1		3.2		-		-		-		-		3.7		-				
人件費以外の経費の増加		-		-		-		-		-		-		-		-				
取引先の減少		3.1		3.2		3.8		7.7		12.0		14.8		3.7		4.0				
商圏人口の減少		3.1		3.2		7.7		3.8		8.0		-		-		4.0				
商店街の集客力の低下		3.1		3.2		3.8		3.8		4.0		3.7		11.1		4.0				
店舗の狭小・老朽化		3.1		-		3.8		-		-		-		-		-				
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		-		-				
地価の高騰		-		-		-		-		-		3.7		-		-				
駐車場の確保難		-		-		-		-		-		-		-		-				
天候の不順		-		-		-		7.7		-		-		-		-				
地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		8.0					
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		3.7		-		-					
その他	-		-		-		-		-		-		-		-					
問題なし	18.8		22.6		11.5		19.2		16.0		18.5		18.5		12.0					
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	25.0		19.4		23.1		19.2		28.0		7.4		14.8		24.0				
	経費を節減する	40.6		32.3		34.6		34.6		28.0		29.6		22.2		32.0				
	宣伝・広告を強化する	12.5		12.9		11.5		15.4		24.0		18.5		11.1		32.0				
	新しい事業を始める	9.4		3.2		7.7		-		8.0		7.4		11.1		8.0				
	店舗・設備を改善する	6.3		3.2		3.8		3.8		4.0		7.4		3.7		-				
	仕入先を開拓・選別する	-		6.5		11.5		11.5		8.0		7.4		7.4		12.0				
	営業時間を延長する	-		3.2		-		-		-		-		-		-				
	売れ筋商品を取り扱う	12.5		19.4		11.5		15.4		20.0		7.4		22.2		12.0				
	商店街事業を活性化させる	9.4		16.1		23.1		23.1		28.0		7.4		11.1		16.0				
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		3.7		4.0				
	人材を確保する	3.1		3.2		3.8		3.8		4.0		3.7		3.7		4.0				
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	教育訓練を強化する	-		-		-		-		-		-		3.7		4.0				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		4.0		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		3.7		-		-				
その他	-		-		3.8		3.8		4.0		-		-		-					
特になし	21.9		29.0		19.2		19.2		20.0		29.6		29.6		20.0					
有効回答事業所数	32		31		26		26		25		27		27		25					

サービス業
 地域名：千代田区
 中分類：業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和4年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		対 前期比	令和4年 10月～12月期
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期				
業況	良	5.9	5.7	2.9	9.1	6.5	-	-	-	16.2	-	12.1	16.2	9.4	18.8	6.3	18.8		16.1	
	普	44.1	42.9	48.5	39.4	61.2	51.4	63.6	54.8	54.1	57.6	54.6	48.7	59.3	62.4	71.8	49.9		67.8	
	悪	50.0	51.4	48.6	51.5	32.3	48.6	36.4	45.2	29.7	42.4	33.3	35.1	31.3	18.8	21.9	31.3		16.1	
	D・I	-44.1	-45.7	-45.7	-42.4	-25.8	-48.6	-36.4	-45.2	-13.5	-42.4	-21.2	-18.9	-21.9	0.0	-15.6	-12.5		0.0	
	修正値	-39.8	-44.4	-47.5	-38.9	-26.5	-50.1	-33.4	-40.8	-11.3	-41.6	-23.5	-18.8	-21.3	-8.3	-9.3	-4.3	12.0	1.7	
	傾向値	-22.2		-35.0		-41.5		-39.5		-34.2		-27.3		-23.7		-20.7				
売上額	増	2.9	8.6	8.6	8.8	9.7	8.6	9.1	3.2	21.6	6.1	12.1	16.2	9.1	18.2	9.4	12.1		21.9	
	変	47.1	37.1	28.6	35.3	45.1	31.4	54.5	48.4	48.7	54.5	45.5	54.1	63.6	51.5	62.5	66.7		68.7	
	減	50.0	54.3	62.8	55.9	45.2	60.0	36.4	48.4	29.7	39.4	42.4	29.7	27.3	30.3	28.1	21.2		9.4	
	D・I	-47.1	-45.7	-54.2	-47.1	-35.5	-51.4	-27.3	-45.2	-8.1	-33.3	-30.3	-13.5	-18.2	-12.1	-18.7	-9.1		12.5	
	修正値	-44.8	-42.0	-55.1	-42.4	-33.2	-53.4	-26.7	-42.4	-8.1	-32.1	-30.6	-12.4	-14.0	-17.5	-14.4	-3.4	-0.4	12.7	
	傾向値	-28.2		-41.8		-48.1		-44.0		-36.2		-28.3		-23.1		-19.9				
収益	増	8.8	11.4	8.6	8.8	9.7	8.6	12.1	-	16.2	9.1	9.1	18.9	6.1	15.2	15.6	12.1		21.9	
	変	47.1	34.3	31.4	38.2	45.1	34.3	54.6	51.6	43.3	51.5	54.5	51.4	63.6	48.4	59.4	63.7		68.7	
	減	44.1	54.3	60.0	53.0	45.2	57.1	33.3	48.4	40.5	39.4	36.4	29.7	30.3	36.4	25.0	24.2		9.4	
	D・I	-35.3	-42.9	-51.4	-44.2	-35.5	-48.5	-21.2	-48.4	-24.3	-30.3	-27.3	-10.8	-24.2	-21.2	-9.4	-12.1		12.5	
	修正値	-31.9	-40.4	-52.8	-42.1	-32.4	-49.6	-22.7	-43.5	-23.1	-30.6	-28.7	-12.9	-18.3	-24.5	-8.6	-1.5	9.7	9.6	
	傾向値	-31.5		-42.3		-47.1		-40.7		-34.5		-30.1		-25.7		-22.8				
価格動向	料	-14.7	-8.6	-11.4	-17.6	-6.4	-17.1	-3.0	-6.4	2.7	-3.0	6.1	5.5	6.1	3.1	0.0	9.1		3.2	
	修正値	-14.4	-8.8	-10.1	-15.5	-6.5	-17.0	-4.6	-7.0	1.6	-4.9	4.2	5.0	5.8	1.8	-0.1	8.9	-5.9	2.2	
	傾向値	-5.8		-9.7		-10.9		-9.6		-6.7		-2.3		1.4		3.4				
	材	-11.8	-11.4	-5.7	-11.8	-6.5	-11.4	-3.1	-6.5	11.4	-6.1	15.2	5.7	24.2	18.2	3.2	33.3		6.3	
	修正値	-10.6	-10.1	-7.5	-10.6	-5.7	-11.0	-2.3	-7.4	10.3	-5.8	9.9	4.9	23.3	15.4	6.3	28.4	-17.0	8.6	
	傾向値	-3.2		-7.0		-8.3		-7.5		-3.9		1.6		8.1		12.7				
在資金繰り	資	-20.6	-31.4	-14.3	-23.5	-9.7	-17.2	3.0	-9.7	10.8	9.1	-12.1	10.8	-6.1	-12.1	-18.8	-3.1		-6.2	
	修正値	-20.0	-30.2	-14.0	-23.6	-10.6	-17.6	1.5	-7.9	8.5	5.7	-10.4	7.4	-3.6	-10.6	-15.7	2.1	-12.1	-6.3	
前年同期比	売	-53.0		-59.9		-25.7		-27.3		-13.5		-33.2		-21.2		-15.6				
	収	-49.9		-62.8		-25.8		-27.3		-27.1		-30.2		-24.2		-6.2				
雇用	残	-17.7	-18.2	-25.7	-15.7	-12.9	-24.2	-15.2	0.0	-16.2	-18.2	-3.0	-24.3	-21.2	-3.0	-16.1	-15.2		-12.9	
	人	-23.5	-24.2	-11.4	-21.9	-9.7	-12.1	-18.2	-16.1	-29.7	-18.2	-21.2	-27.0	-18.2	-24.2	-15.6	-21.2		-15.6	
借入金	借	50.0	21.2	42.9	18.2	32.3	22.9	33.3	16.1	50.0	42.4	33.3	33.3	33.3	39.4	37.5	27.3		37.5	
	借	50.0	78.8	57.1	81.8	67.7	77.1	66.7	83.9	50.0	57.6	66.7	66.7	66.7	60.6	62.5	72.7		62.5	
	借	-6.0		14.7		0.0		10.4		-9.1		-16.7		-13.4		-22.2				
有効回答事業所数		34		35		31		33		37		33		34		32				

サービス業
地域名：千代田区
中分類：業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和4年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		対 前期比	令和4年 10月～12月期
	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	-2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	-3.1	-3.0	0.0	-3.1		-3.1	
	実施した・予定あり	11.8	17.1	11.8	8.8	12.9	9.1	12.5	6.7	18.9	12.5	21.9	19.4	15.6	16.1	9.7	15.6		6.5	
	事業用地・建物	-	-	-	-	25.0	-	-	-	14.3	-	-	14.3	40.0	-	33.3	20.0		-	
	機械・設備の新・増設	-	16.7	-	-	-	-	-	-	28.6	25.0	14.3	42.9	20.0	60.0	-	40.0		-	
	機械・設備の更改	-	50.0	25.0	33.3	-	33.3	25.0	-	-	50.0	42.9	-	20.0	20.0	-	20.0		-	
	事務機器	100.0	66.7	100.0	66.7	75.0	100.0	100.0	100.0	85.7	50.0	57.1	85.7	40.0	40.0	100.0	60.0		100.0	
	車両	25.0	16.7	50.0	-	-	66.7	-	-	14.3	-	42.9	14.3	20.0	40.0	33.3	-		-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
	実施しない・予定なし	88.2	82.9	88.2	91.2	87.1	90.9	87.5	93.3	81.1	87.5	78.1	80.6	84.4	83.9	90.3	84.4		93.5	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	52.9		51.4		48.4		39.4		43.2		51.5		41.2		50.0			
人手不足		20.6		8.6		9.7		18.2		16.2		18.2		17.6		21.9				
同業者間の競争の激化		29.4		28.6		41.9		27.3		29.7		21.2		20.6		15.6				
大企業との競争の激化		5.9		2.9		3.2		-		-		-		-		3.1				
合理化の不足		-		-		-		-		-		6.1		2.9		6.3				
利幅の縮小		20.6		8.6		19.4		18.2		18.9		15.2		20.6		25.0				
取扱事務の陳腐化		-		-		-		-		2.7		3.0		-		3.1				
材料価格の上昇		-		-		3.2		-		2.7		6.1		14.7		9.4				
料金の値下げ要請		-		2.9		3.2		-		2.7		3.0		-		-				
人件費の増加		2.9		5.7		6.5		6.1		21.6		15.2		11.8		9.4				
人件費以外の経費の増加		-		-		-		3.0		2.7		-		2.9		3.1				
技術力の不足		5.9		5.7		6.5		18.2		10.8		12.1		5.9		6.3				
取引先の減少		14.7		14.3		9.7		9.1		13.5		12.1		11.8		6.3				
商圏人口の減少		2.9		5.7		3.2		3.0		2.7		3.0		-		-				
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		2.9		-				
駐車場の確保難		-		-		-		-		-		-		-		-				
店舗・設備の狭小・老朽化		-		-		-		-		-		-		-		-				
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		-		-				
天候の不順		-		-		-		-		-		-		-		3.1				
地場産業の衰退		-		-		-		-		-		-		-		-				
大手企業・工場の縮小・撤退	2.9		-		-		-		-		-		-		-					
その他	2.9		-		-		-		-		6.1		-		3.1					
問題なし	17.6		22.9		19.4		24.2		16.2		9.1		14.7		18.8					
重点経営施策(%)	販路を広げる	61.8		65.7		77.4		69.7		59.5		63.6		61.8		65.6				
	経費を節減する	44.1		37.1		48.4		42.4		37.8		39.4		44.1		50.0				
	宣伝・広告を強化する	5.9		8.6		3.2		12.1		10.8		9.1		8.8		28.1				
	新しい事業を始める	5.9		5.7		3.2		6.1		5.4		9.1		5.9		6.3				
	店舗・設備を改善する	-		-		-		3.0		-		-		-		-				
	提携先を見つける	14.7		17.1		12.9		12.1		10.8		12.1		14.7		9.4				
	技術力を強化する	14.7		14.3		12.9		18.2		27.0		18.2		8.8		12.5				
	機械化を推進する	-		2.9		-		-		-		-		-		3.1				
	人材を確保する	20.6		11.4		16.1		18.2		27.0		33.3		14.7		15.6				
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	教育訓練を強化する	5.9		5.7		9.7		9.1		8.1		9.1		5.9		6.3				
	労働条件を改善する	-		-		-		-		2.7		3.0		-		-				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		2.7		3.0		2.9		3.1				
	その他	-		-		-		-		-		3.0		-		-				
特になし	14.7		17.1		9.7		15.2		5.4		6.1		8.8		12.5					
有効回答事業所数	34		35		31		33		37		33		34		32					

建設業

地域名:千代田区

中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和4年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		対 前期比	令和4年 10月～12月期
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期				
業況	良い	33.4	-	16.7	16.7	16.7	-	14.3	-	22.6	14.3	21.9	23.3	16.1	25.0	25.0	25.8			25.0
	普通	33.3	42.9	33.3	50.0	66.6	33.3	57.1	80.0	51.6	57.1	53.1	60.0	67.8	56.2	68.7	71.0			65.6
	悪い	33.3	57.1	50.0	33.3	16.7	66.7	28.6	20.0	25.8	28.6	25.0	16.7	16.1	18.8	6.3	3.2			9.4
	D・I	0.1	-57.1	-33.3	-16.6	0.0	-66.7	-14.3	-20.0	-3.2	-14.3	-3.1	6.6	0.0	6.2	18.7	22.6			15.6
	修正値	-2.7	-49.9	-36.0	-18.5	15.6	-68.2	-3.4	-6.2	-7.2	-1.9	-5.2	1.8	9.5	3.5	23.3	37.1	13.8		23.5
	傾向値	-3.6	-	-20.2	-	-25.3	-	-15.5	-	-12.3	-	-8.9	-	-5.2	-	-1.0	-	-		-
売上額	増加	50.0	-	16.7	16.7	-	-	16.7	19.4	14.3	28.1	19.4	19.4	18.8	21.9	25.8				15.6
	変らず	-	57.1	33.3	16.7	33.3	50.0	28.6	66.6	54.8	14.3	43.8	67.7	51.6	59.3	65.6	61.3			75.0
	減少	50.0	42.9	50.0	66.6	66.7	50.0	71.4	16.7	25.8	71.4	28.1	12.9	29.0	21.9	12.5	12.9			9.4
	D・I	0.0	-42.9	-33.3	-49.9	-66.7	-50.0	-71.4	0.0	-6.4	-57.1	0.0	6.5	-9.6	-3.1	9.4	12.9			6.2
	修正値	-4.9	-36.8	-29.3	-46.7	-56.0	-49.8	-67.4	1.8	-19.3	-49.6	-4.5	9.2	14.7	-2.5	17.3	9.5	2.6		19.3
	傾向値	-30.3	-	-41.7	-	-43.4	-	-41.1	-	-43.7	-	-40.3	-	-29.0	-	-11.8	-	-		-
受注残	増加	50.0	-	16.7	16.7	-	-	16.7	19.4	14.3	25.0	25.8	16.1	18.8	21.9	22.6				21.9
	変らず	16.7	71.4	50.0	33.3	50.0	66.7	71.4	33.3	61.2	42.8	53.1	64.5	61.3	62.4	71.8	67.7			71.8
	減少	33.3	28.6	50.0	50.0	33.3	33.3	28.6	50.0	19.4	42.9	21.9	9.7	22.6	18.8	6.3	9.7			6.3
	D・I	16.7	-28.6	-50.0	-33.3	-16.6	-33.3	-28.6	-33.3	0.0	-28.6	3.1	16.1	-6.5	0.0	15.6	12.9			15.6
	修正値	18.5	-16.5	-43.6	-29.9	-12.5	-33.8	-22.6	-31.9	-5.0	-15.7	10.3	16.1	0.6	-0.7	18.2	14.2	17.6		28.9
	傾向値	-0.9	-	-14.0	-	-21.7	-	-19.6	-	-21.7	-	-17.2	-	-9.3	-	-2.5	-	-		-
施工高	増加	50.0	-	16.7	16.7	-	-	16.7	16.1	14.3	12.5	12.9	12.9	9.4	21.9	19.4				18.8
	変らず	33.3	71.4	50.0	33.3	50.0	66.7	57.1	50.0	64.5	57.1	68.7	77.4	67.7	75.0	68.7	74.1			74.9
	減少	16.7	28.6	50.0	50.0	33.3	33.3	42.9	33.3	19.4	28.6	18.8	9.7	19.4	15.6	9.4	6.5			6.3
	D・I	33.3	-28.6	-50.0	-33.3	-16.6	-33.3	-42.9	-16.6	-3.3	-14.3	-6.3	3.2	-6.5	-6.2	12.5	12.9			12.5
	修正値	31.3	-25.5	-43.4	-28.6	-2.2	-28.3	-43.7	-18.1	-10.9	-11.7	0.0	10.7	8.0	2.3	8.0	8.8	0.0		9.9
	傾向値	-10.7	-	-18.2	-	-21.7	-	-17.3	-	-23.6	-	-22.7	-	-16.0	-	-7.8	-	-		-
収益	増加	50.0	14.3	16.7	-	-	-	-	16.1	-	15.6	12.9	9.7	12.5	12.5	9.7				12.5
	変らず	16.7	57.1	66.7	33.3	83.3	66.7	71.4	83.3	58.1	57.1	59.4	67.7	67.7	68.7	75.0	80.6			78.1
	減少	33.3	28.6	33.3	50.0	16.7	33.3	28.6	16.7	25.8	42.9	25.0	19.4	22.6	18.8	12.5	9.7			9.4
	D・I	16.7	-14.3	-33.3	-33.3	-16.7	-33.3	-28.6	-16.7	-9.7	-42.9	-9.4	-6.5	-12.9	-6.3	0.0	0.0			3.1
	修正値	12.0	0.0	-27.4	-27.9	-12.2	-32.8	-20.6	-23.4	-15.5	-30.1	-5.7	0.0	-2.7	-7.4	5.0	-8.8	7.7		19.7
	傾向値	-2.1	-	-14.9	-	-18.2	-	-13.7	-	-18.8	-	-19.1	-	-15.6	-	-11.6	-	-		-
価格動向	請負価格	-16.7	0.0	-16.6	-16.7	0.0	-16.6	-28.6	0.0	9.7	-28.6	0.0	6.4	-3.2	0.0	6.4				3.1
	修正値	-11.0	-2.7	-12.0	-6.1	12.2	-9.4	-33.5	-4.2	7.2	-27.5	-2.2	9.9	12.8	0.0	-0.2	4.4	-13.0		5.9
	傾向値	2.1	-	-11.0	-	-12.5	-	-11.9	-	-12.2	-	-6.8	-	-5.1	-	-1.2	-	-		-
	材料価格	0.0	28.6	16.6	0.0	0.0	0.0	28.5	0.0	45.2	14.3	43.8	51.6	35.5	37.5	46.9	38.7			43.8
	修正値	4.4	26.6	15.7	13.1	13.6	3.3	23.0	0.1	39.2	11.8	38.0	54.1	58.1	34.8	40.3	39.4	-17.8		40.8
	傾向値	11.3	-	4.5	-	7.1	-	11.3	-	16.9	-	26.0	-	33.8	-	40.6	-	-		-
在庫・繰り	在庫数量	-16.7	0.0	-16.7	-33.3	-33.3	-16.7	-14.3	-33.3	0.0	-14.3	-6.3	3.2	-3.2	-6.3	-3.2	-3.2			-3.2
	修正値	-12.0	-1.9	-12.7	-29.9	-32.7	-16.0	-18.4	-29.5	2.5	-18.4	-3.2	4.7	-2.8	-6.8	-5.8	2.0	-3.0		-5.7
	資金繰り	0.0	-42.9	-16.6	-33.3	16.6	0.0	-14.3	16.6	0.0	0.0	-6.2	3.2	0.0	0.0	6.3	3.3			3.1
	修正値	-7.9	-40.4	-18.0	-36.4	25.4	-7.1	-7.3	24.3	-6.7	5.5	-8.6	2.2	1.6	-7.1	10.3	7.5	8.7		7.3
前年同期比	売上	16.7		-33.3		-33.3		-42.9		-6.4		-3.2		9.7		18.8				
	収益	16.7		-16.7		-16.7		-28.6		-6.4		-9.4		-3.3		6.3				
雇用	残業時間	0.0	0.0	-33.3	-16.7	-33.3	-16.7	-14.3	-50.0	-9.7	-14.3	-3.1	-3.2	-9.7	-6.3	3.1	-6.5			-3.1
	人手	-33.3	-28.6	0.0	-16.7	-33.3	0.0	-28.6	-16.7	-19.3	-28.6	-15.6	-19.3	-19.4	-15.6	-18.8	-19.4			-21.9
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	50.0	14.3	33.3	50.0	16.7	33.3	28.6	33.3	32.3	42.9	25.0	16.1	25.8	18.8	28.1	19.4			21.9
	借入しない/借入の予定なし(%)	50.0	85.7	66.7	50.0	83.3	66.7	71.4	66.7	67.7	57.1	75.0	83.9	74.2	81.2	71.9	80.6			78.1
	借入難易度	-16.6	-	0.0	-	16.7	-	0.0	-	0.0	-	-3.5	-	0.0	-	-6.9	-	-		-
有効回答事業所数	6		6		6		7		31		32		31		32					

建設業

地域名:千代田区
中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和4年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		対 前期比	令和4年 10月～12月期
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-6.5	0.0	-3.3	-3.1	
	実施した・予定あり	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	33.3	28.6	33.3	3.2	28.6	6.3	3.3	3.2	3.2	9.4	3.3		3.1	
	事業用地・建物	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	機械・設備の新・増設	-	-	50.0	-	100.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-	100.0	
	機械・設備の更改	-	-	-	-	-	100.0	-	50.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	33.3	-	-	
	事務機器	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	100.0	-	100.0	33.3	-	-	
	車両	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	実施しない・予定なし	100.0	100.0	66.7	100.0	83.3	66.7	71.4	66.7	96.8	71.4	93.7	96.7	96.8	96.8	90.6	96.7		96.9	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	50.0		50.0		16.7		28.6		22.6		21.9		19.4		28.1			
人手不足		33.3		33.3		50.0		57.1		25.8		28.1		19.4		37.5				
大手企業との競争の激化		-		-		16.7		28.6		19.4		18.8		12.9		15.6				
同業者間の競争の激化		33.3		33.3		66.7		42.9		29.0		31.3		22.6		18.8				
親企業による選別の強化		-		-		-		-		-		-		-		-				
合理化の不足		16.7		16.7		-		14.3		-		-		-		3.1				
利幅の縮小		-		16.7		-		-		12.9		9.4		3.2		25.0				
材料価格の上昇		16.7		33.3		16.7		28.6		32.3		37.5		41.9		40.6				
下請の確保難		-		16.7		50.0		14.3		6.5		9.4		6.5		12.5				
駐車場・資材置場の確保難		-		-		-		-		-		3.1		-		-				
人件費の増加		16.7		16.7		16.7		-		9.7		6.3		9.7		6.3				
人件費以外の経費の増加		-		-		-		-		-		-		-		-				
技術力の不足		-		-		-		14.3		3.2		-		3.2		-				
代金回収の悪化		-		-		-		-		6.5		3.1		-		-				
天候の不順		-		16.7		-		14.3		3.2		3.1		3.2		6.3				
地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-					
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-					
その他	16.7		-		-		-		-		-		-		-					
問題なし	-		-		-		14.3		12.9		9.4		22.6		9.4					
重点経営施策(%)	販路を広げる	33.3		66.7		50.0		28.6		51.6		59.4		35.5		56.3				
	経費を節減する	50.0		66.7		33.3		42.9		35.5		43.8		41.9		40.6				
	情報力を強化する	-		16.7		16.7		-		29.0		15.6		12.9		28.1				
	新しい工法を導入する	16.7		16.7		16.7		14.3		6.5		6.3		3.2		3.1				
	新しい事業を始める	-		-		-		-		6.5		3.1		6.5		3.1				
	技術力を高める	33.3		16.7		33.3		42.9		19.4		25.0		25.8		28.1				
	人材を確保する	33.3		50.0		50.0		57.1		32.3		21.9		25.8		25.0				
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		3.2		3.1				
	教育訓練を強化する	16.7		-		16.7		-		-		-		3.2		-				
	労働条件を改善する	-		-		16.7		-		-		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		3.1				
その他	-		-		-		-		-		-		-		-					
特になし	16.7		-		-		14.3		6.5		3.1		19.4		9.4					
有効回答事業所数	6		6		6		7		31		32		31		32					

不動産業
地域名:千代田区
中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和4年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		対 前期比	令和4年 10月～12月期
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期				
業況	良	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	9.7	16.7	13.8	19.4	13.8	14.3		14.8	
	普通	33.3	40.0	60.0	33.3	50.0	60.0	50.0	50.0	50.0	50.0	58.0	53.3	62.1	54.8	62.1	64.3		66.7	
	悪い	66.7	60.0	40.0	66.7	50.0	40.0	50.0	50.0	33.3	50.0	32.3	30.0	24.1	25.8	24.1	21.4		18.5	
	D・I	-66.7	-60.0	-40.0	-66.7	-50.0	-40.0	-50.0	-50.0	-16.6	-50.0	-22.6	-13.3	-10.3	-6.4	-10.3	-7.1		-3.7	
	修正値	-59.5	-58.5	-46.0	-65.4	-51.4	-45.5	-45.9	-44.6	-9.4	-47.2	-28.3	-16.3	-13.2	-17.8	-8.7	0.0	4.5	-2.7	
	傾向値	-14.6		-32.9		-46.1		-50.4		-45.4		-37.0		-29.8		-19.9				
売上額	増加	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	12.9	20.0	20.7	22.6	6.9	6.9		13.8	
	変らず	66.7	60.0	80.0	66.7	50.0	80.0	50.0	50.0	43.3	50.0	48.4	53.3	44.8	48.4	62.1	65.5		62.1	
	減少	33.3	40.0	20.0	33.3	50.0	20.0	50.0	50.0	36.7	50.0	38.7	26.7	34.5	29.0	31.0	27.6		24.1	
	D・I	-33.3	-40.0	-20.0	-33.3	-50.0	-20.0	-50.0	-50.0	-16.7	-50.0	-25.8	-6.7	-13.8	-6.4	-24.1	-20.7		-10.3	
	修正値	-27.6	-40.7	-31.6	-35.4	-46.5	-26.6	-40.7	-36.3	-14.4	-47.5	-37.8	-18.0	-8.4	-20.5	-14.6	-3.5	-6.2	-7.0	
	傾向値	-21.7		-33.3		-40.8		-39.6		-36.3		-34.9		-31.1		-23.3				
収益	増加	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	12.9	20.0	13.8	19.4	6.9	3.4		6.9	
	変らず	66.7	40.0	80.0	66.7	50.0	80.0	50.0	50.0	43.3	50.0	51.6	53.3	55.2	58.0	65.5	69.0		72.4	
	減少	33.3	60.0	20.0	33.3	50.0	20.0	50.0	50.0	40.0	50.0	35.5	26.7	31.0	22.6	27.6	27.6		20.7	
	D・I	-33.3	-60.0	-20.0	-33.3	-50.0	-20.0	-50.0	-50.0	-23.3	-50.0	-22.6	-6.7	-17.2	-3.2	-20.7	-24.2		-13.8	
	修正値	-27.2	-56.0	-31.2	-34.9	-50.7	-26.1	-39.2	-46.3	-18.3	-42.9	-34.0	-15.7	-18.2	-16.0	-9.6	-20.0	8.6	-2.6	
	傾向値	-15.4		-27.1		-37.7		-39.6		-37.1		-36.2		-32.4		-24.6				
価格動向	販売価格	0.0	-20.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	-25.0	3.4	-25.0	6.5	3.3	10.4	6.4	0.0	0.0		0.0	
	修正値	-5.4	-10.3	-3.6	-3.3	-22.7	-6.9	-16.8	-21.7	-4.1	-16.3	-1.5	-6.1	13.1	-3.5	12.9	6.8	-0.2	14.7	
	傾向値	0.0		-7.5		-13.1		-14.4		-12.1		-10.8		-5.6		2.0				
	仕入価格	0.0	-20.0	-20.0	0.0	0.0	-20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	32.2	23.4	24.1	35.5	27.6	24.1		27.6	
	修正値	-1.8	-12.9	-17.1	-3.4	1.8	-18.5	-1.8	-3.3	13.2	4.6	32.5	14.8	25.1	34.2	28.4	20.4	3.3	33.2	
	傾向値	10.0		0.0		-5.0		-5.0		-2.5		6.5		16.1		22.5				
在庫金繰り	在庫数量	-66.7	0.0	-20.0	-66.7	-25.0	-20.0	0.0	-25.0	-20.0	0.0	-32.3	-23.4	-27.6	-25.8	-17.2	-24.1		-17.2	
	修正値	-64.2	-10.8	-20.2	-63.3	-15.8	-18.7	-16.1	-19.4	-10.1	-16.2	-31.0	-10.8	-18.5	-24.0	-32.6	-18.6	-14.1	-32.5	
	資金繰り	66.7	-40.0	20.0	66.7	25.0	20.0	0.0	25.0	-3.4	0.0	-9.6	0.0	-10.4	-6.4	-3.5	-10.4		-3.5	
修正値	46.2	-33.0	8.7	41.4	29.7	8.0	18.3	35.4	-15.8	22.1	-14.4	-15.0	-4.7	-13.4	11.7	-1.6	16.4	14.5		
前年同期比	売上額	-66.7		-40.0		-25.0		-50.0		0.0		-16.1		-10.4		-13.8				
	収益	-66.7		-40.0		-25.0		-50.0		0.0		-9.7		-17.2		-13.8				
雇用	残業時間	-33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-6.7	0.0	-9.7	-6.9	-6.9	3.3	-3.4	-3.4		0.0	
	人手	-33.3	-25.0	-20.0	-33.3	-25.0	-20.0	25.0	-25.0	-13.4	25.0	-12.9	-13.8	-10.4	-12.9	-17.2	-6.9		-18.5	
借入金	借入ました/借入の予定あり(%)	100.0	40.0	60.0	33.3	25.0	60.0	25.0	25.0	26.7	25.0	32.3	33.3	31.0	35.5	27.6	17.2		20.7	
	借入しない/借入の予定なし(%)	-	60.0	40.0	66.7	75.0	40.0	75.0	75.0	73.3	75.0	67.7	66.7	69.0	64.5	72.4	82.8		79.3	
	借入難易度	0.1		0.0		25.0		33.3		-7.7		-12.0		-16.0		-8.3				
有効回答事業所数	4		5		4		4		30		31		29		29					

不動産業
地域名:千代田区
中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和4年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項 目	調査期		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		対 前期比	令和4年 10月～12月期	
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期					
経営上の 問題点 (%)	売上の停滞・減少	50.0		20.0		50.0		50.0		43.3		35.5		37.9		34.5					
	人手不足	-		20.0		25.0		-		-		-		3.4		13.8					
	大手企業との競争の激化	-		-		-		-		6.7		6.5		3.4		6.9					
	同業者間の競争の激化	-		-		-		25.0		23.3		19.4		17.2		27.6					
	利幅の縮小	-		-		-		-		10.0		19.4		13.8		10.3					
	商品物件の不足	-		-		25.0		-		26.7		35.5		20.7		20.7					
	商品物件の高騰	25.0		-		-		25.0		36.7		45.2		37.9		37.9					
	人件費の増加	-		-		-		-		6.7		-		-		3.4					
	人件費以外の経費の増加	-		-		-		-		3.3		3.2		3.4		3.4					
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-					
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-					
問題なし	25.0		40.0		25.0		25.0		13.3		12.9		24.1		13.8						
重点 経営 施策 (%)	販路を広げる	25.0		40.0		25.0		50.0		46.7		32.3		37.9		44.8					
	経費を削減する	25.0		-		-		-		20.0		19.4		27.6		31.0					
	宣伝・広告を強化する	-		-		-		-		13.3		12.9		10.3		13.8					
	情報力を強化する	-		20.0		-		25.0		43.3		41.9		41.4		44.8					
	新しい事業を始める	-		20.0		-		-		-		3.2		-		3.4					
	提携先を見つける	-		-		-		-		10.0		9.7		10.3		6.9					
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		-		-					
	人材を確保する	-		-		25.0		-		-		3.2		10.3		17.2					
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-					
	教育訓練を強化する	-		-		-		-		-		3.2		-		3.4					
	労働条件を改善する	-		-		-		-		3.3		6.5		3.4		3.4					
不動産の有効活用を図る	-		-		25.0		25.0		16.7		12.9		13.8		13.8						
その他	-		-		-		-		-		-		-		-						
特になし	25.0		40.0		25.0		25.0		10.0		16.1		13.8		6.9						
有効回答事業所数		4		5		4		4		30		31		29		29					

千代田区 中小企業の景況

令和4年7月～9月期

【発行】 千代田区地域振興部商工観光課
千代田区九段南1-6-17 千代田会館8階
TEL：03（5211）4124

【調査機関】 一般社団法人 東京都信用金庫協会
中央区京橋3-8-1 信用金庫会館 京橋別館12F
TEL：03（6228）8557

【分析委託業者】 株式会社 東京商工リサーチ
